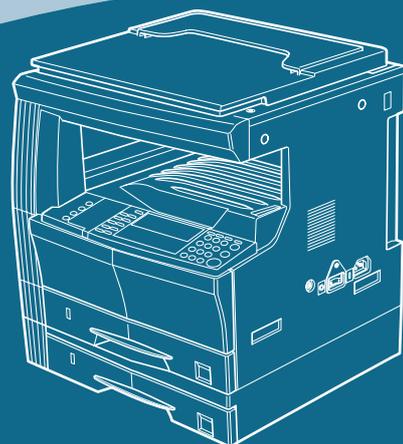


# 使用説明書

## 基本編

- ▶ **KM-1650**
- ▶ **KM-2050**
- ▶ **KM-2550**



表紙のイラストはKM-2050/KM-2550です。  
KM-1650では下段のカセットはオプションです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。お読みになった後は、本製品の近くに大切に保管してください。

この使用説明書では、オプション品について、簡略化した名称を使って説明を行っています。

オプション品の正式な商品名は以下のとおりです。

商品名	使用説明書記載の名称
自動両面原稿送り装置 DP-410	原稿送り装置
ペーパーフィーダ PF-410	ペーパーフィーダ
両面ユニット DU-410	両面ユニット
本体内蔵フィニッシャ DF-410	フィニッシャ
ジョブセパレータ JS-410	ジョブセパレータ
キーカウンタ	キーカウンタ
キーカード MK-2	キーカード
ファクスキット FAX System (L)	ファクスキット
ネットワークスキャナ Scan System (F)	ネットワークスキャナ
ハードディスク (340, 512 MB, 1 GB)	ハードディスク
増設メモリ (DIMM 16, 32, 64, 128, 256 MB)	増設メモリ

この使用説明書では、KM-1650 を 16 枚機、KM-2050 を 20 枚機、KM-2550 を 25 枚機と記載しています。

---

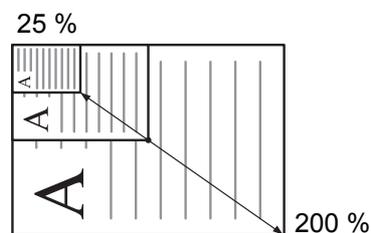
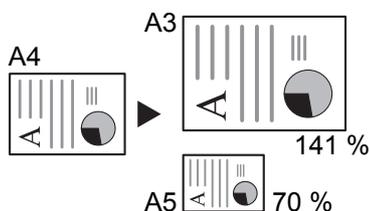
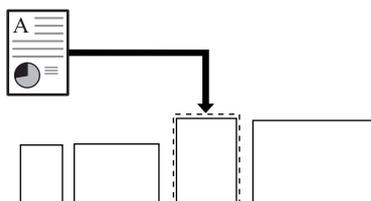
## 目次

1	各部の名称 .....	1-1
	機械本体 .....	1-1
	操作パネル .....	1-4
2	ご使用前の準備 .....	2-1
	用紙の補給 .....	2-1
	用紙補給時の注意 .....	2-1
	カセットへの補給 .....	2-2
	手差しへの補給 .....	2-4
	手差し設定 .....	2-6
	ケーブルの接続 .....	2-11
	ネットワークケーブルの接続 .....	2-11
	プリンタケーブルの接続 .....	2-11
	電源ケーブルの接続 .....	2-13
	電源の入れ方 .....	2-14
	ネットワーク (TCP/IP) 設定 .....	2-15
	日付と時刻の設定 .....	2-20
	言語設定 .....	2-24
	その他の設定 .....	2-24
3	基本的な操作 .....	3-1
	基本的なコピーのしかた .....	3-1
	縮小 / 拡大コピー .....	3-5
	自動倍率選択モード .....	3-5
	ズームコピーモード .....	3-6
	固定変倍モード .....	3-7
	両面コピー .....	3-9
	分割コピー .....	3-12
	ソートコピー .....	3-14
	集約コピー .....	3-16
	2in1 コピー .....	3-17
	4in1 (左→右) コピー .....	3-18
	4in1 (左→下) コピー .....	3-19
	割り込みモード .....	3-20
	低電力モード .....	3-22
	スリープモード .....	3-23
	基本的な印刷のしかた .....	3-24
	プリンタドライバのインストール .....	3-24
	アプリケーションからの印刷 .....	3-24
4	オプションについて .....	4-1
	原稿送り装置 .....	4-1
	使用できる原稿 .....	4-1
	使用上の注意 .....	4-2
	各部の名称 .....	4-2
	原稿送り装置への原稿のセット .....	4-2

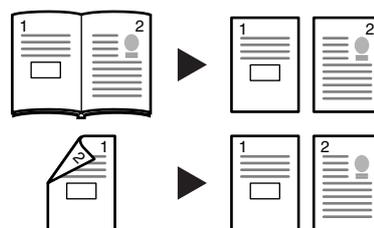
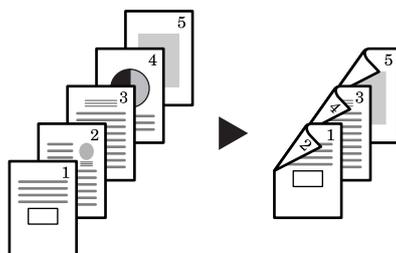


## 本機の機能を存分にご活用ください

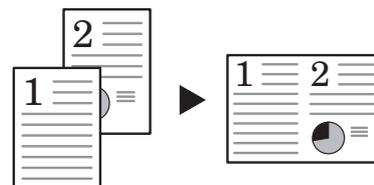
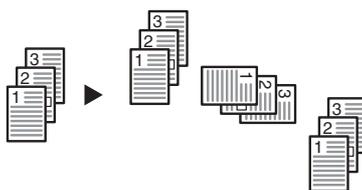
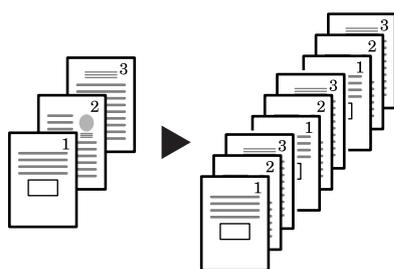
- 1** 原稿と同じサイズ用の紙を機械が自動的に選択  
 <自動用紙選択> (3-2 ページ参照)
- 2** 指定したカセットサイズに縮小/拡大  
 <自動倍率選択モード> (3-5 ページ参照)
- 3** 25～200%の範囲で縮小/拡大  
 <ズームコピーモード> (3-6 ページ参照)



- 4** ワンタッチでコピー倍率を選択<固定変倍モード>  
 (3-7 ページ参照)
- 5** いろんな原稿を両面コピー<両面コピー> (3-9 ページ参照)
- 6** 2ページの原稿を1ページずつコピー<分割コピー>  
 (3-12 ページ参照)



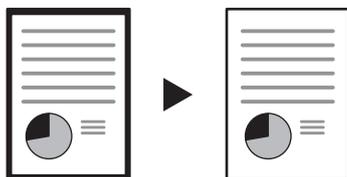
- 7** 複数部数を、1部ごとにコピー<ソートコピー>  
 (3-14 ページ参照)
- 8** 1部ずつコピーの方向を変えて仕分けしやすく  
 <仕分けコピー> (使用説明書 応用編の1章、仕分けコピー参照)
- 9** 2枚または4枚の原稿を1枚に<集約コピー> (3-16 ページ参照)



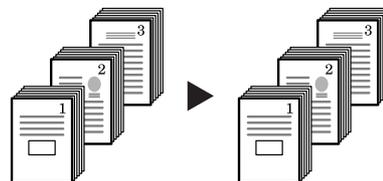
**10** コピーにとじしろを作る  
〈とじしろコピー〉（使用  
説明書 応用編の1章、とじ  
しろコピー参照）



**11** 原稿のまわりを消去してコ  
ピー〈枠消しコピー〉（使  
用説明書 応用編の1章、枠  
消しコピー参照）



**12** 大量の原稿を一度にコピー  
〈連続読み込みコピー〉  
（使用説明書 応用編の1章、  
連続読み込みコピー参照）



**13** コピーワークを記憶する  
〈プログラムコピー〉（使  
用説明書 応用編の1章、プ  
ログラムコピー参照）



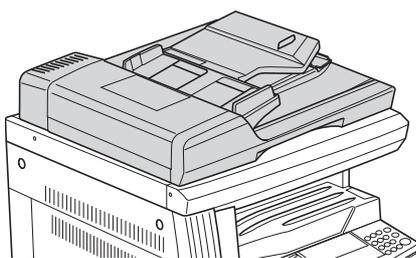
**14** メッセージの言語を選択で  
きる〈言語設定〉（2-24  
ページ参照）



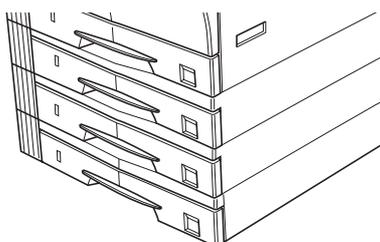
**15** 暗証番号で枚数管理  
〈部門管理モード〉（使用  
説明書 応用編の4章参照）



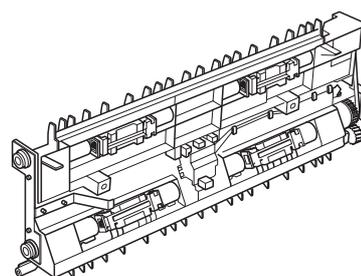
**16** オプションも充実  
原稿送り装置（4-1 ページ参  
照）



ペーパーフィーダ（4-5 ペ  
ージ参照）

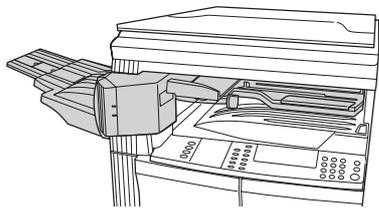


両面ユニット（4-5 ページ参  
照）

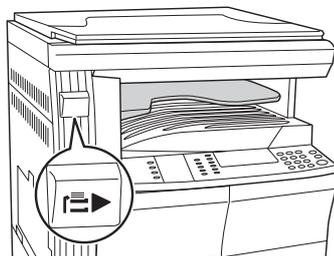


---

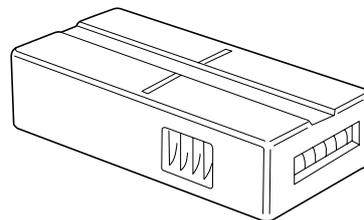
フィニッシャ (4-6 ページ参照)



ジョブセパレータ (4-9 ページ参照)

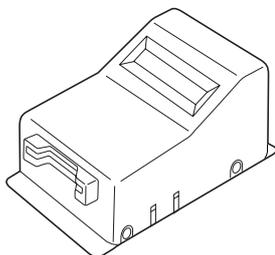


キーカウンタ (4-10 ページ参照)

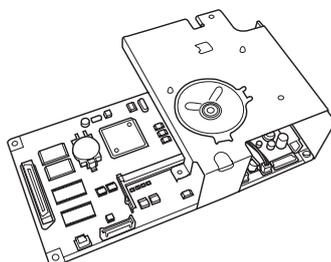


---

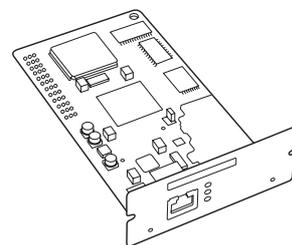
キーカード (4-11 ページ参照)



ファクスキット (4-11 ページ参照)

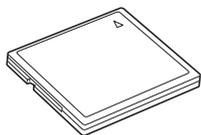


ネットワークスキャナ (4-11 ページ参照)

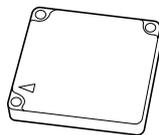


---

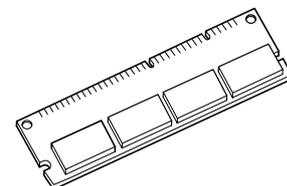
メモリカード (コンパクトフラッシュ) (4-12 ページ参照)



ハードディスク (4-12 ページ参照)



増設メモリ (4-12 ページ参照)



## 商標について

コンパクトフラッシュおよび CF は米国サンディスク社の商標です。

**AGFA**  Agfa 社の UFST™ および MicroType® を含みます。

本資料の全部又は一部を無断で複写複製（コピー）することは著作権法上での例外を除き、禁じられています。

## IBM プログラムのご使用条件

お客様がご購入された機器には、International Business Machines Corporation（以下 IBM といいます）が所有権を持つ—またはそれ以上の「プログラム」が含まれています。本「IBM プログラムのご使用条件」には、お客様がこれらのプログラムをご使用いただく場合の条件が記載されています。本「IBM プログラムのご使用条件」にご同意いただけない場合、お客様は機器を取得された日から 14 日以内に返却することで代金全額の返金を受けることができます。機器の取得から 14 日以内に当該機器の返却が行われない場合、お客様はこのご使用条件にご同意いただいたものとみなされます。

この「プログラム」は使用許諾されるものであって、売買の対象ではありません。IBM もしくはお客様の国の IBM は、お客様に対して「プログラム」を取得された国内における使用権のみを許諾します。お客様はこの使用条件のもとで認められた権利のみを有します。

「プログラム」とは、プログラムの原本およびその全体または部分的複製物（改変複製物または他のプログラムに組み込まれた部分を含みます。）を意味します。IBM は「プログラム」の著作権を所有しているか、もしくは権原者より使用権を取得しています。

### 1. 使用権

本使用権の下でお客様は「プログラム」が導入された機器と共に「プログラム」を使用し、また「プログラム」の使用権および機器の所有権を第三者に移転することができます。「プログラム」の使用権を移転する場合、お客様は本「IBM プログラムのご使用条件」およびその他のすべての関連資料を当該第三者に移転しなければなりません。その移転に伴いお客様の使用権は終了します。移転先の第三者は「プログラム」を最初にご使用になったことにより本「IBM プログラムのご使用条件」に同意いただいたものとします。

お客様は、

- 1) この使用条件に明記されている場合を除き、「プログラム」を使用、複製、改変、結合もしくは、移転すること、
- 2) 「プログラム」を逆アセンブルもしくは逆コンパイルすること、
- 3) 「プログラム」を再使用許諾、賃貸、貸与することはできません。

### 2. 保証の内容と制限

「プログラム」は現状するままの状態を提供されます。この「プログラム」には、法律上の瑕疵担保責任、商品性の保証および特定目的適合性の保証を含むすべての明示もしくは黙示の保証はありません。国または地域によっては法律の強行規定により、上記の保証の制限が適用されない場合があります。

### 3. 責任の制限

IBM がこの使用条件で負う全ての責任は以下のものです。

- 1) 本使用権に関する、いかなる形式のいかなる犠立て（契約不履行が含まれます。）に対しても、IBM の賠償責任は実際の直接損害に対してのみ、
  - a) お客様が居住する国の通貨で 25,000 米国ドル相当額、もしくは、
  - b) 当該「プログラム」の IBM 価格のうちの大きい方の金額を限度とする金銭賠償責任に限られます。

この制限は、IBM が法的責任を負うお客様に生じた身体、生命および有体物に対する損害賠償には適用されません。

IBM は、IBM または IBM 認定再販売者の掠の有無を問わず発生した逸失利益、特別損害、付随的損害、間接損害、あるいはその他の拡大損害について責任を負いません。

IBM は第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害について責任を負いません。

本項の責任の制限は、IBM に「プログラム」を提供した「プログラム」開発者に対する損害賠償請求にも適用されるものとします。お客様は IBM および「プログラム」開発者に対して重複して損害賠償を請求することはできません。ここでの「プログラム」開発者とは、この項で利益を受ける者をいいます。国または地域によっては、法律の強行規定により上記の責任の制限の規定が適用されないことがあります。

#### 4. その他

お客様はいつでも使用権の使用を解除できます。お客様が本ご使用条件に違反した場合には、IBMはこの使用契約を解約できます。この場合、お客様は「プログラム」のすべての複製を破棄、滅却しなければなりません。「プログラム」を使用することで発生するいかなる税金のお支払いもお客様の負担とします。この使用契約に基づく請求権は、請求のいかにかわらずその原因が発生した日から2年を経過したときに時効により消滅するものとします。お客様が「プログラム」をアメリカ合衆国で取得された場合にはニューヨーク州の法律が適用されます。カナダで取得された場合にはオンタリオ州の法律が適用されます。その他の国で取得された場合には、取得した国の法律が適用されます。

#### Agfa Japan ライセンス契約

1. 「本件ソフトウェア」とは、特殊なフォーマットで符号化された、デジタル符号の機械読取可能なスケーラブル・アウトライン・データならびに UFST ソフトウェアを意味するものとします。
2. お客様は、お客様自身の通常の業務目的または個人的な目的で、アルファベット、数字、文字および記号（「タイプフェイス」）のウェイト、スタイルおよびバージョンを複製および表示するために本件ソフトウェアを使用する非独占的ライセンスを受諾することに同意します。Agfa Japan は、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するすべての権利、権原および利権を留保します。本契約において明示的に規定した条件に基づき本件ソフトウェアを使用するライセンス以外には、いかなる権利もお客様に許諾されません。
3. Agfa Japan の財産権を保護するため、お客様は本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するその他の財産的情報を極秘に保持すること、また、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスへのアクセスとその使用に関する合理的な手続きを定めることに同意します。
4. お客様は本件ソフトウェアまたはタイプフェイスを複製またはコピーしないことに同意します。
5. このライセンスは、早期終了しない限り、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスを使用し終わるまで存続するものとします。お客様が本契約ライセンスの条件の遵守を怠り、当該不履行が Agfa Japan からの通知後 30 日以内に是正されなかったときは、Agfa Japan は本ライセンス契約を解除することができます。本ライセンス契約が満了するか、または解除された時点で、お客様は要求に応じて本件ソフトウェアとタイプフェイスの複製物ならびに文書をすべて Agfa Japan に返却するか、または破棄するものとします。
6. お客様は、本件ソフトウェアの変更、改変、逆アセンブル、解読、リバースエンジニアリングまたは逆コンパイルを行わないことに同意します。
7. Agfa Japan は、引渡し後 90 日間について、本件ソフトウェアが Agfa Japan の発表した仕様に従って作動すること、欠陥がないことを保証します。Agfa Japan は、本件ソフトウェアにバグ、エラーおよび脱落が一切ない旨の保証を行いません。  
当事者は、特定目的適合性および商品性の保証を含む明示または黙示の他のすべての保証が排除されることに合意します。
8. 本件ソフトウェアおよびタイプフェイスに関するお客様の排他的救済手段および Agfa Japan の唯一の責任は、欠陥のある部品を Agfa Japan に返却した時点で修理または交換することです。いかなる場合も Agfa Japan は、本件ソフトウェアおよびタイプフェイスの誤用または不正使用により引き起こされた喪失利益、喪失データ、またはその他の付随的損害、派生的損害その他の損害について責任を負いません。
9. 本契約はアメリカ合衆国ニューヨーク州の法律に準拠します。
10. お客様は、Agfa Japan の事前の書面による同意がない限り、本件ソフトウェアおよび/またはタイプフェイスの再使用許諾、販売、リースまたはその他の方法による譲渡を行ってなりません。
11. 政府による使用、複製または開示は、FAR252-227-7013「技術データおよびコンピュータソフトウェアに関する権利」の (b) (3) (ii) 項または (c) (1) (ii) 項に定められた制限を受けます。さらに、使用、複製または開示は、FAR52. 227-19 (c) (2) 項に定められたソフトウェアの限定的権利に適用される制限を受けます。
12. お客様は、本契約を自ら読了し、了解したことを認め、また本契約の諸条件により拘束されることに同意します。いずれの当事者も、本契約に記載されていない言明または表明により拘束されないものとします。本契約の変更は、各当事者の正当な権限を有する代表者が署名した書面による場合を除き、効力は一切ありません。



弊社は、国際エネルギースタートプログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタートプログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

#### 国際エネルギースタートプログラムとは

国際エネルギープログラムは、その基準に適合した機器の製造・販売を促進させることにより、効率的なエネルギー活用を促し、エネルギーの消費にともなう環境汚染を低減させることを基本目的としています。

国際エネルギースタートプログラムの基準により、複合機では、最後に機器を使用してから一定時間経過すると自動的に消費電力を低減する「低電力モード」に移行し、さらに設定時間以上機器を使用しないと自動的に電源オフになる「スリープモード」を備えていることが必要です。

本製品は、国際エネルギースタートプログラムの基準に適合するために、以下の仕様を備えております。

#### 「低電力モード」

最後にご使用になってから1分を経過しますと自動的に「低電力モード」に移行します。なお「低電力モード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは3-22ページの低電力モードをご参照ください。

#### 「スリープモード」

最後にご使用になってから15分を経過しますと自動的に「スリープモード」に移行します。なお「スリープモード」への移行時間は、延長が可能です。詳しくは3-23ページのスリープモードをご覧ください。

#### 「両面コピー機能について」

エネルギースタートプログラムでは、環境に与える負荷の少ない両面コピー機能を推奨しています。両面コピー機能を追加装備される場合には販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

#### 再生紙

エネルギースタートプログラムでは環境に与える負荷の少ない再生紙の使用をお勧めしています。推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

## KM-1650/KM-2050/KM-2550 をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

この使用説明書は、本製品を良好な状態でご使用いただくために、正しい操作方法・日常の手入れおよび簡単なトラブルの処置などができるようにまとめたものです。

ご使用前に必ずこの使用説明書をお読みください。また、お読みになった後は、本製品の近くに保管してください。

この使用説明書及び本製品への表示では、本製品を正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。



**危険**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



**警告**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示

△記号は注意（危険・警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。



「注意一般」、



「感電注意」、



「高温注意」

○記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が描かれています。



「禁止一般」、



「分解禁止」

●記号は行為を規制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。



「強制一般」、



「電源プラグをコンセントから抜け」、



「必ずアース線を接続せよ」

本製品使用時の汚れなどによって本使用説明書の注意・警告事項が判読できない場合や、本使用説明書を紛失した場合には、弊社製品取り扱い店等へご連絡の上、新しい使用説明書を入手してください。（有償）

### 〈お願い〉

使用説明書の内容は、機械性能改善のために、予告なく変更する場合がありますので御了承ください。

はじめにお読みください

## 注意ラベルについて

本製品には、下記に示す位置に安全に関する注意ラベルを貼っています。紙づまり処置やトナー補給時に火傷や感電などの事故のないようご注意ください。

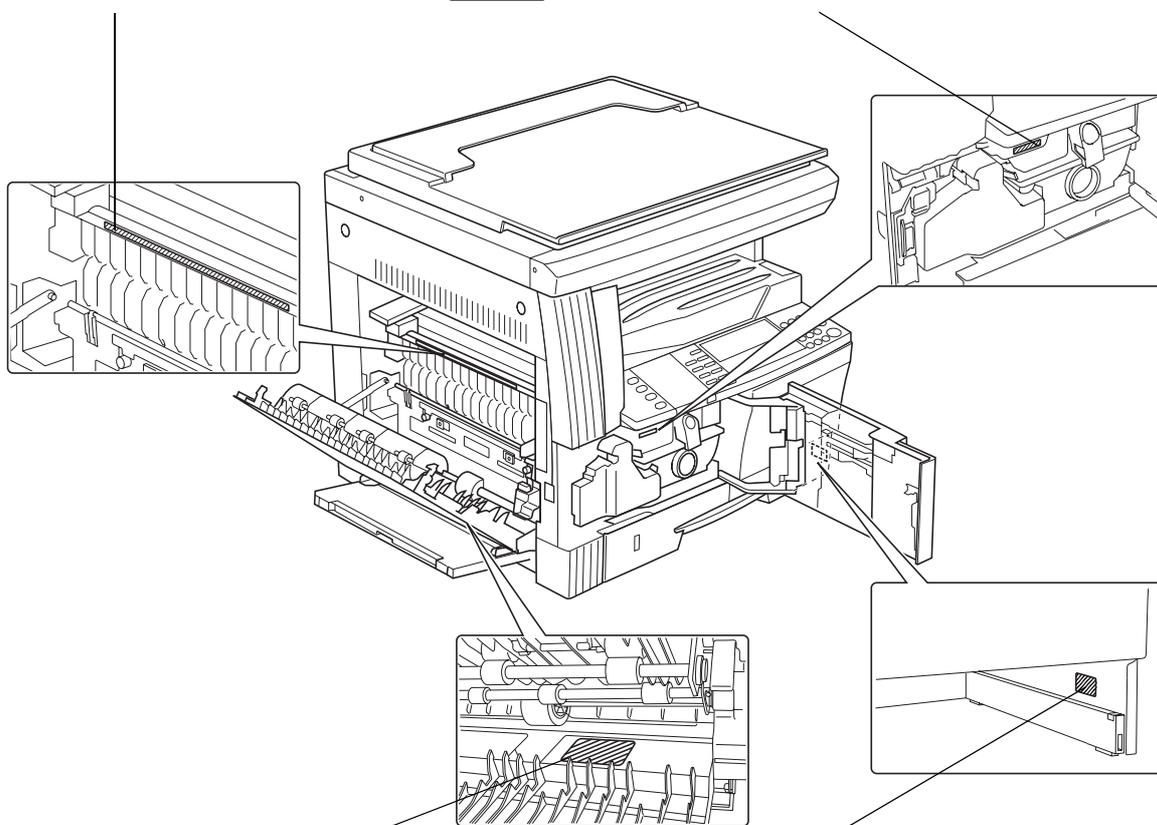
### ラベル 2

この部分の内側は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。



### ラベル 3

この部分には高電圧が発生しています。感電事故を防ぐため、絶対に触れないようにしてください。



### ラベル 1

このラベルで示された部分は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。



### ラベル 4

この部分の上側は高温になっています。火傷などのおそれがありますので、触れないようにしてください。



<お願い>これらのラベルははがさないようにしてください。



## 機械を設置するときの注意

設置環境について



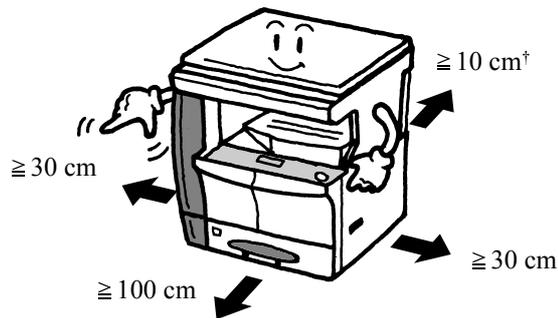
### 注意

本製品をぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

本製品を湿気やほこりの多い場所に置かないください。万一電源プラグにほこりやゴミなどが付着している場合は取り除いてください。火災、感電の原因となることがあります。

本製品をストーブなどの熱源や可燃物が近くにある場所に置かないください。火災の原因となることがあります。

本製品の冷却効果を保つため、機械の周辺は下記のスペースを確保してください。特に通気口は、壁などに近づけないでください。十分なスペースがないと冷却されず、発熱や性能不良の原因となります。



† 原稿送り装置を取り付けた時このスペースが必要です。

### その他の注意事項

本製品は設置する場所によっては外気条件が加わって、性能が維持できなくなる場合がありますので、常温常湿の室内（室温 23℃、湿度 50% が適当）に設置し、下記のような場所は避けてください。

- 窓際など、直射日光の当たる場所や明るい場所
- 振動の多い場所
- 急激に温度や湿度が変化する場所
- 冷暖房の冷風や温風が直接当たる場所
- 通気性、換気性の悪い場所

本製品を設置後移動する際に、傷付きやすい床の場合、床材を傷付ける恐れがあります。

本製品の使用中はオゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や大量にコピーをとる場合には、臭気が気になることもあります。快適な作業環境を保つためには部屋の換気をするをお勧めいたします。

#### 設置電源・アースについて



表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。またタコ足配線をしないでください。火災、感電のおそれがあります。

電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。電源プラグの刃に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

必ずアース線をアース対象物に接続してください。アース接続がされないで万一、漏電した場合は火災、感電のおそれがあります。なお、アース接続ができない場合は、弊社製品取り扱い店等にご相談ください。



#### その他の注意事項

電源プラグは製品の近くの容易に接続できるコンセントにつないでください。

#### ビニールの取り扱いについて



本製品に使っている包装用のビニールを子供に触れさせないでください。ビニールが鼻や口に吸着すると、窒息するおそれがあります。



## 取り扱い上のご注意

#### 機械の取り扱いについて



本製品の上に花瓶、植木鉢、コップや水などの入った容器または金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。



本製品のカバーは外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、感電のおそれがあります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、引っばったり、無理に曲げたりすると電源コードをいため、火災、感電のおそれがあります。

本製品の改造や分解は絶対に行わないでください。火災、感電、レーザー光線への被爆のおそれがあります。レーザー光洩れによる失明のおそれがあります。

万一、発熱していたり、煙が出ている、へんな臭いがするなどの異常状態のまま使用すると、火災、感電のおそれがあります。すぐにメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。そして弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。

万一、異物（金属片、水、液体）が本製品の内部に入った場合は、まず本体のメインスイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて弊社製品取り扱い店等にご連絡ください。そのまま使用すると火災、感電のおそれがあります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。

内部の点検・修理は弊社製品取り扱い店等に依頼してください。

## 注意

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。（必ず電源プラグを持ってコンセントから抜いてください）

本製品を移動させる場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。電源コードが傷つき、火災、感電の原因となることがあります。

夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品を持ち上げたり、動かす場合は、所定の箇所を持つようにしてください。

本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

本製品内部の清掃については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。本製品の内部にほこりがたまったら長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部清掃費用については弊社製品取り扱い店等にご相談ください。



## その他の注意事項

本製品の上には重いものをのせたり、衝撃を与えたりしないでください。

コピー中には次のことをしないでください。

- 前カバーを開ける。
- メインスイッチを切る。
- 電源コードを抜く。

転居などで本製品を動かす場合は、弊社製品取り扱い店等へご連絡ください。

コネクタ、プリント基板等の電気部品に触らないでください。静電気により破損する可能性があります。

この使用説明書に記載されていないことは行わないでください。

ランプ光を見つめないでください。目の疲れや痛みの原因となるおそれがあります。

## 消耗品の取り扱いについて



トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、子供の手に触れる事のない様に保管してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスより、トナーが漏れた場合には、トナーを吸い込んだり、口に入れたり、眼、皮膚に触れない様にしてください。

- トナーを吸い込んだ場合は、新鮮な空気のある場所へ移動し、多量の水でよくうがいをしてください。咳などの症状が出るようであれば医師の診察を受けてください。
- トナーを飲み込んだ場合は、口の中をすすぎ、コップ1、2杯の水を飲んで胃を薄め、必要に応じて医師の診察を受けてください。
- 眼に入った場合は、直ちに流水で良く洗い、刺激が残るようであれば医師の診察を受けてください。
- 皮膚に触れた場合は、石鹸を使って水で良く洗い流してください。

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。



---

### その他の注意事項

使用后、不要となりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

消耗品は冷暗所に保管ください。

本製品を長時間使わない場合は、用紙をカセットまたは手差しから取り出し、もとの包装紙に戻して密封してください。

---

## コピー禁止事項

本製品を使って何をコピーしてもよいとは限りません。特に法律により、そのコピーを所有するだけでも罰せられることがありますので、次の点に充分ご注意ください。

### 法律で禁止されているものには

- ① 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方債証券は、コピーすることを禁止されています。例えば、見本の印が押してあっても、コピーすることはできません。
- ② 外国において流通する紙幣、貨幣、証券類のコピーも禁止されています。
- ③ 政府の模造許可を取らない限り、未使用郵便切手、官製はがきの類は、コピーすることを禁止されています。
- ④ 政府発行の印紙、酒税法で規定されている証紙類のコピーもできません。

(関係法律)

- 通貨及び証券模造取締法
- 外国ニオイテ流通スル貨幣、紙幣、銀行券、証券、偽造変造及び模造ニ関スル法律
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙等模造取締法
- 紙幣類似証券取締法

### 注意を要するものには

- ① 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券などは、事業会社が業務に供するための最低必要部数をコピーする以外は、政府の指導によって、注意を呼びかけられています。
- ② 政府発行のパスポート、公共機関や民間団体の免許証許可証、身分証明証や通行券、食券などの切符類も勝手にコピーしないほうがよいと考えられます。

---

## 著作権にもご注意を

著作権の目的となっている書籍、音楽、絵画、版画、地図、図面、映画及び写真などの著作物は、個人的にまたは、家庭内その他、これに準ずる限られた範囲内で使用するためにコピーする以外は、禁じられています。



---

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

---

## この使用説明書について

以下に使用説明書（本書）各章の内容をまとめていますので、本書をご利用になる際の参考にしてください。

### 1 各部の名称

本体の各部と操作パネルについて、名称とその働きを説明しています。

### 2 ご使用前の準備

用紙の補給のしかた、本製品の接続方法について説明しています。

### 3 基本的な操作

簡単なコピー、印刷ができるまでの内容を説明しています。

### 4 オプションについて

本製品で使用できる便利なオプション機器を紹介しています。

### 5 日常のメンテナンス

トナーコンテナ、廃棄トナーボックスの交換方法、本製品の清掃について説明しています。

### 6 困ったときは

エラーが表示されたときや紙づまりなど、トラブルが発生したときの対処方法を説明しています。

### 付録

本製品の仕様を説明しています。

---

## 付属マニュアルの紹介

本製品には、以下のマニュアルがあります。必要に応じてご参照ください。

### 使用説明書 基本編（本書）

本製品の用紙の補給方法、接続方法、コピーや印刷の基本的な操作、各種のトラブルの対処方法について説明しています。

### 使用説明書 応用編

本製品のコピー機能、プリンタ機能、各種の初期設定について説明しています。

### プリンタドライバのインストール

プリンタドライバのインストール方法について説明しています。

### KXプリンタドライバ操作手順書

プリンタドライバのインストール方法とセットアップについて説明しています。

### プリスクライブコマンドリファレンスマニュアル

プリスクライブコマンドによって実現される各種機能や制御について、コマンドごとに説明しています。

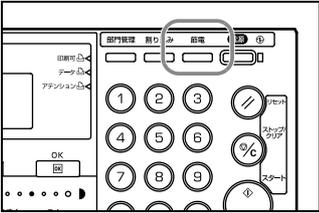
## 本書の読みかた

本書中では説明の内容によって、次のように表記しています。

基本的な操作

### 低電力モード

- 1 **メインスイッチがONのときでも【節電】キーを押すと、機械は休止状態（低電力モード）になります。操作パネル上の【節電表示】、電源表示、主電源表示が点灯し、他は消灯します。**  
コピーを再開するときは、もう一度【節電】キーを押してください。コピー可能状態までの復帰時間は10秒以内です。



- 4 **参考** 低電力モード中に印刷データやファクス受信データを感知すると自動的に復帰し、出力が開始されます。  
  
本機は一定時間（1～240分）操作がないと自動的に低電力モードになる自動低電力機能を備えています。工場出荷時は1分に設定されています。
- 5 **参考** 自動低電力機能が働くまでの時間の変更は、**使用説明書 応用編**を参照してください。

### コピー機能

#### 給紙元の選択

給紙元のカセットまたは手差しを変更して、用紙サイズを選択します。

- 1 原稿をセットしてください。
- 3 **メッセージ表示に「自動」が表示されている場合は、原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されます。**



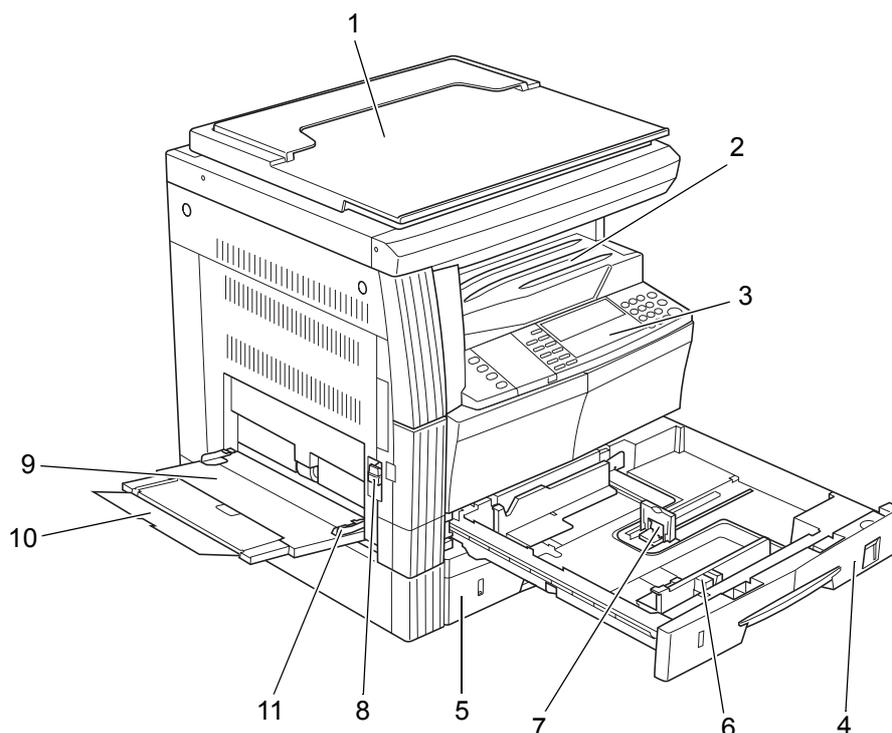
**参考**

- 自動的に用紙サイズを選択させないこともできます。（詳細は3-5ページの**用紙選択**を参照してください。）
- カセットに用紙サイズを設定しておくことができます。（詳細は3-14ページの**用紙サイズ（カセット1～4）設定**を参照してください。）
- カセットに用紙種類を設定しておくことができます。（詳細は3-14ページの**用紙種類（カセット1～4）設定**を参照してください。）

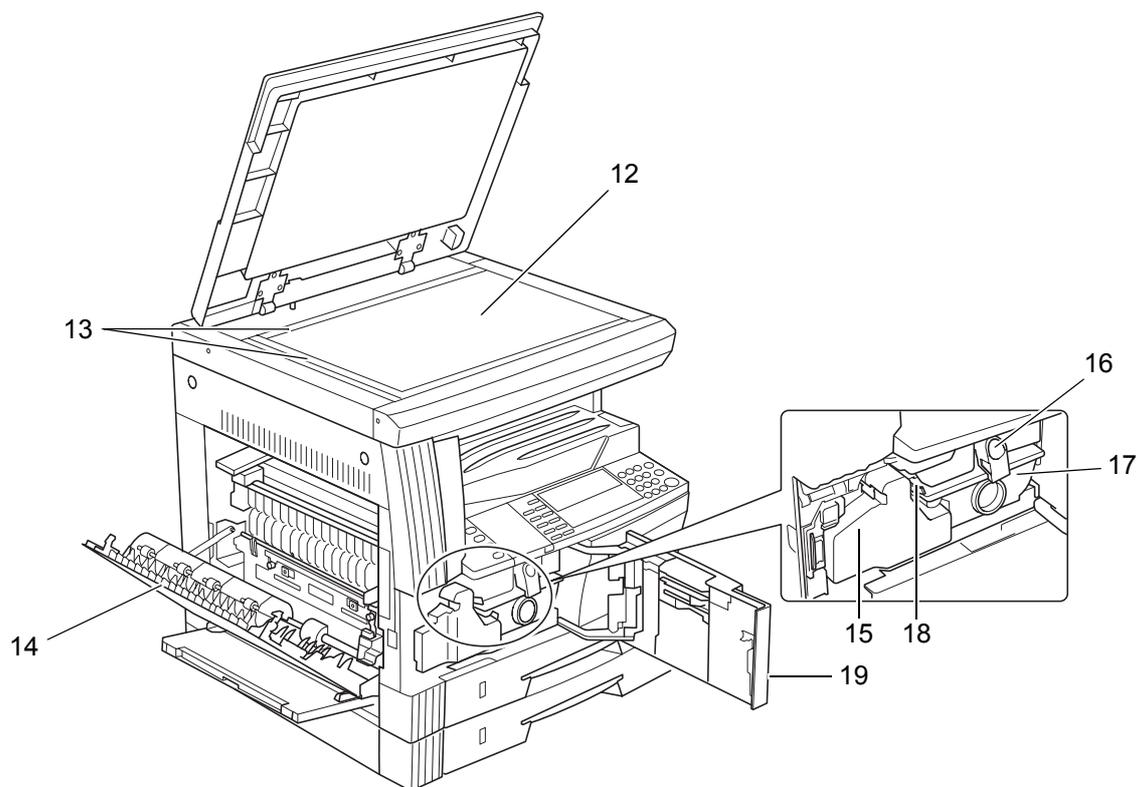
- 1 操作パネル上のキーは [ ] で示します。
- 2 操作パネル上の表示は太字で示します。
- 3 メッセージ表示中のメッセージは「」で示します。
- 4 参考とご注意は操作に関する重要な情報を記述しています。
- 5 他のページや説明書の参照先は太字で示します。

# 1 各部の名称

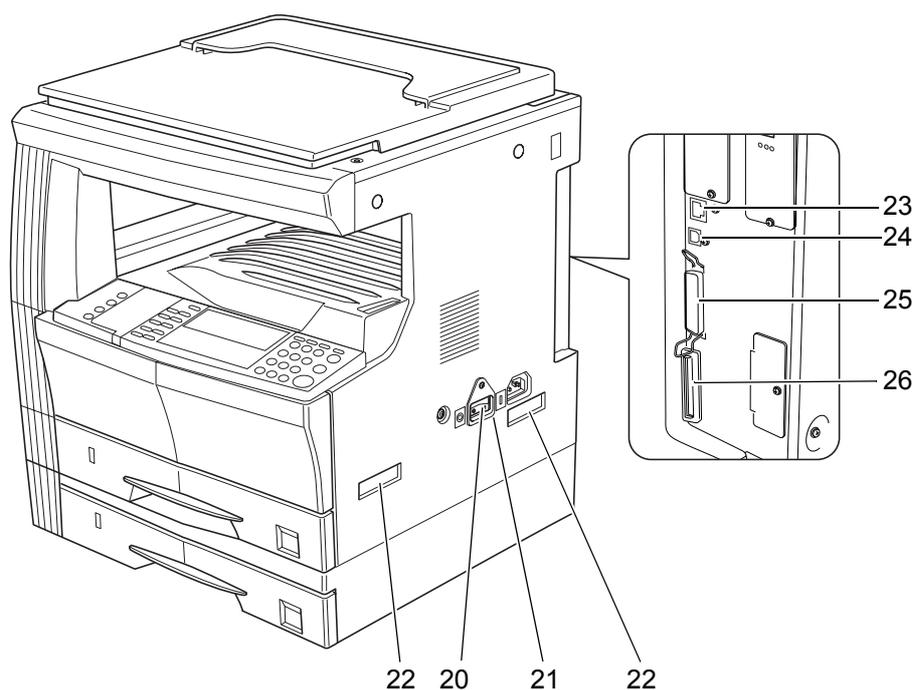
## 機械本体



- 1 原稿押さえーコンタクトガラスに原稿をセットするときに開閉してください。
- 2 排紙トレイ仕上がった用紙はここに収納されます。収納枚数は普通紙（80 g/m<sup>2</sup>）で250枚です。
- 3 操作パネルー本体からの操作はここで行います。
- 4 カセット1ー普通紙（80 g/m<sup>2</sup>）が300枚セットできます。
- 5 カセット2（20枚機/25枚機のみ）ー普通紙（80 g/m<sup>2</sup>）が300枚セットできます。
- 6 横サイズ変更つまみーこのつまみを持って横ガイドをセットする用紙の横サイズに合わせてください。
- 7 縦サイズ変更つまみーこのつまみを持って縦ガイドをセットする用紙の縦サイズに合わせてください。
- 8 左カバー取手ー左カバーを開けるときにここを引き上げてください。
- 9 手差しー小サイズ用の紙や特殊紙を使用するときはここに用紙をセットしてください。
- 10 手差し補助トレイーA4R以上の用紙をセットするときに引き出して使用してください。
- 11 スライダーー手差しに用紙をセットするときに用紙幅に合わせてください。

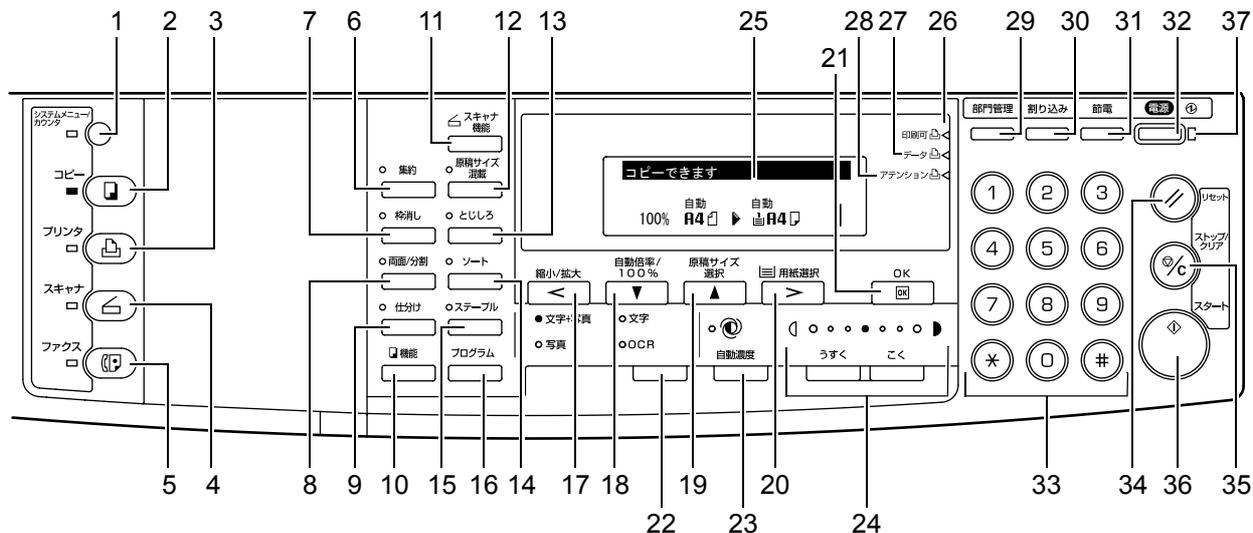


- 12 **コンタクトガラス**—原稿をここにセットしてください。セットするときは原稿の端を左奥に合わせて下向きにセットしてください。
- 13 **原稿サイズ指示板**—原稿をセットするときは必ずこの指示板に合わせてください。
- 14 **左カバー**—紙づまりが発生したときに開いてください。
- 15 **廃棄トナーボックス**
- 16 **トナーコンテナ解除レバー**—トナーコンテナを交換するときに操作してください。
- 17 **トナーコンテナ**
- 18 **クリーナー棒**—トナーコンテナを交換した後や画像に汚れが発生したときに引き出して、押し込んでください。
- 19 **前カバー**—トナーコンテナ、廃棄トナーボックスを交換するとき、清掃するときに開いてください。



- 20 メインスイッチ-本機を使用する前にこのスイッチを ON ( | ) にしてください。
- 21 メインスイッチカバー-メインスイッチを操作するときを開いてください。
- 22 搬送取手-移動させる場合は左右4ヶ所の凹部を持ってください。
- 23 ネットワークインタフェースコネクタ-本機をネットワーク接続する場合は、ネットワークケーブルを接続してください。
- 24 USB インタフェースコネクタ-本機をコンピュータと USB 接続する場合は、USB ケーブルを接続してください。
- 25 パラレルインタフェースコネクタ-本機をコンピュータとパラレル接続する場合は、双方向パラレルケーブルを接続してください。
- 26 メモリカードスロット-オプションのメモリカードを挿入するスロットです。

操作パネル



- 1 [システムメニュー/カウンタ] キー (表示) - 部門管理や初期設定など機械の設定を行うときに押してください。(詳細は使用説明書 応用編の3章または4章を参照してください。)
- 2 [コピー] キー (表示) - コピー機能を使用するときに押してください。コピーモード中はコピー表示が点灯します。
- 3 [プリンタ] キー (表示) - プリンタ機能を使用するときに押してください。プリンタモード中はプリンタ表示が点灯します。
- 4 [スキャナ] キー (表示) - スキャナ機能を使用するときに押してください。スキャナモード中はスキャナ表示が点灯します。スキャナ機能を使用するときは、オプションのネットワークスキャナが必要です。
- 5 [ファクス] キー (表示) - ファクス機能を使用するときに押してください。ファクスモード中はファクス表示が点灯します。ファクス機能を使用するときは、オプションのファクスキットが必要です。
- 6 [集約] キー (表示) - 集約コピーをするときに押してください。集約表示が点灯します。(3-16 ページ参照)
- 7 [枠消し] キー (表示) - 枠消しコピーをするときに押してください。枠消し表示が点灯します。(詳細は使用説明書 応用編の1章、枠消しコピーを参照してください。)
- 8 [両面/分割] キー (表示) - 両面コピーまたは分割コピーをするときに押してください。両面/分割表示が点灯します。両面コピー機能を使用するときは、オプションの両面ユニットが必要です。(3-9 ページ、3-12 ページ参照)
- 9 [仕分け] キー (表示) - 仕分けコピーをするときに押してください。仕分け表示が点灯します。(詳細は使用説明書 応用編の1章、仕分けコピーを参照してください。)
- 10 [機能] キー - 原稿セット向きの設定、連続読み込みコピー、自動回転コピー、エコプリントをするときに押してください。(詳細は使用説明書 応用編の1章を参照してください。)

- 11 **【スキャナ機能】** キー—スキャナの各種設定をするとき押してください。スキャナ機能を使用するときは、オプションのネットワークスキャナが必要です。
- 12 **【原稿サイズ混載】** キー（表示）—原稿サイズ混載コピーをするときに押してください。原稿サイズ混載表示が点灯します。原稿サイズ混載コピーを使用するときは、オプションの原稿送り装置が必要です。（詳細は**使用説明書 応用編の1章、原稿サイズ混載コピー**を参照してください。）
- 13 **【とじしろ】** キー（表示）—とじしろコピーをするときに押してください。とじしろ表示が点灯します。（詳細は**使用説明書 応用編の1章、とじしろコピー**を参照してください。）
- 14 **【ソート】** キー（表示）—ソートコピーをするときに押してください。ソート表示が点灯します。（3-14 ページ参照）
- 15 **【ステープル】** キー（表示）—ステープルコピーをするときに押してください。ステープル表示が点灯します。ステープルコピーを使用するときは、オプションのフィニッシャが必要です。（詳細は**使用説明書 応用編の1章、ステープルコピー**を参照してください。）
- 16 **【プログラム】** キー—登録したプログラムでコピーするときに押してください。（詳細は**使用説明書 応用編の1章、プログラムコピー**を参照してください。）
- 17 **【縮小/拡大】** キー / [**<**] キー—縮小/拡大コピーをするときに押してください。（3-5 ページ参照）また、メッセージ表示に表示されるカーソルを左に移動させるときにも押してください。
- 18 **【自動倍率/100%】** キー / [**▼**] キー—自動倍率選択と等倍（100%）を切り替えるときに押してください。また、メッセージ表示に表示されるカーソルを下に移動させるときにも押してください。
- 19 **【原稿サイズ選択】** キー / [**▲**] キー—原稿サイズを選択するときに押してください。また、メッセージ表示に表示されるカーソルを上に移動させるときにも押してください。
- 20 **【用紙選択】** キー / [**>**] キー—給紙元のカセットまたは手差しを変更して、用紙サイズを選択するときに押してください。現在選択されている用紙サイズがメッセージ表示に表示されます。（3-2 ページ参照）また、メッセージ表示に表示されるカーソルを右に移動させるときにも押してください。
- 21 **【OK】** キー—メッセージ表示上で機能や選択項目を確定するときに押してください。
- 22 **画質モード選択** キー—原稿の種類に合わせて画質を選択するときに押してください。（3-2 ページ参照）
- 23 **【自動濃度】** キー—このキーを押すと、自動濃度モードになります。原稿の濃度を検知して、最適の濃度をセットします。（3-3 ページ参照）
- 24 **【うすく】** キー / [**こく**] キー / **濃度表示**—濃度を調整するときに押してください。濃度表示が現在の濃度を示します。（3-3 ページ参照）
- 25 **メッセージ表示**—操作の手順や不具合を表示します。また、液晶のコントラストを変更することができます。（詳細は**使用説明書 応用編の3章、液晶コントラスト調整**を参照してください。）
- 26 **印刷可表示（緑色）**  
点灯—本機は印刷可能です。  
点滅—エラーが発生しています。6-4 ページの**こんな表示が出たら**を参照してエラーの処理をしてください。  
消灯—本機は印刷できない状態です。

- 27 **データ表示** (緑色)  
点灯—印刷データの処理中です。  
点滅—印刷データを受信しています。
- 28 **アテンション表示** (赤色)  
点灯—エラーが発生しています。6-4 ページの**こんな表示が出たら**を参照してエラーの処理をしてください。
- 29 **[部門管理] キー—部門管理モードの場合、コピー終了時に押してください。部門コード入力画面になります。(詳細は使用説明書 応用編の 4 章を参照してください。)**
- 30 **[割り込み] キー (表示) —割り込みモードを使用するときに押してください。割り込み表示が点灯します。(3-20 ページ参照)**
- 31 **[節電] キー (表示) —低電力モードにするときに押してください。低電力モード時は操作パネル上の節電表示、電源表示、主電源表示が点灯し、他は消灯します。低電力モードを解除するときはこのキーを押してください。(3-22 ページ参照)**
- 32 **[電源] キー (表示) —スリープモードにするときに押してください。スリープモード時は操作パネル上の主電源表示だけが点灯し、他は消灯します。スリープモードを解除するときはこのキーを押してください。(3-23 ページ参照)**
- 33 **テンキー—コピー枚数をセットするときや数値を入力するときに押してください。**
- 34 **[リセット] キー—このキーを押すと各機能がリセットされ初期モード<sup>†</sup>に戻ります。**
- 35 **[ストップ/クリア] キー—コピーを中断するとき、またはコピー枚数を訂正するときに押してください。コピー機能などの設定画面で、ひとつ前の設定画面に戻るときにも押してください。**
- 36 **[スタート] キー (表示) —コピーを開始するときに押してください。表示が緑色に点灯しているときに押すとコピーが開始されます。**
- 37 **主電源表示—メインスイッチを ON ( | ) にすると点灯します。**

<sup>†</sup> 初期モード (ウォームアップが完了したとき、または [リセット] キーを押したとき) について

工場出荷時には、コピーモードは原稿と同じサイズの用紙に等倍でコピーする「自動用紙選択モード」、コピー枚数セットは「1」、画質は「文字+写真」が自動的に選択されます。

- 参考**
- 初期モードは初期設定で変更できます。(詳細は使用説明書 応用編の 3 章、初期設定モードを参照してください。)
  - 初期モードで選択されるカセットを変更することができます。(16 枚機にはオプションのペーパーフィーダが必要です。詳細は使用説明書 応用編の 3 章、優先カセット設定を参照してください。)
  - 初期モードで選択される画質モードを変更することができます。(詳細は使用説明書 応用編の 3 章、原稿の画質を参照してください。)
  - 濃度調整の初期設定を「自動濃度モード」に変更できます。(詳細は使用説明書 応用編の 3 章、濃度モード設定を参照してください。)

### オートクリア機能について

コピー終了後、一定時間（10～270秒）経過すると、機械は自動的にウォームアップが終了した状態に戻ります。オートクリア機能が働く前なら、コピーモードやコピー枚数、濃度の設定などを同じ状態で繰り返しコピーできます。

**参考** オートクリア機能が働くまでの時間の変更は使用説明書 応用編の3章、オートクリア時間設定を参照してください。

### オートカセットチェンジ機能について

同じサイズの下紙がセットされているカセットが複数ある場合、コピー中に1つのカセットの下紙がなくなったとき、自動的に別のカセットに切り替えて給紙します。

- 参考**
- 16枚機でこの機能を使用するためには、オプションのペーパーフィーダが必要です。
  - オートカセットチェンジ機能をOFFにすることもできます。（詳細は使用説明書 応用編の3章、オートカセットチェンジ設定を参照してください。）
  - セットされている下紙の向きが同じである必要があります。

### メッセージ表示

メッセージ表示には、本機の各種動作状態を示すメッセージが表示されます。

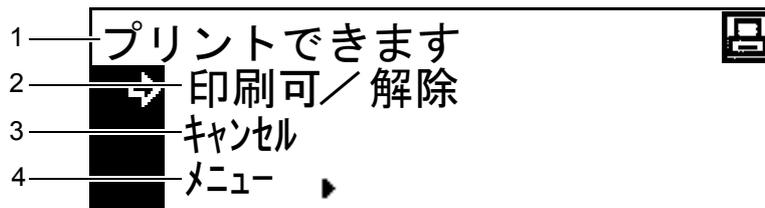
### コピー基本画面



[コピー] キーを押したときに表示される画面です。

番号	説明
1	本機の状態や必要な操作のメッセージを表示します。
2	原稿のサイズが自動的に検知されるときに表示されます。
3	コピー倍率を表示します。(3-5 ページ参照)
4	自動用紙選択モードのときに表示されます。
5	原稿サイズと用紙サイズ、および選択されているカセットを表示します。
6	コピー枚数を表示します。

プリンタ基本画面

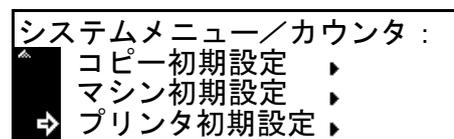


[プリンタ] キーを押したときに表示される画面です。

番号	説明
1	本機の状態や必要な操作のメッセージを表示します。
2	オンライン、オフラインを切り換えるとき、印刷を停止 / 再開するとき、特定のエラー解除を行うとき、印刷待ち最終ページを強制的に改ページして印刷させるときに選択してください。
3	実行中の印刷を中止するときを選択してください。
4	ネットワークの設定を行うときを選択してください。(2-15 ページのネットワーク (TCP/IP) 設定参照)  また、さまざまなプリンタ機能や設定を変更することができます。(使用説明書 応用編の 2 章参照)

参考 プリンタ機能の初期設定の変更は、次の手順でも可能です。

- 1 [システムメニュー / カウンタ] キーを押してください。
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「プリンタ初期設定」を選択してください。
- 3 [OK] キーを押してください。プリンタ基本画面で「メニュー」を選択したときと同じ画面が表示されます。



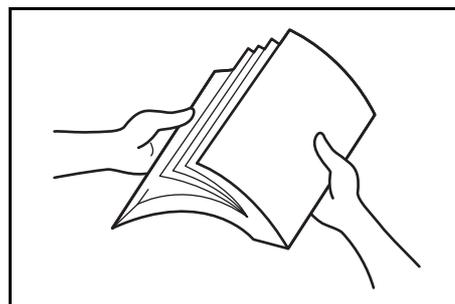
## 2 ご使用前の準備

### 用紙の補給

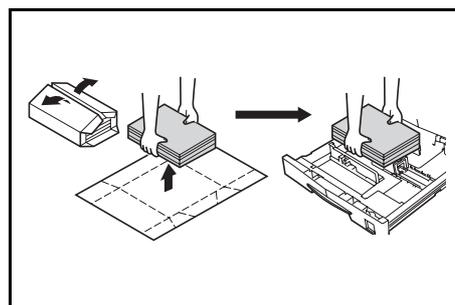
本機はカセットと手差しに用紙をセットすることができます。使用できる用紙の詳細は、**使用説明書 応用編の付録、用紙について**を参照してください。

### 用紙補給時の注意

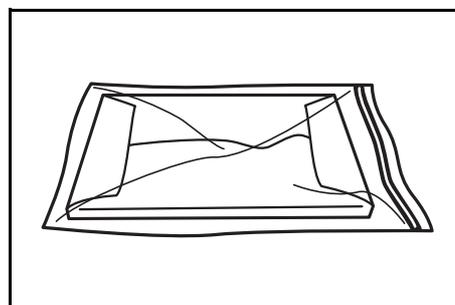
包装紙から出した用紙はカセットや手差しにセットする前に数回さばいてください。



用紙は開封面を上にして、カセットにセットしてください。



- ご注意
- 再利用紙（一度コピーした用紙）を使用する場合に、ステープル（ホッチキス）やクリップなどで止められている用紙は使用しないでください。画像不良や故障の原因となります。
  - 用紙に折れやカール等がある場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。紙づまりの原因となります。
  - 高温高湿環境で、用紙を取り出し放置されますと、湿気でトラブルの要因となりますので、カセットに入れた残りの用紙は用紙保管袋に入れて密封保管してください。また、手差しに残った用紙も保管袋に入れて密封保管してください。機械を長時間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封保管してください。



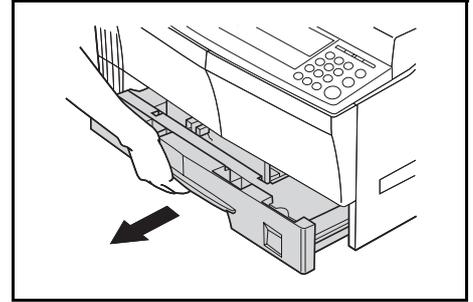
## カセットへの補給

カセットには、普通紙、再生紙やカラーペーパーを収納できます。普通紙（80 g/m<sup>2</sup>）で300枚、厚紙（90～105 g/m<sup>2</sup>）は100枚セットできます。

セットできる用紙サイズは、A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11"×17"、8 1/2"×14"、11"×8 1/2"、8 1/2"×11"、5 1/2"×8 1/2"、8 1/2"×13"、8K、16Kです。

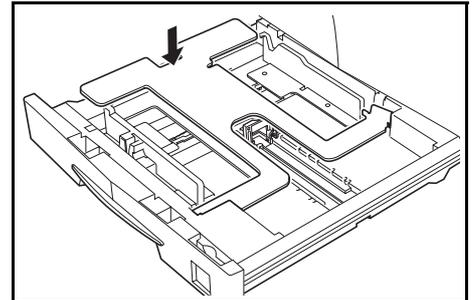
**ご注意** カセットにセットする用紙の種類（普通紙、再生紙など）を設定してください。設定方法は使用説明書 応用編の3章、用紙種類（カセット1～4）設定を参照してください。

- 1 カセットを手前いっぱい引き出してください。

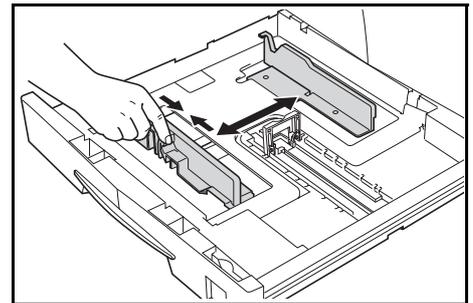


**参考** 複数のカセットを同時に引き出さないようにしてください。

- 2 カセット底板を押し下げて固定してください。



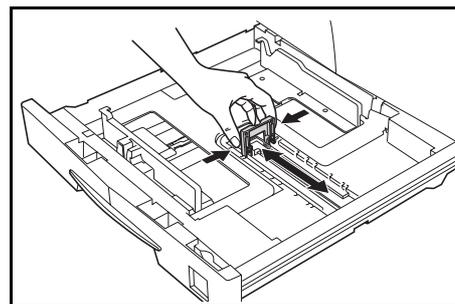
- 3 横サイズ変更つまみを持って用紙サイズに横ガイドを合わせてください。



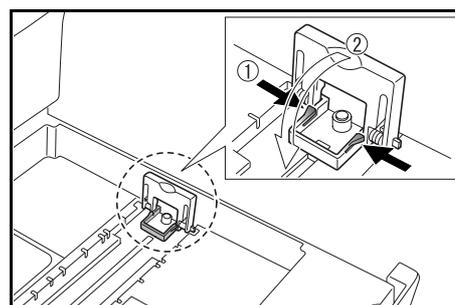
**ご注意** 横ガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは横ガイドをセットしなおしてください。

**参考** 用紙サイズはカセットに刻印されています。

- 4 縦サイズ変更つまみを持って用紙サイズに縦ガイドを合わせてください。

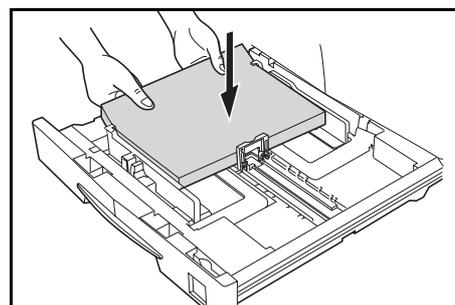


- ご注意
- 縦ガイドがしっかりと用紙に当たっているか確認し、隙間があるときは縦ガイドをセットしなおしてください。
  - 11" × 17" の用紙をセットするときは、縦ガイドを右端まで移動させ、図のように操作して倒してください。

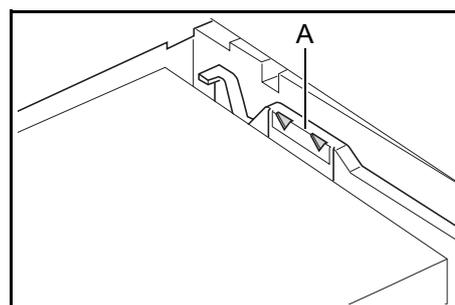


参考 用紙サイズはカセットに刻印されています。

- 5 用紙はまっすぐに上部からセットしてください。

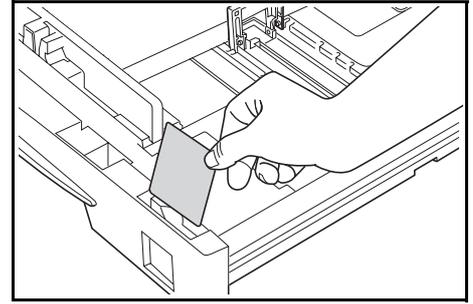


- ご注意
- 用紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。
  - 横ガイドに用紙上限表示 A があります。一度にセットする用紙は、用紙上限表示以下にしてください。
  - カセットに用紙を補給する場合は、開封面を上にしてセットしてください。
  - 必ず縦サイズ及び横サイズのガイドを用紙のサイズに合わせてから用紙をセットしてください。斜め給紙や、紙づまりの原因となります。
  - 縦ガイドおよび横ガイドがしっかりと用紙に当たっていない場合、メッセージ表示に、セットされている用紙と異なるサイズが表示されるおそれがあります。
  - 用紙が湿気で波うち、用紙が送られない場合、用紙の波うち側を縦ガイド側に向けてセットし直してください。

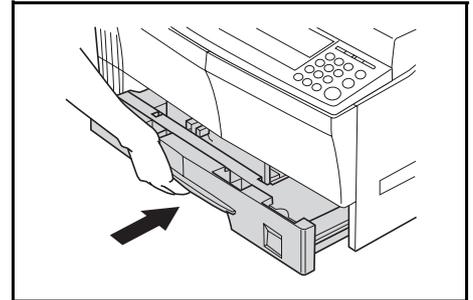


参考 カセットに用紙を補給する場合は、印刷される面を上向きにセットしてください。

- 6 セットした用紙サイズがカセット正面からわかるように、付属の用紙シートをセットしてください。



- 7 カセットを静かに押し込んでください。



ご注意 機械を長時間使用しない場合は、用紙を湿気から守るために、カセットから用紙を取り出し、保管袋に入れて密封してください。

#### 手差しへの補給

普通紙や再生紙の他、特殊紙（45～160 g/m<sup>2</sup>）をセットすることができます。

普通紙（80 g/m<sup>2</sup>）で50枚（A3、B4、Folio、11"×17"、8 1/2"×14"、8 1/2"×13"、8K サイズの用紙では25枚）セットできます。使用できる用紙サイズはA3～A6R、はがき、Folio、11"×17"～5 1/2"×8 1/2"、8K、16Kです。

特殊紙は必ず手差しにセットしてください。

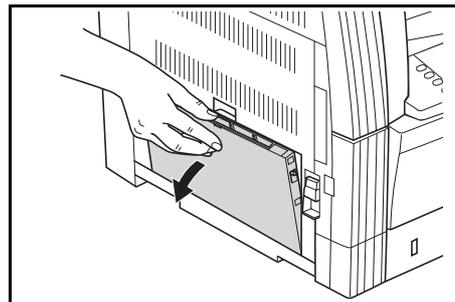
使用できる特殊紙の用紙種類とそのセット可能枚数は次のとおりです。

- 第2原図：1枚
- カラーペーパー：50枚
- 更紙：20枚
- 官製はがき：10枚
- のし紙：1枚
- 薄紙/厚紙（45～160 g/m<sup>2</sup>）：50枚～5枚（紙の厚さやサイズによって異なります。）

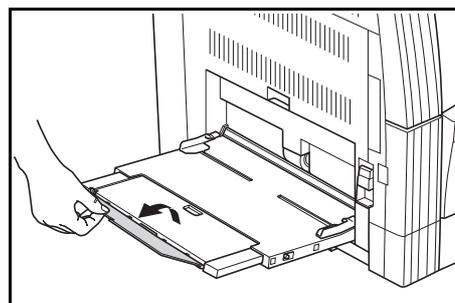
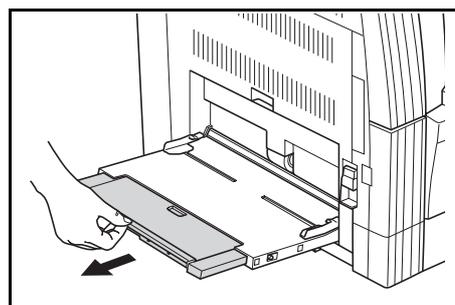
ご注意

- 手差しを使用するときは、2-6 ページの手差し設定を参照して、用紙サイズと用紙種類を設定してください。
- 手差しを選択したときに「手差し用紙サイズ」画面が表示されるように設定することができます。設定方法は使用説明書 応用編の3章、手差し確認表示の設定を参照してください。

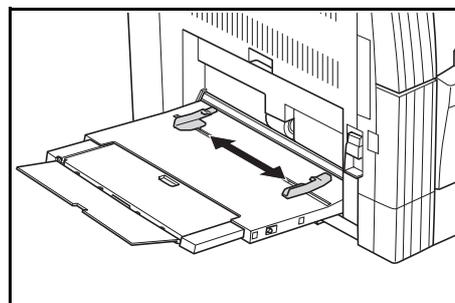
- 1 手差しを開いてください。



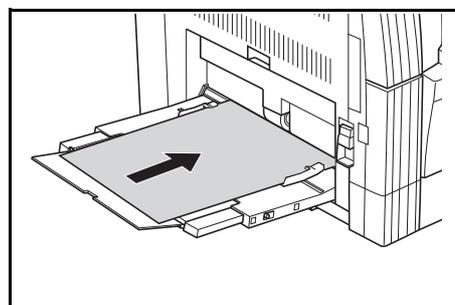
- 参考 A4R 以上の用紙をセットするときは、用紙サイズに合わせて手差し補助トレイを引き出してください。



- 2 セットする用紙の幅にスライダを合わせてください。



- 3 用紙をスライダーに沿わせて、止まる位置まで挿入してください。



- ご注意
- はがきや厚紙など反っている用紙は、必ず反りを直してから使用してください。紙質によっては紙送りされない場合があります。
  - 手差しに用紙を補給する場合は、開封面を下にしてセットしてください。先端が反っている場合は、まっすぐにのばしてからセットしてください。
  - 紙に折れ等がないようにセットしてください。紙づまりの原因となります。
  - スライダーが用紙の端に当たっているか確認してください。当たっていない場合は、スライダーが用紙の端に当たるまでスライダーを動かしてください。

参考 手差しに用紙を補給する場合は、印刷される面を下向きにセットしてください。

## 手差し設定

手差しから給紙する場合は、次の設定を行ってください。

### 用紙サイズの設定

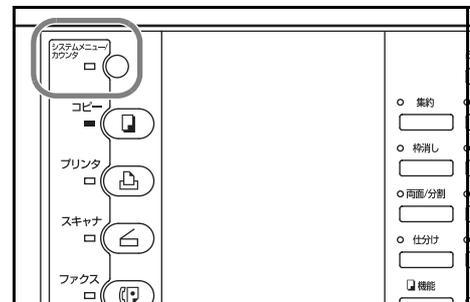
手差しで使用する用紙のサイズを設定します。用紙サイズを入力すると、不定形サイズ of 用紙を使用することもできます。

参考 用紙サイズが不明な場合、または特に用紙サイズを設定しない場合は、「ユニバーサルサイズ」を設定してください。

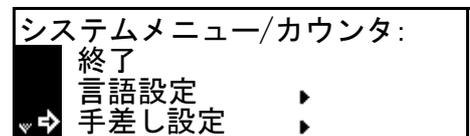
### 定形サイズから選択する場合

設定できる用紙サイズ：A3、B4、A4R、A4、B5R、B5、A5R、B6R、8 1/2" × 11"、11" × 8 1/2"、はがき

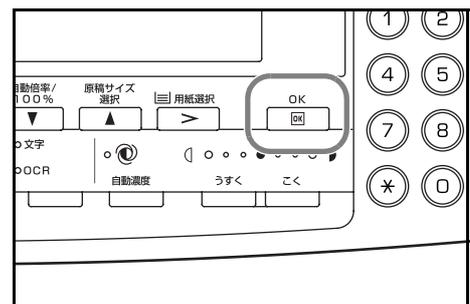
- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。



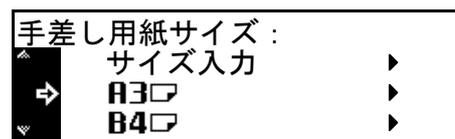
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「手差し設定」を選択してください。



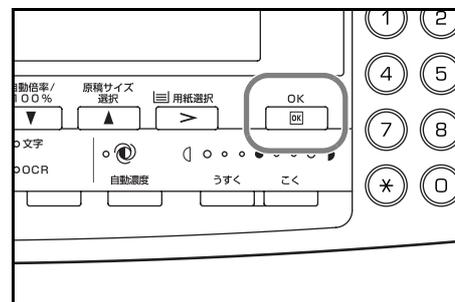
- 3 [OK] キーを押してください。



- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、用紙サイズを選択してください。



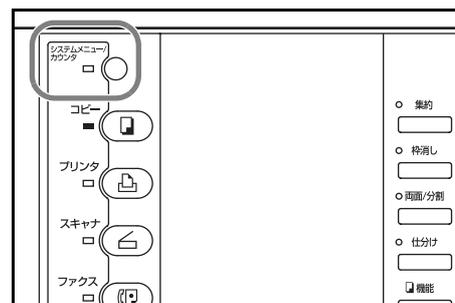
- 5 [OK] キーを押してください。「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。



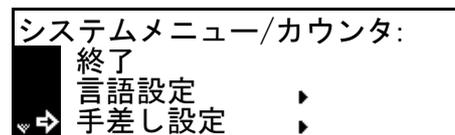
その他の定形サイズから選択する場合

設定できる用紙サイズ：11"×17"、8 1/2"×14"、8 1/2"×13"、5 1/2"×8 1/2"、Folio、A6R、Executive、ISO B5、Envelope DL、Envelope C5、Envelope C4、Comm. #10、Comm. #9、Comm. #6-3/4、Monarch、往復はがき、洋形2号、洋形4号、8K、16KR、16K

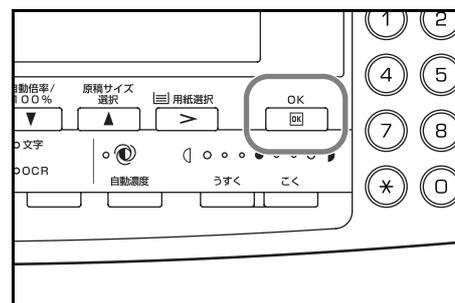
- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。



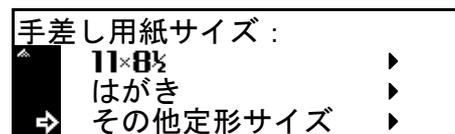
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「手差し設定」を選択してください。



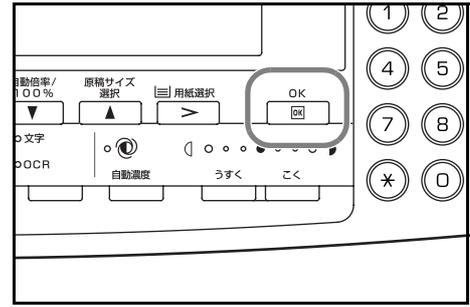
- 3 [OK] キーを押してください。



- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「その他定形サイズ」を選択してください。



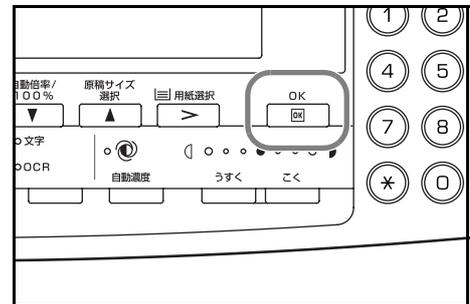
- 5 [OK] キーを押してください。



- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、用紙サイズを選択してください。

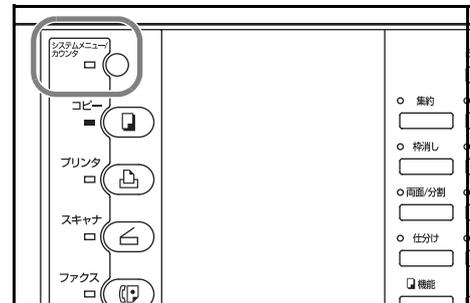


- 7 [OK] キーを押してください。「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。

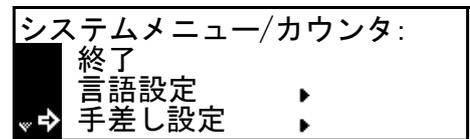


用紙サイズを入力する場合

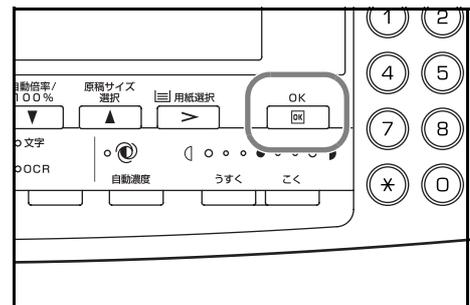
- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。



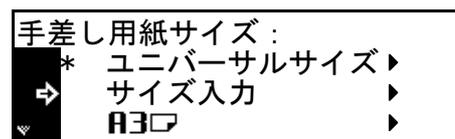
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「手差し設定」を選択してください。



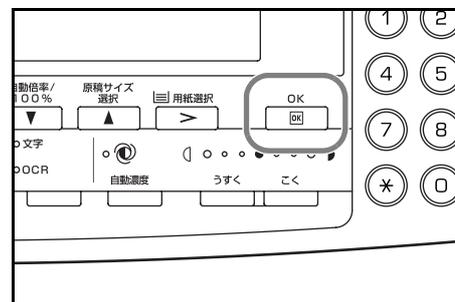
- 3 [OK] キーを押してください。



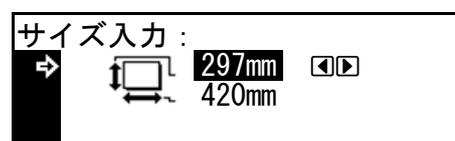
- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「サイズ入力」を選択してください。



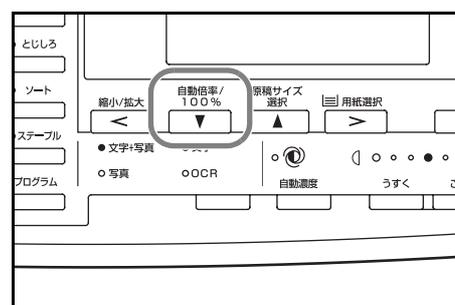
- 5 [OK] キーを押してください。



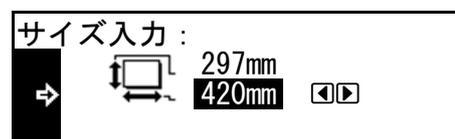
- 6 [<] キーまたは [>] キーを押して、縦のサイズを設定してください。98 ~ 297 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。



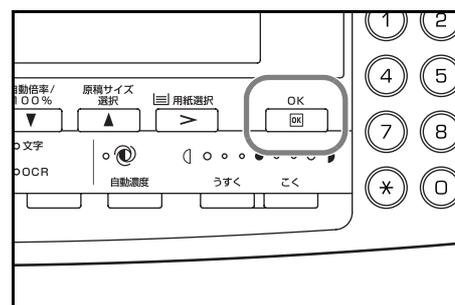
- 7 [▼] キーを押して、横のサイズを選択してください。



- 8 [<] キーまたは [>] キーを押して、横のサイズを設定してください。148 ~ 432 mm (1 mm 単位) の範囲で設定できます。



- 9 [OK] キーを押してください。「手差し用紙種類」画面が表示されます。次の用紙種類の設定に進んでください。

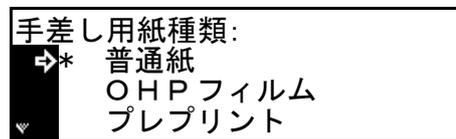


### 用紙種類の設定

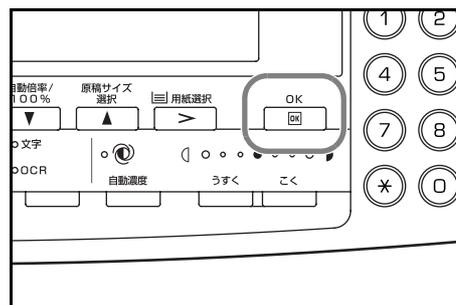
用紙サイズの設定の続きから、手差しで使用する用紙の種類を設定します。

設定できる用紙種類：普通紙、OHP フィルム、プレプリント、ラベル紙、ボンド紙、再生紙、薄紙、レターヘッド、カラー紙、パンチ済み紙、封筒、はがき、厚紙、上質紙、カスタム 1（～ 8）

- 1 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、用紙種類を選択してください。



- 2 [OK] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。



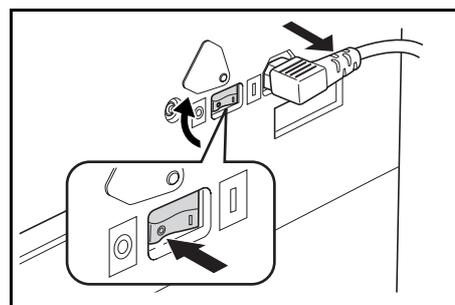
## ケーブルの接続

本機はネットワークに接続、または直接コンピュータに接続して使用することができます。ここでは、それぞれの接続方法について説明します。

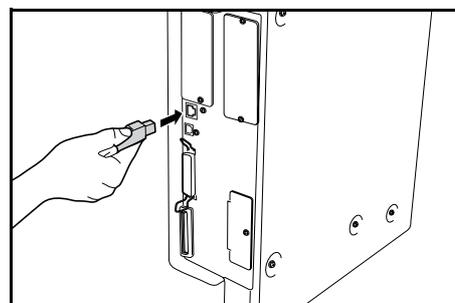
### ネットワークケーブルの接続

ネットワークに接続する場合、ネットワークケーブルにはイーサケーブル（10Base-T または 100Base-TX）を使用してください。

- 1 本体右側にあるメインスイッチカバーを開いてメインスイッチを OFF（○）にし、電源ケーブルを抜いてください。



- 2 本体右側のネットワークインタフェースコネクタにネットワークケーブルを接続してください。



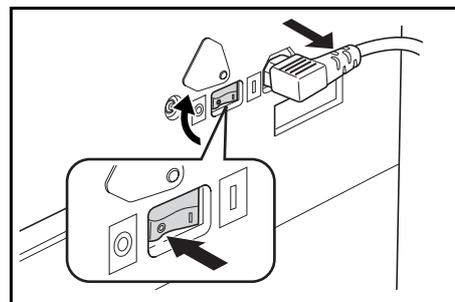
- 3 ネットワークケーブルのもう一方を HUB（集線装置）に接続してください。
- 4 ネットワークの設定を行ってください。（2-15 ページ参照）

### プリンタケーブルの接続

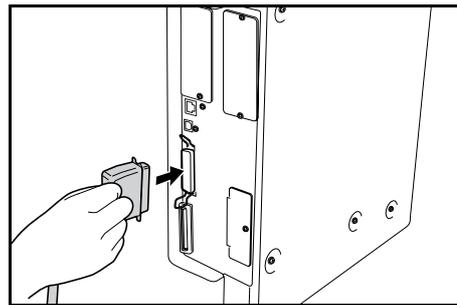
本機を直接コンピュータに接続する場合は、プリンタケーブルにはパラレルケーブルまたは USB ケーブルを使用してください。

**ご注意** プリンタケーブルを接続する際は、必ず本機の電源を OFF にしてから接続してください。

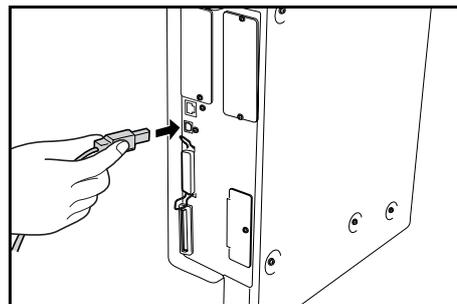
- 1 本体右側にあるメインスイッチカバーを開いてメインスイッチを OFF（○）にし、電源ケーブルを抜いてください。接続するコンピュータも電源を切ってください。



- 2** 本体右側のパラレルインタフェースコネクタまたは USB インタフェースコネクタにプリンタケーブルを接続してください。



- 参考** USB ケーブルは 5m 以下の USB2.0 適合ケーブルで、シールドされているものを使用してください。

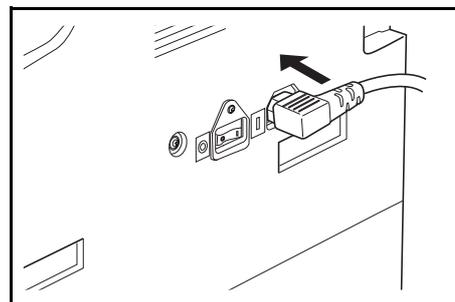


- 3** プリンタケーブルのもう一方を、コンピュータのパラレルインタフェースまたは USB インタフェースに接続してください。

## 電源ケーブルの接続

本機に電源ケーブルを接続します。

- 1 本体右側の電源コネクタに電源ケーブルを接続してください。

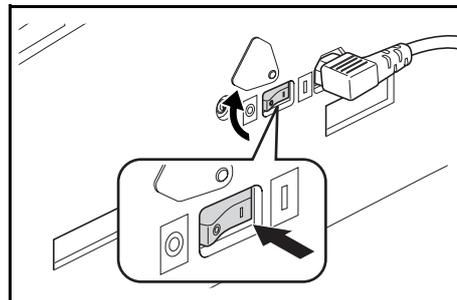


- 2 電源ケーブルのもう一方をコンセントに接続してください。

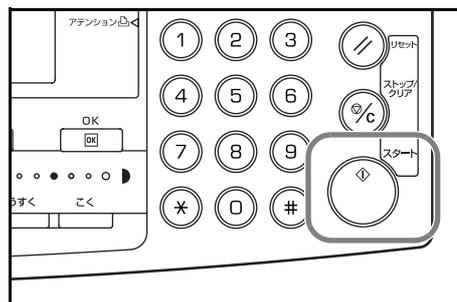
## 電源の入れ方

本機の電源を入れます。

- 1 本体右側にあるメインスイッチカバーを開いて、メインスイッチをON（|）にしてください。ウォームアップが開始されます。



- 2 ウォームアップが完了すると、スタート表示が緑色に点灯します。

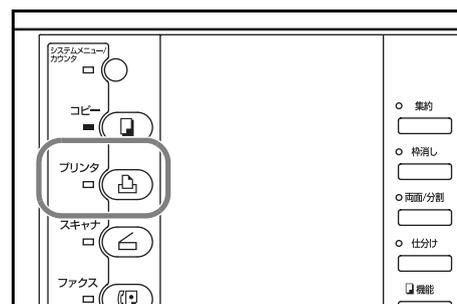


## ネットワーク (TCP/IP) 設定

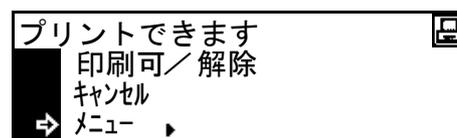
本機の IP Address を設定します。

- 参考
- 設定する IP Address は、運用される環境によって異なります。あらかじめネットワーク管理者にご確認ください。
  - 以下の手順で IP Address を手動で設定する場合は、DHCP を「オフ」、TCP/IP を「オン」に設定してください。(詳細は使用説明書 応用編の 2 章、ネットワークの設定を参照してください。)

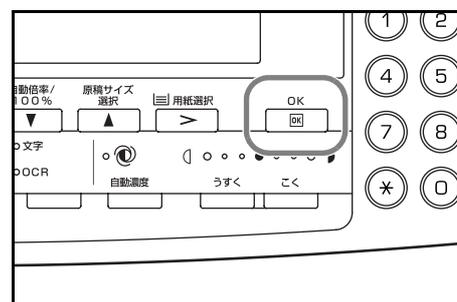
- 1 [プリンタ] キーを押してください。



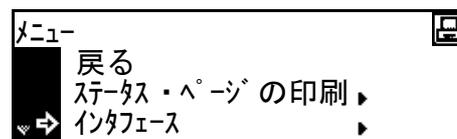
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「メニュー」を選択してください。



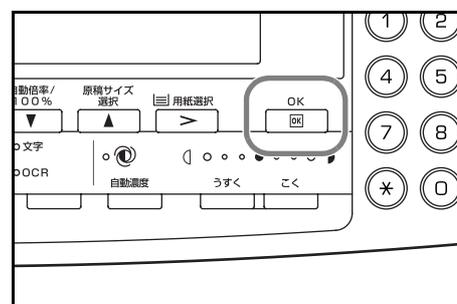
- 3 [OK] キーを押してください。



- 4 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「インタフェース」を選択してください。



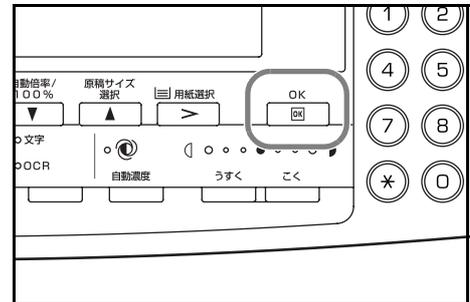
- 5 [OK] キーを押してください。



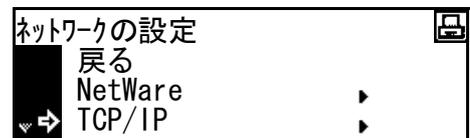
- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「ネットワーク」を選択してください。



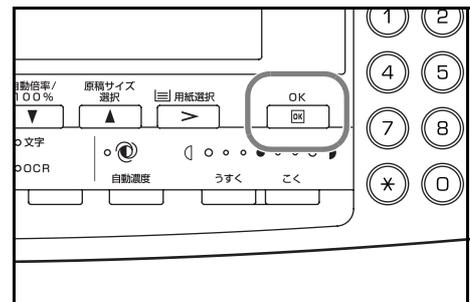
- 7 [OK] キーを押してください。



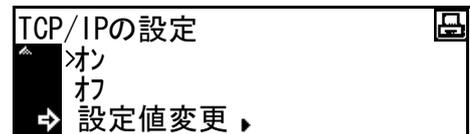
- 8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「TCP/IP」を選択してください。



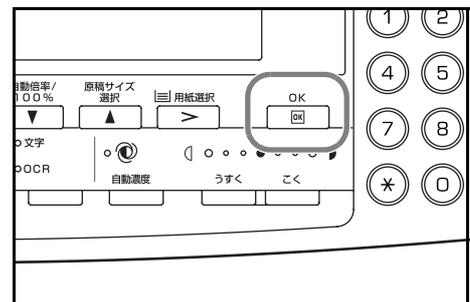
- 9 [OK] キーを押してください。



- 10 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「設定値変更」を選択してください。



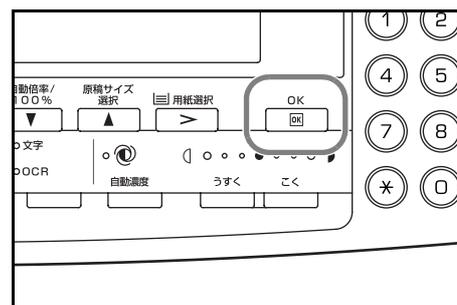
- 11 [OK] キーを押してください。



- 12 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「IP Address」を選択してください。



- 13 [OK] キーを押してください。



- 14 テンキーを使って IP Address を入力します。反転表示されている最初の 3 桁のアドレスを入力してください。



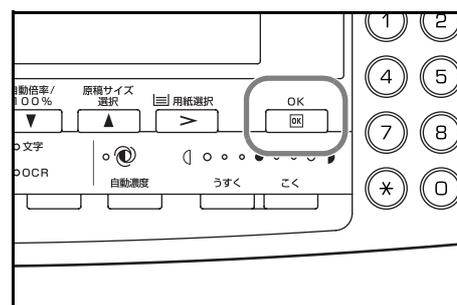
- 15 [>] キーを押してください。

- 16 反転表示されている次の 3 桁のアドレスを入力してください。



- 17 同様に残りのアドレスを入力してください。

- 18 [OK] キーを押してください。  
続けて、Subnet Mask を設定します。



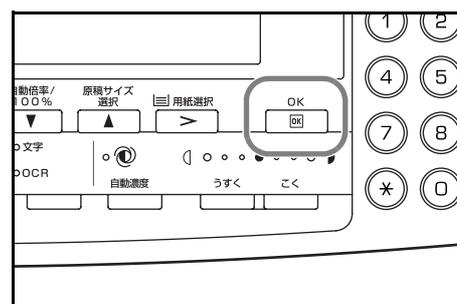
### Subnet Mask の設定

上記手順 18 の続きから Subnet Mask を設定します。

- 1 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Subnet Mask」を選択してください。



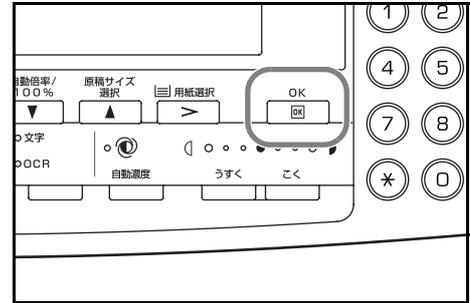
- 2 [OK] キーを押してください。



- 3 IP Address の設定手順 14～17 と同様に、アドレスを入力してください。



- 4 [OK] キーを押してください。  
続けて、Default Gateway を設定します。



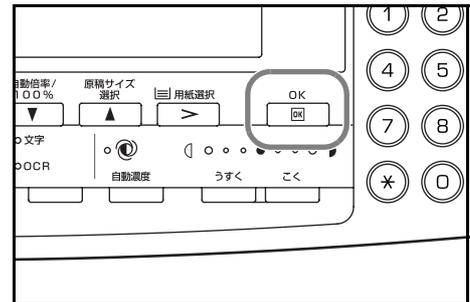
### Default Gateway の設定

上記手順 4 の続きから Default Gateway を設定します。

- 1 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「Gateway」を選択してください。



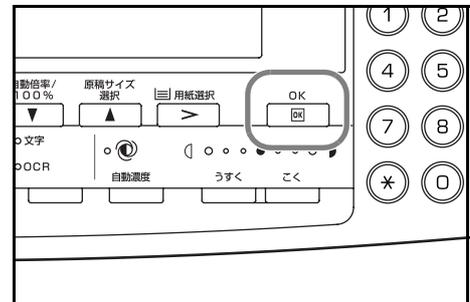
- 2 [OK] キーを押してください。



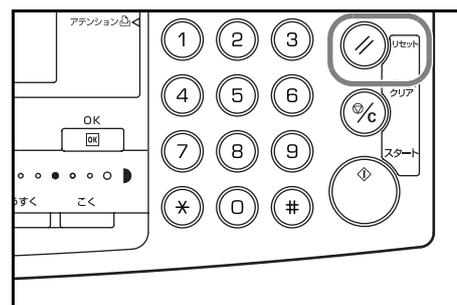
- 3 IP Address の設定手順 14～17 と同様に、アドレスを入力してください。



- 4 [OK] キーを押してください。



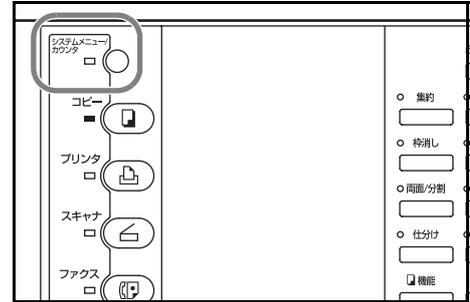
- 5 すべての設定が完了したら、[リセット] キーを押してください。プリンタ基本画面に戻ります。



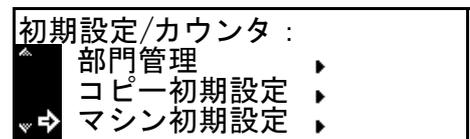
## 日付と時刻の設定

本機に現在の日付、時刻、世界標準時間（GMT）との時差、サマータイムを設定します。

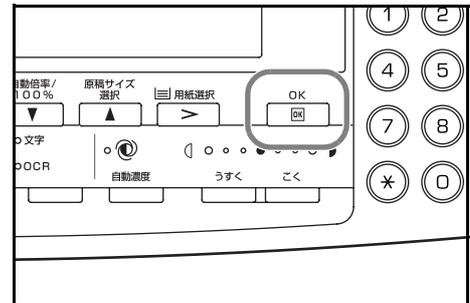
- 1 [システムメニュー/カウンタ] キーを押してください。



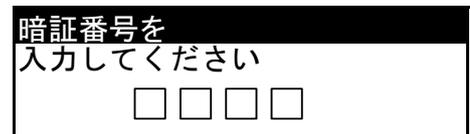
- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「マシン初期設定」を選択してください。



- 3 [OK] キーを押してください。

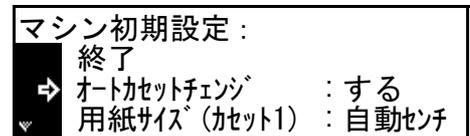


- 4 テンキーで4桁の暗証番号を入力してください。工場出荷時は16枚機は「1600」、20枚機は「2000」、25枚機は「2500」となっています。

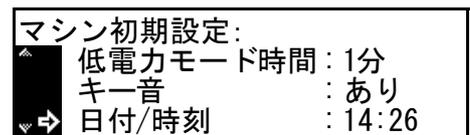


参考 4桁の暗証番号は変更することができます。（詳細は使用説明書 応用編の3章、管理者暗証番号変更を参照してください。）

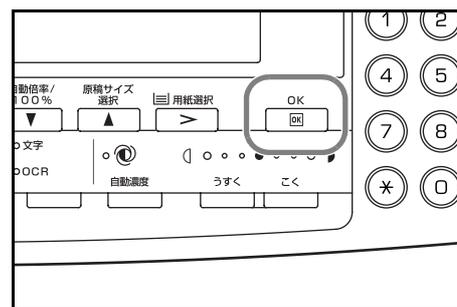
- 5 暗証番号が合致すれば、「マシン初期設定」画面が表示されます。



- 6 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「日付/時刻」を選択してください。

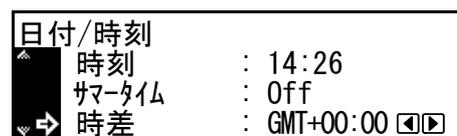


- 7 [OK] キーを押してください。



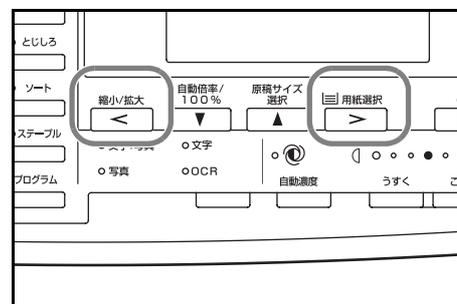
### 時差の設定

- 8 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「時差」を選択してください。



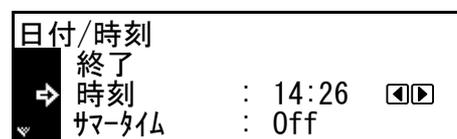
- 9 [<] キーまたは [>] キーを押して、時差を設定してください。

続けて時刻を設定します。



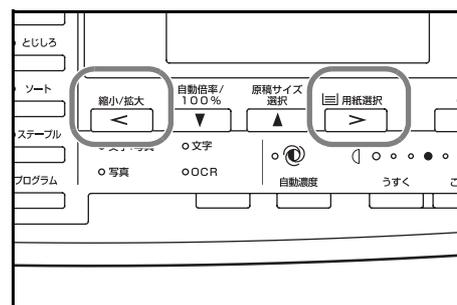
### 時刻の設定

- 10 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「時刻」を選択してください。



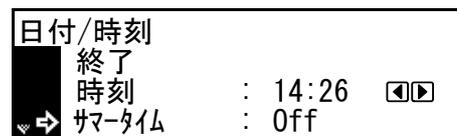
- 11 [<] キーまたは [>] キーを押して、現在の時刻を設定してください。

続けて、サマータイムを設定します。

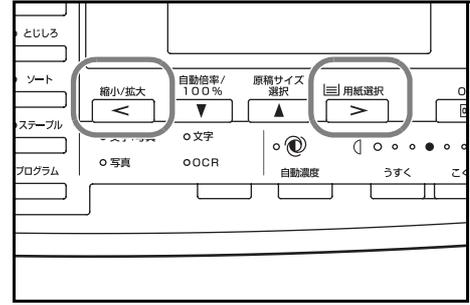


### サマータイムの設定

- 12 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「サマータイム」を選択してください。

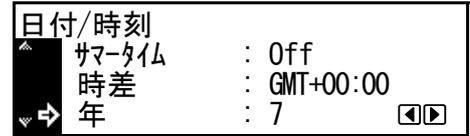


- 13 [<] キーまたは [>] キーを押して、「On」または「Off」を選択してください。  
 続けて、日付を設定します。

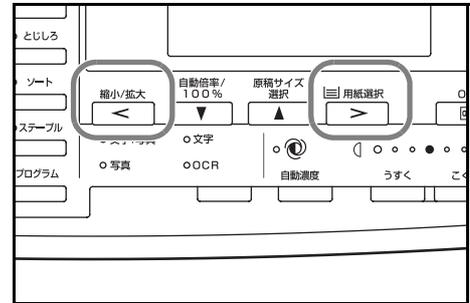


日付の設定

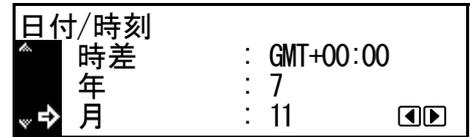
- 14 [&uarr] キーまたは [&darr] キーを押して、「年」を選択してください。



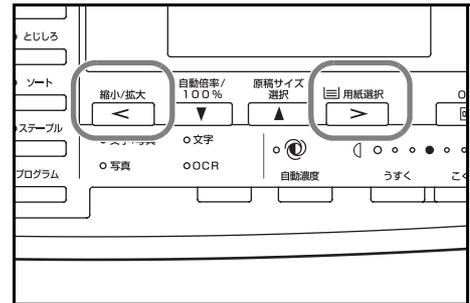
- 15 [<] キーまたは [>] キーを押して、現在の年を設定してください。



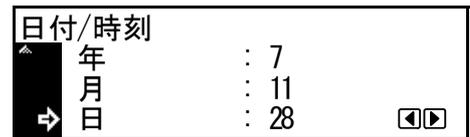
- 16 [&uarr] キーまたは [&darr] キーを押して、「月」を選択してください。



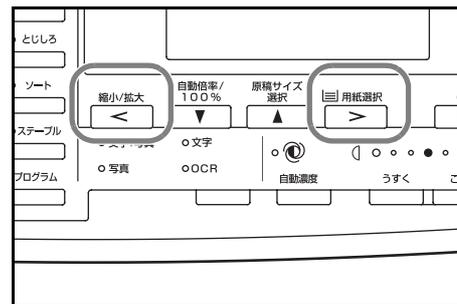
- 17 [<] キーまたは [>] キーを押して、現在の月を設定してください。



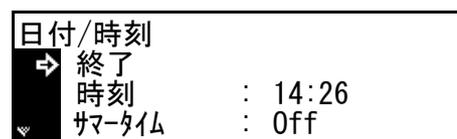
- 18 [&uarr] キーまたは [&darr] キーを押して、「日」を選択してください。



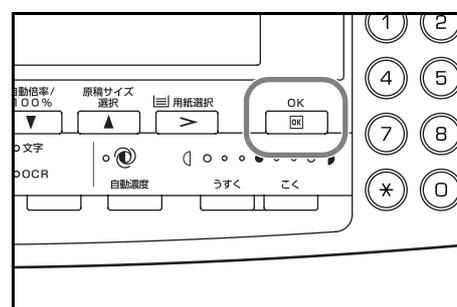
- 19 [<] キーまたは [>] キーを押して、現在の日を設定してください。



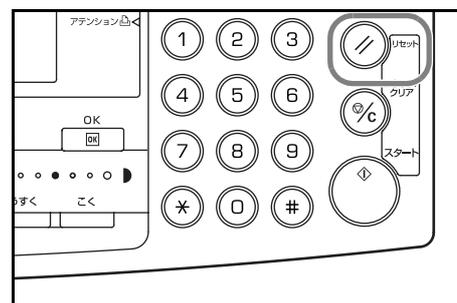
- 20 すべての設定が完了したら、[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「終了」を選択してください。



- 21 [OK] キーを押してください。



- 22 [リセット] キーを押してください。コピー基本画面に戻ります。



## 言語設定

メッセージ表示の言語を選択できます。

選択できる言語：日本語、英語 (English)、フランス語 (Français)、スペイン語 (Español)

詳細は**使用説明書 応用編の3章、言語設定**を参照してください。

## その他の設定

本機は、さまざまな初期設定を変更して、使いやすい状態に設定しておくことができます。設定できる項目や設定方法については**使用説明書 応用編の3章、初期設定モード**を参照してください。

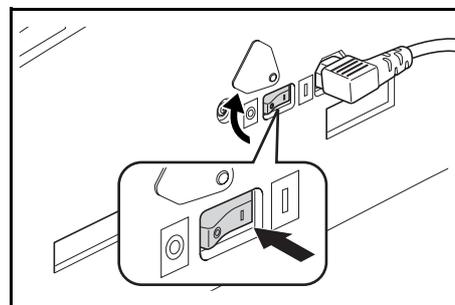
## 3 基本的な操作

この章では次の操作について説明しています。その他の機能については使用説明書 応用編を参照してください。

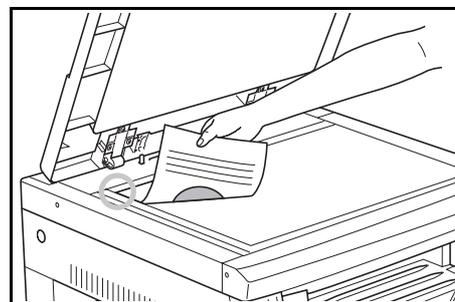
- 基本的なコピーのしかた
- 縮小 / 拡大コピー
- 両面コピー
- 分割コピー
- ソートコピー
- 集約コピー
- 割り込みモード
- 低電力モード
- スリープモード
- 基本的な印刷のしかた

### 基本的なコピーのしかた

- 1 本体右側にあるメインスイッチカバーを開いて、メインスイッチを ON (|) にしてください。ウォームアップが完了すると、スタート表示が緑色に点灯します。

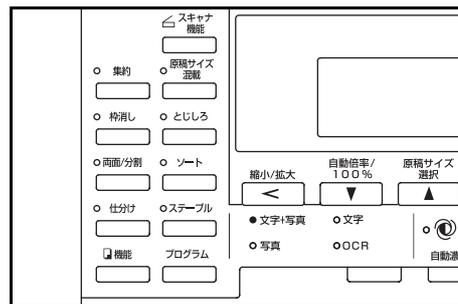


- 2 コンタクトガラスに原稿をセットしてください。原稿は左奥を基準に原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。



**参考** オプションの原稿送り装置に原稿をセットする方法は、4-2 ページの原稿送り装置への原稿のセットを参照してください。

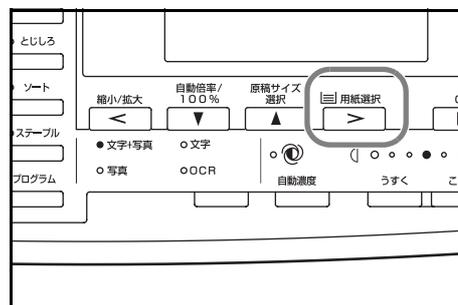
3 使用するコピー機能を選択してください。



4 用紙を選択します。メッセージ表示に「自動」が表示されている場合は、原稿と同じサイズの用紙が自動的に選択されています。

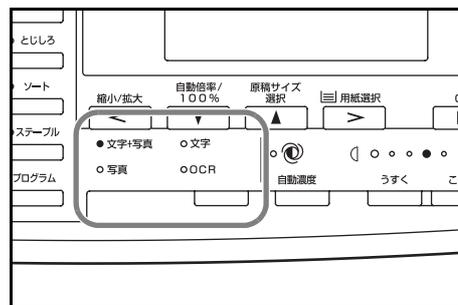


用紙サイズを変更する場合は、[用紙選択] キーを押して、給紙元を選択してください。



- 参考
- 自動的に用紙サイズを選択させないこともできます。(詳細は使用説明書 応用編の3章、用紙選択を参照してください。)
  - 原稿が無い状態でも、自動的に選択されるカセットを選択することができます。(詳細は使用説明書 応用編の3章、優先カセット設定を参照してください。)

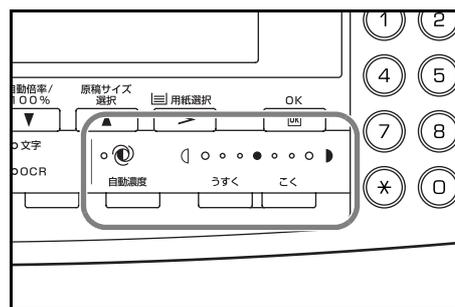
5 画質モード選択キーを押して、使用する画質モードを点灯させてください。



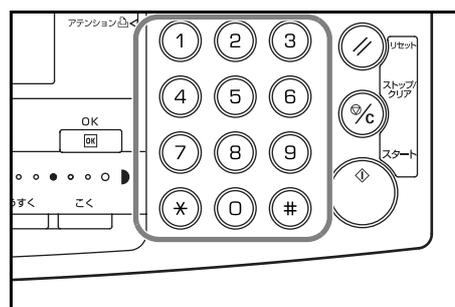
画質モード	説明
文字+写真	文字と写真が混在する原稿をコピーする時に選択します。
文字	書類など文字が多い原稿をコピーする時に選択します。
写真	写真などの原稿をコピーする時に選択します。

- 参考
- それぞれの画質モードで濃度調整をすることができます。(詳細は使用説明書 応用編の3章、文字+写真原稿濃度調整、文字原稿濃度調整、写真原稿濃度調整を参照してください。)
  - 初期モードで選択される画質モードを変更することができます。(詳細は使用説明書 応用編の3章、原稿の画質を参照してください。)

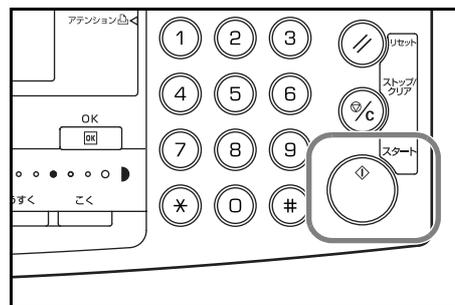
- 6 濃度を調整します。手動で濃度を変更する方法（手動濃度モード）と、自動的に原稿の濃度を検知して最適の濃度をセットする方法（自動濃度モード）があります。（詳細は使用説明書 応用編の1章、濃度調整を参照してください。）



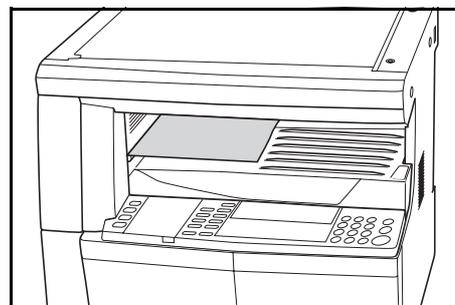
- 7 テンキーを押して、希望のコピー枚数を設定してください。1回のコピーで999枚までセットできます。



- 8 [スタート] キーを押してください。スタート表示が緑色に点灯しているときはコピーできます。



- 9 仕上がったコピーは排紙トレイに排紙されます。

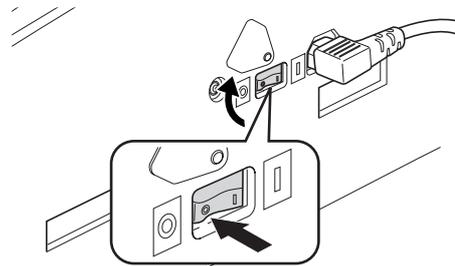


参考 排紙トレイの収納枚数は普通紙（80 g/m<sup>2</sup>）で250枚までです。ただし、使用用紙の状態により収納枚数は変化します。

オプションのファクスキットが装着されていない場合



夜間等で長時間本製品をご使用にならない場合は、メインスイッチを切ってください。また連休等で長期間、本製品を使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



オプションのファクスキットが装着されている場合

メインスイッチを切ったり、電源プラグをコンセントから抜くと、ファクスの送受信ができなくなります。

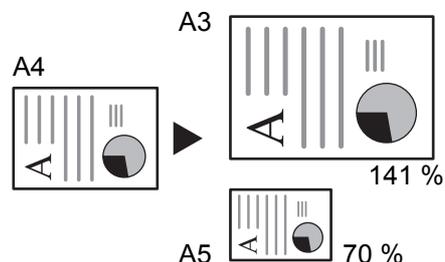
## 縮小 / 拡大コピー

倍率を変更して、コピーを縮小 / 拡大します。縮小 / 拡大コピーには次のモードがあります。

モード	説明
自動倍率選択モード	選択した用紙サイズに合わせて縮小 / 拡大します。
ズームコピーモード	25 ~ 200 % の範囲で 1 % 刻みに倍率を変えることができます。
固定変倍モード	あらかじめ本機に記憶しているコピー倍率で縮小 / 拡大コピーができます。  200 % (A5 → A3)、141 % (A4 → A3、B5 → B4)、122 % (A4 → B4、A5 → B5)、115 % (B4 → A3、B5 → A4)、86 % (A3 → B4、A4 → B5)、81 % (B4 → A4、B5 → A5)、70 % (A3 → A4、B4 → B5)、50 % (A3 → A5)

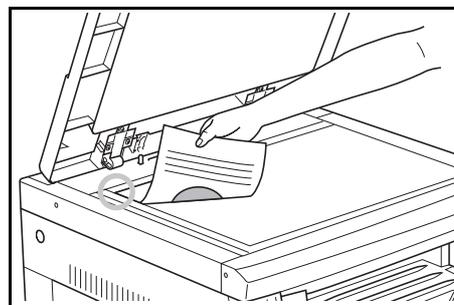
### 自動倍率選択モード

選択した用紙サイズに合わせて縮小 / 拡大します。

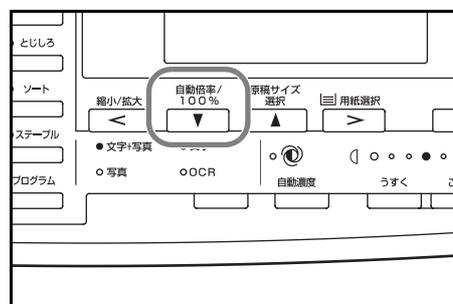


**参考** 任意の給紙段を選択した場合は自動倍率選択モードになるように、設定することができます。(詳細は使用説明書 応用編の 3 章、優先倍率設定を参照してください。)

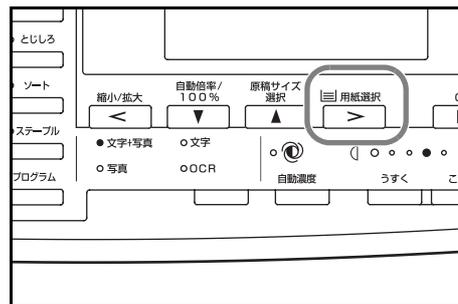
- 1 原稿をセットしてください。



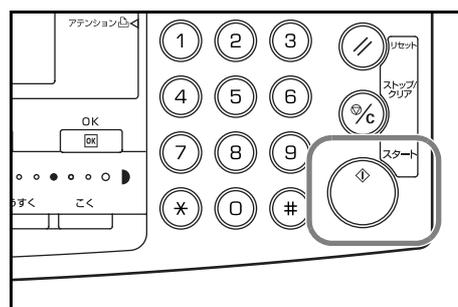
- 2 [自動倍率 / 100%] キーを押してください。メッセージ表示に「自動倍率」が表示されます。



- 3 [用紙選択] キーを押して、用紙を選択してください。メッセージ表示にコピー倍率が表示されます。

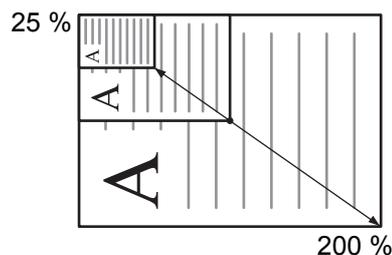


- 4 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

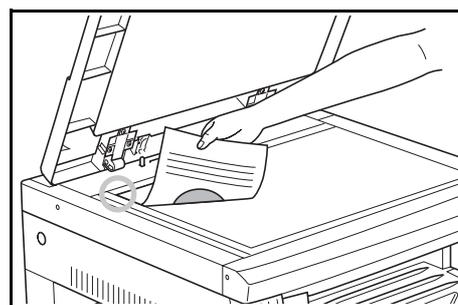


### ズームコピーモード

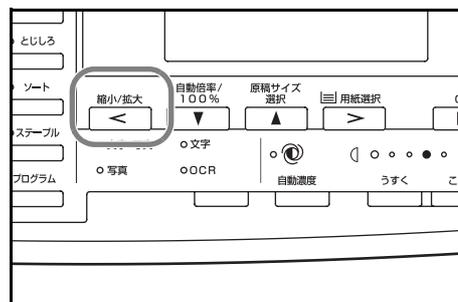
25～200%の範囲で1%刻みに倍率を変えることができます。



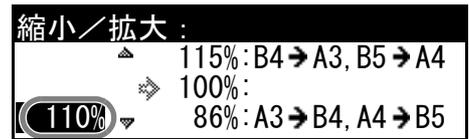
- 1 原稿をセットしてください。



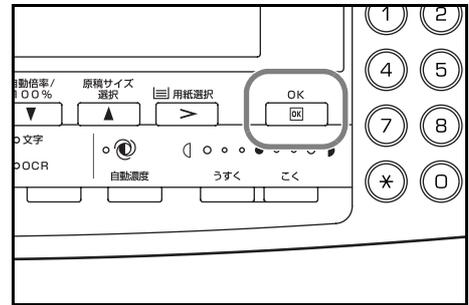
- 2 [縮小/拡大] キーを押してください。



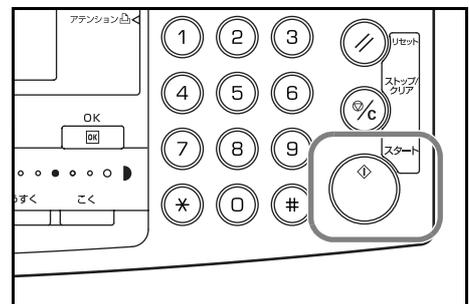
- 3 テンキーで倍率を入力してください。メッセージ表示にコピー倍率が表示されます。  
(表示例は 1、1、0 と入力した場合です。)



- 4 [OK] キーを押してください。



- 5 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。

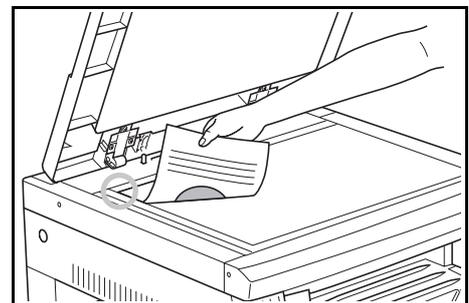


### 固定変倍モード

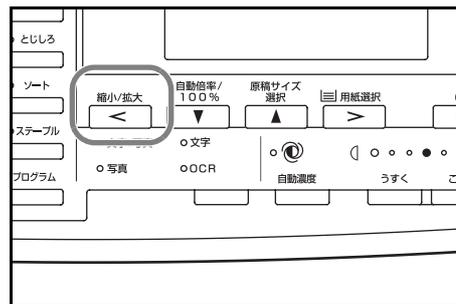
あらかじめ本機に記憶しているコピー倍率で縮小/拡大コピーができます。



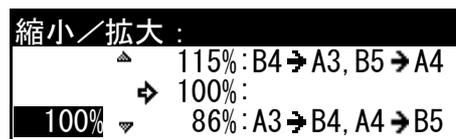
- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [縮小 / 拡大] キーを押してください。



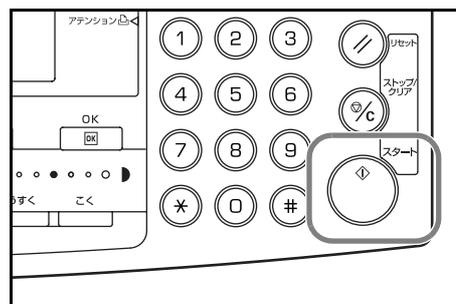
- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、倍率を選択してください。



- 4 [OK] キーを押してください。メッセージ表示にコピー倍率が表示されます。

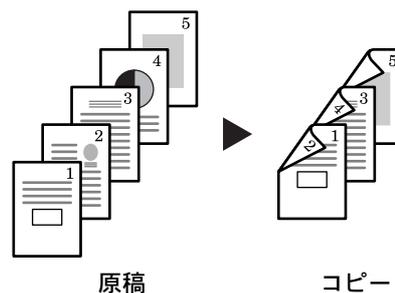


- 5 [スタート] キーを押してください。コピーが開始されます。



## 両面コピー

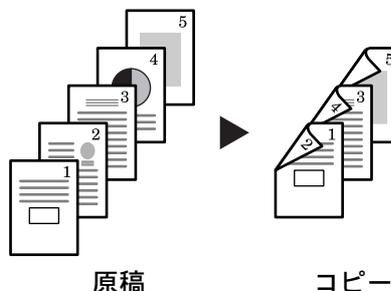
見開き原稿や両面原稿などいろんな原稿から両面コピーがとれます。



参考 オプションの両面ユニットが必要です。

両面コピーには次のモードがあります。

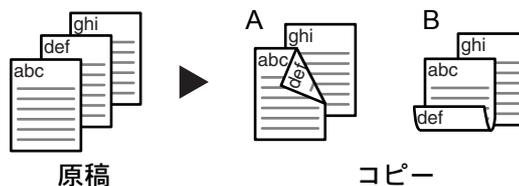
モード	説明
片面→両面 (片面原稿からの両面コピー)	片面原稿を裏表に両面コピーします。原稿が奇数枚のときは、最終ページの裏面が白紙になります。



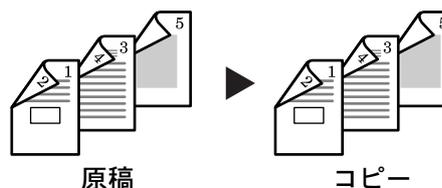
参考

片面→両面では以下の設定を選択できます。

- 原稿左 / 右とじ→仕上がり左とじ：裏面のコピーをそのままの方向でコピーします。...A
- 原稿左 / 右とじ→仕上がり上とじ：裏面のコピーを 180 度回転させてコピーします。仕上がったコピーを上で綴じると、各見開きのページが同じ方向になります。...B



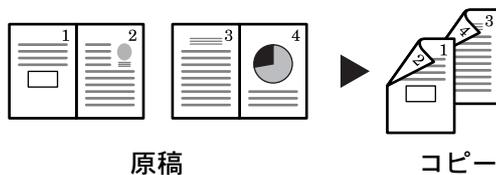
両面→両面 (両面原稿からの両面コピー) 裏表両面の原稿を同じように両面コピーします。



参考

使用できる用紙サイズは A3 ~ A5R、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 11"、11" × 8 1/2"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"、8K、16K、16KR です。

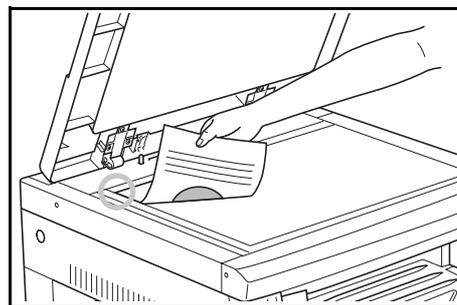
モード	説明
見開き→両面（見開き原稿からの両面コピー）	雑誌や本などの見開き 2 ページを 1 回の [スタート] キー操作で用紙の両面にコピーします。



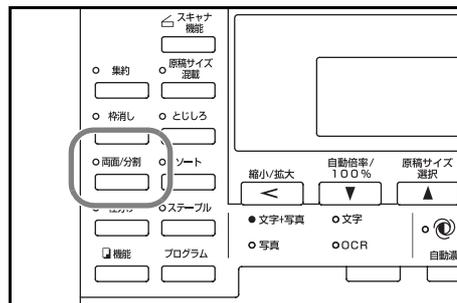
参考

使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11" × 17"、8 1/2" × 11"、8K、用紙サイズは A4、B5、16K に限られます。用紙サイズを変更して、そのサイズに変倍することができます。

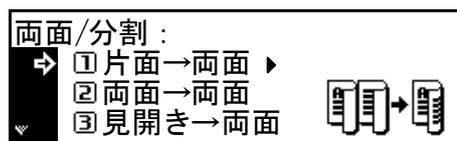
- 1 原稿をセットしてください。



- 2 [両面 / 分割] キーを押してください。



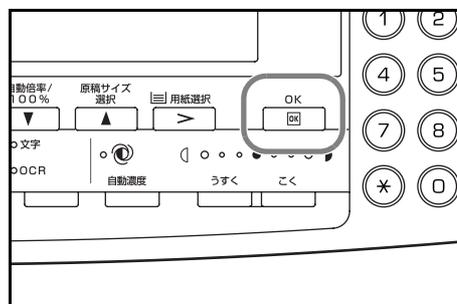
- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「片面→両面」、「両面→両面」、「見開き→両面」から両面コピーのモードを選択してください。



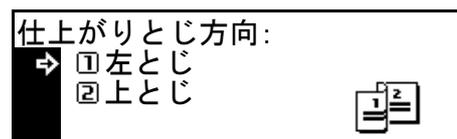
- 4 [OK] キーを押してください。

「片面→両面」を選択した場合は、次の手順に進んでください。

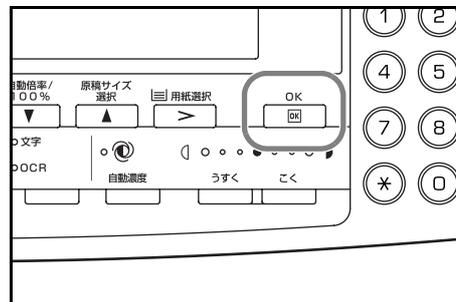
「両面→両面」、「見開き→両面」を選択した場合は、手順 7 に進んでください。



- 5 【▲】キーまたは【▼】キーを押して、仕上がり  
のとじ方向を選択してください。



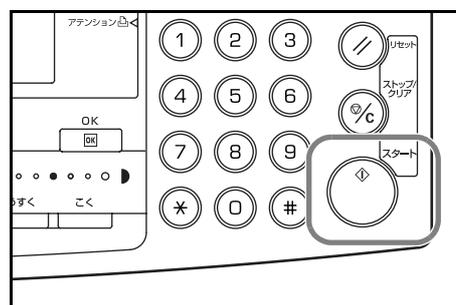
- 6 【OK】キーを押してください。



- 7 【スタート】キーを押してください。原稿の読み  
取りが開始されます。

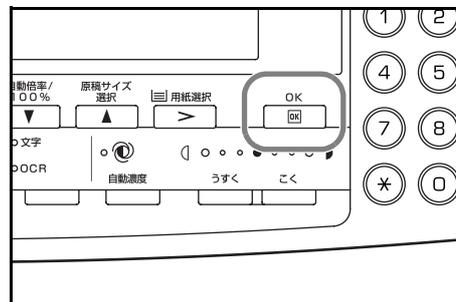
オプションの原稿送り装置に原稿をセットした  
ときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスにセットしたときは、原稿の  
入れ替えを促すメッセージが表示されます。こ  
の場合、次の手順に進んでください。



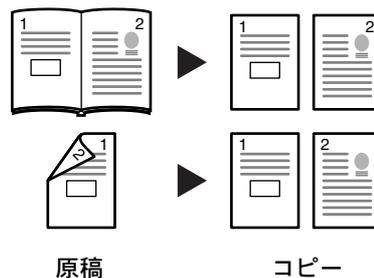
- 8 原稿を入れ替えて、【スタート】キーを押してください。原稿の読み取りが行われます。

- 9 次の原稿がなければ、【OK】キーを押してくだ  
さい。コピーが開始されます。



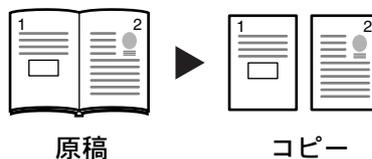
分割コピー

2 ページの原稿を 1 ページずつコピーします。



分割コピーには次のモードがあります。

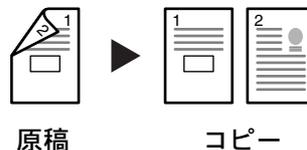
モード	説明
見開き→片面 (見開き原稿からの分割コピー)	雑誌・本などの見開き 2 ページの原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。



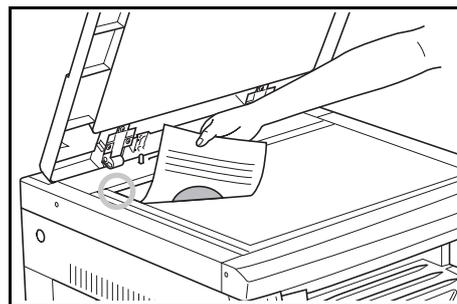
参考

使用できる原稿サイズは A3、B4、A4R、B5R、A5R、11" × 17"、8 1/2" × 11"、8K、用紙サイズは A4、B5、16K に限られます。用紙サイズを変更して、そのサイズに変倍することができます。

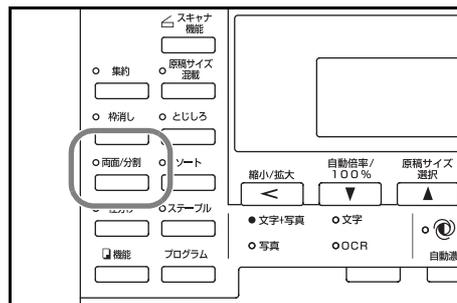
両面→片面 (両面原稿からの分割コピー)	両面原稿を 1 ページずつ別々にコピーします。
----------------------	-------------------------



- 1 原稿をセットしてください。



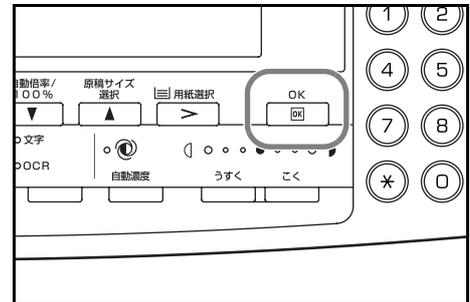
- 2 [両面 / 分割] キーを押してください。



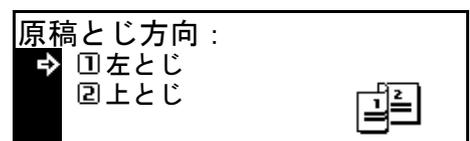
- 3 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、「両面→片面」、「見開き→片面」から分割コピーのモードを選択してください。



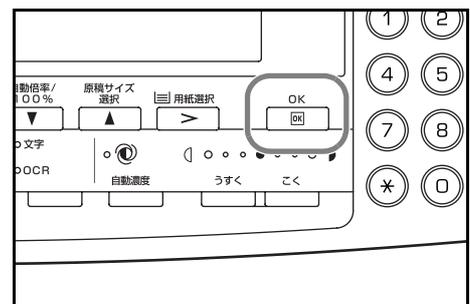
- 4 [OK] キーを押してください。  
 「両面→片面」を選択した場合は、次の手順に進んでください。  
 「見開き→片面」を選択した場合は、手順7に進んでください。



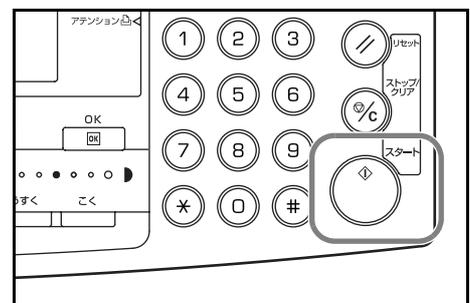
- 5 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、原稿のとじ方向を選択してください。



- 6 [OK] キーを押してください。

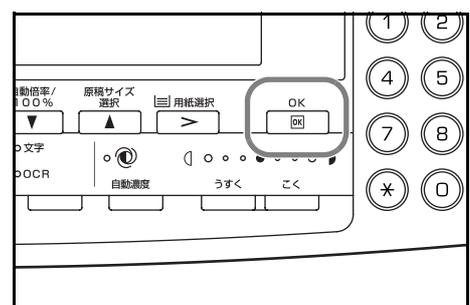


- 7 [スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。  
 オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。  
 コンタクトガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。



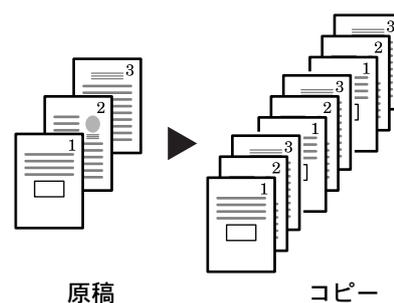
- 8 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが行われます。

- 9 次の原稿がなければ、[OK] キーを押してください。コピーが開始されます。



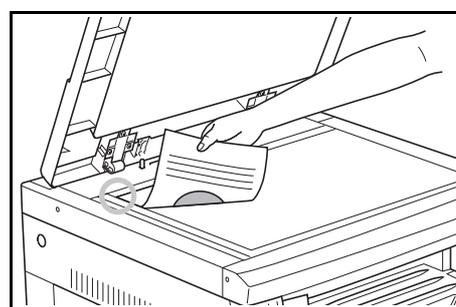
## ソートコピー

複数枚の原稿をいったんメモリに入れてコピーを行うため、1部ずつに並べ替えられたコピーを必要部数作成できます。

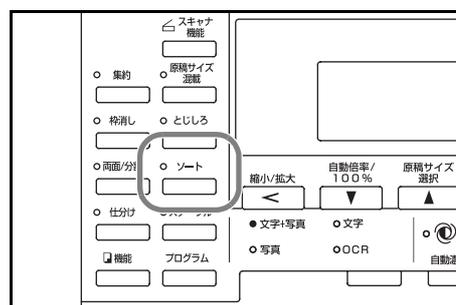


**参考** オプションの原稿送り装置を装着している場合は、初期モードでソートコピーするか、しないかを変更することができます。(使用説明書 応用編の3章、ソートコピー設定参照)

- 1 原稿をセットしてください。



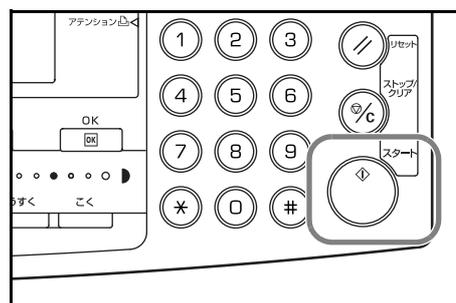
- 2 [ソート] キーを押してください。



- 3 コピー部数を入力して [スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが開始されます。

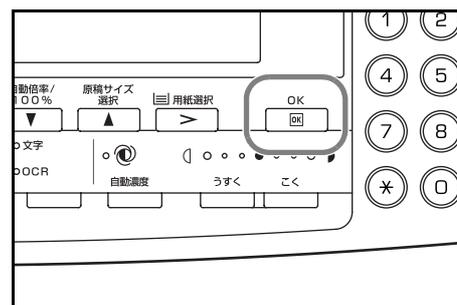
オプションの原稿送り装置に原稿をセットしたときは、自動的にコピーが開始されます。

コンタクトガラスにセットしたときは、原稿の入れ替えを促すメッセージが表示されます。この場合は、次の手順に進んでください。



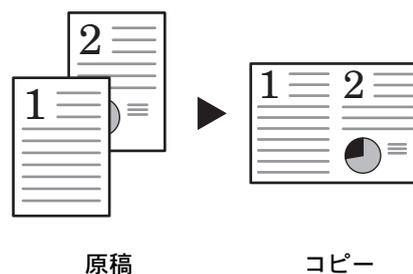
- 4 原稿を入れ替えて、[スタート] キーを押してください。原稿の読み取りが行われます。

- 5 次の原稿がなければ、[OK] キーを押してください。コピーが開始されます。



### 集約コピー

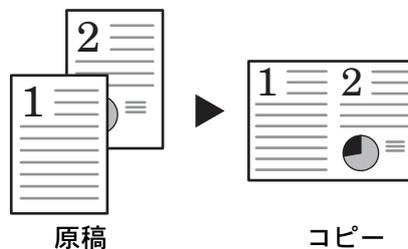
2枚または4枚の原稿を縮小し、1枚のコピーに集約することができます。また、各原稿の境界線を実線、点線で区切ることもできます。



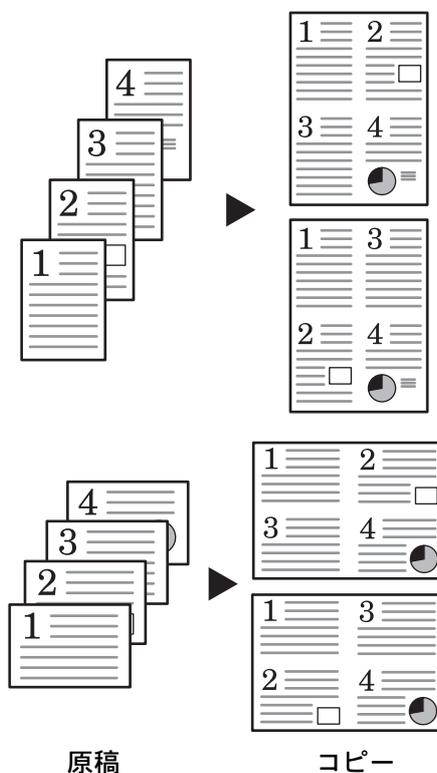
参考 原稿サイズ、用紙サイズは定形サイズのみ使用できます。

集約コピーには次のモードがあります。

モード	説明
2in1	2枚の原稿を1枚のコピーにします。両面コピーと併用すると4枚の原稿を1枚の両面コピーにすることができます。



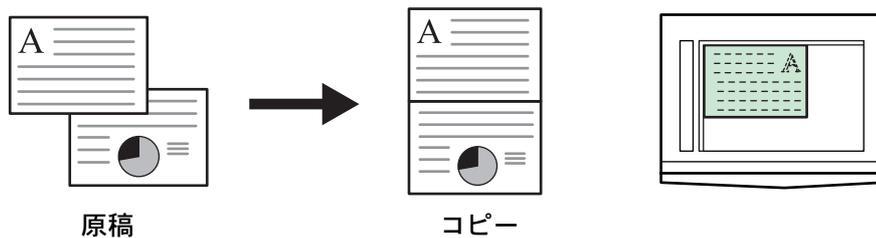
4in1 (左→右)	4枚の原稿を1枚のコピーにします。両面コピーと併用すると8枚の原稿を1枚の両面コピーにすることができます。
4in1 (左→下)	



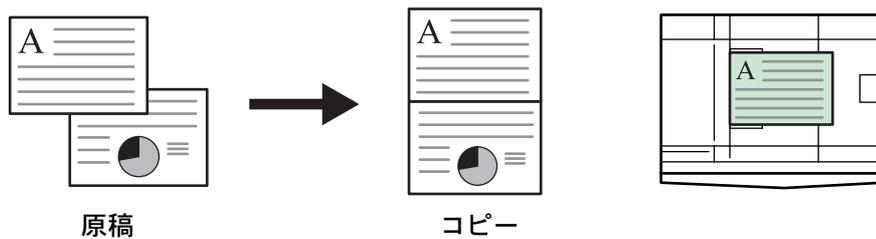
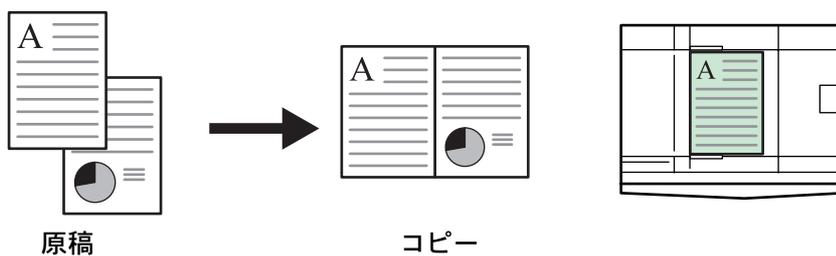
2in1 コピー

原稿のセット方向と仕上がりは次のとおりです。

コンタクトガラスに原稿をセットする場合



原稿送り装置に原稿をセットする場合

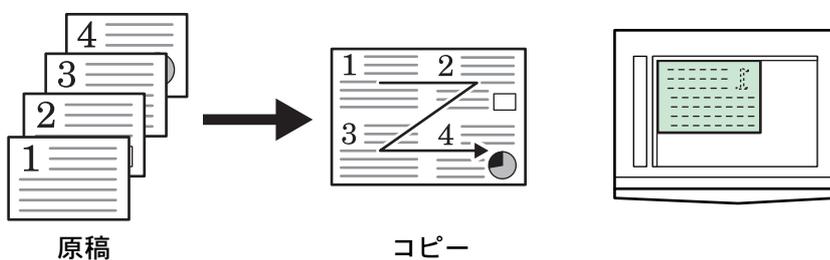
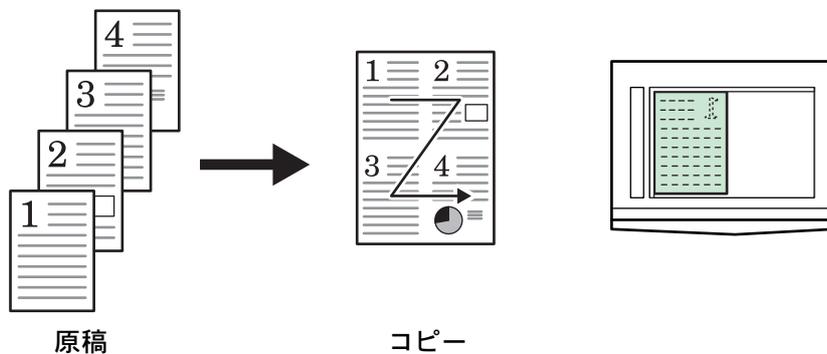


参考 2in1 コピーの設定方法は、使用説明書 応用編の 1 章、集約コピーを参照してください。

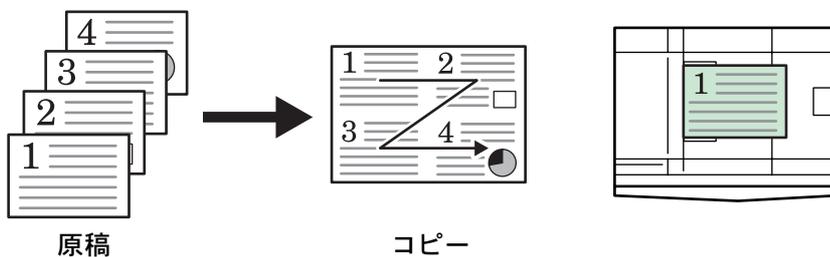
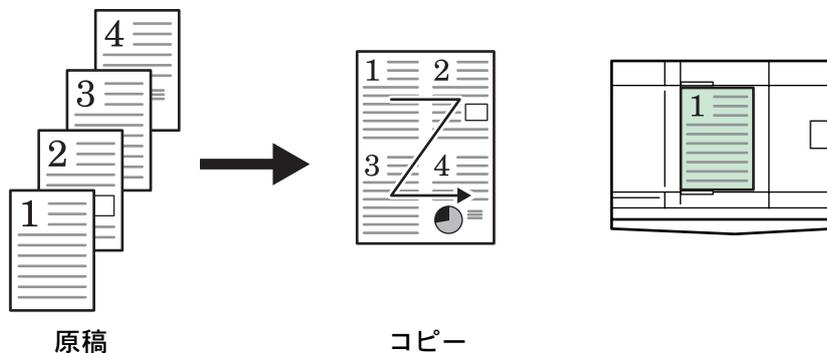
4in1 (左→右) コピー

原稿のセット方向と仕上がりは次のとおりです。

コンタクトガラスに原稿をセットする場合



原稿送り装置に原稿をセットする場合

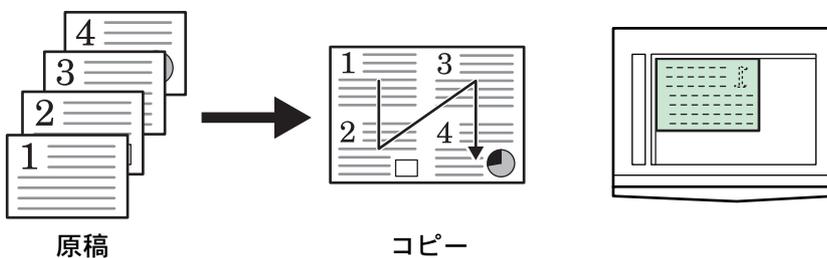
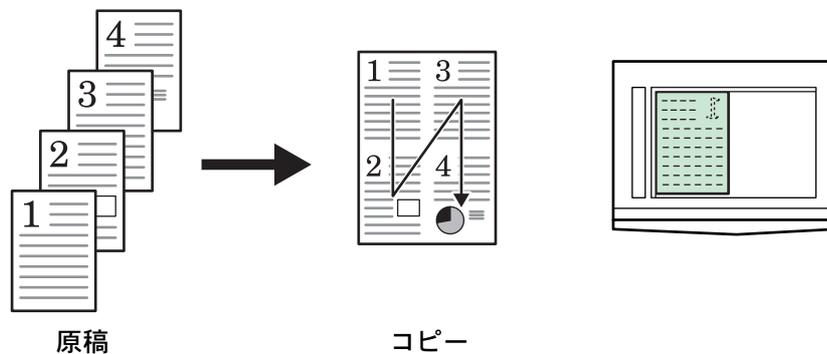


参考 4in1 (左→右) コピーの設定方法は、使用説明書 応用編の1章、集約コピーを参照してください。

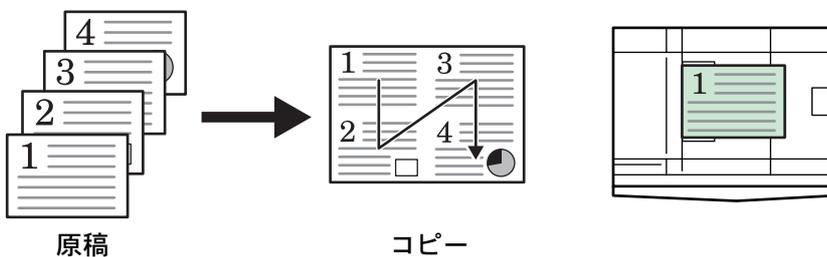
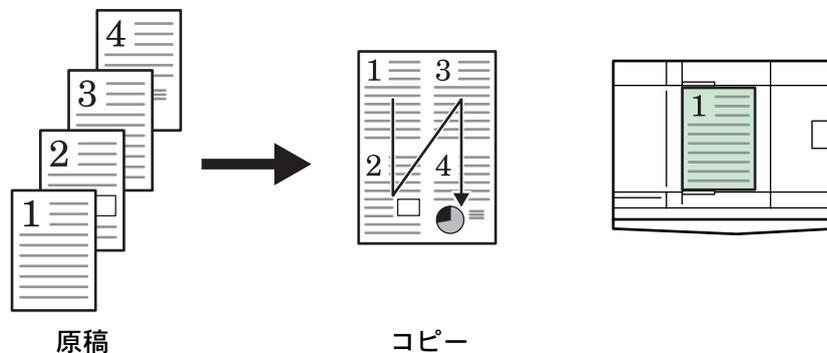
4in1 (左→下) コピー

原稿のセット方向と仕上がりは次のとおりです。

コンタクトガラスに原稿をセットする場合



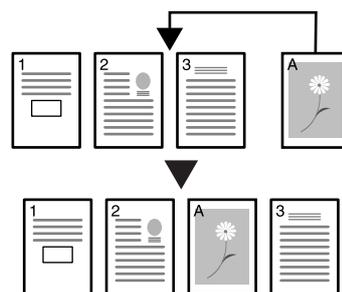
原稿送り装置に原稿をセットする場合



参考 4in1 (左→下) コピーの設定方法は、使用説明書 応用編の 1 章、集約コピーを参照してください。

## 割り込みモード

コピー作業や出力をいったん中止して、緊急のコピーや印刷データ、ファクス受信データを出力することができます。割り込み終了後は、中断した作業を再開できます。



割り込みモードの種類は次のとおりです。

モード	説明
割り込みコピー	<ul style="list-style-type: none"> <li>コピーの途中で、別の原稿を異なった設定でコピーできます。割り込みコピー後は、中断されたコピーを元の設定で再開できます。</li> <li>出力中のジョブを中断して、別のコピーができます。割り込みコピー後は、元の出力が再開されます。</li> </ul>
優先出力	<p>出力中のジョブを中断して、印刷データやファクス受信データの優先出力ができます。優先出力終了後は、元の出力が再開されます。</p> <p><b>参考</b> ファクス機能を使用するためには、オプションのファクスキットが必要です。</p>

### コピー作業中の場合

- 1 [割り込み] キーを押してください。「割り込みコピーできます」が表示されます。



- 2 コピー中の原稿をいったん保管しておいてください。
- 3 割り込みコピーする原稿をセットして、コピーを行ってください。
- 4 割り込みコピーが終了したら、[割り込み] キーを押してください。元の設定に戻ります。
- 5 保管していた原稿に替えてください。[スタート] キーを押すとコピーが再開されます。

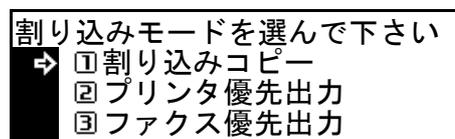
出力中の場合

- 1 出力中に [割り込み] キーを押すと、「割り込みモードを選んでください」が表示されます。



参考 本機に印刷データやファクス受信データがない場合は、「割り込みコピーできます」が表示されます。手順4に進んでください。

- 2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、割り込みモードを選択してください。



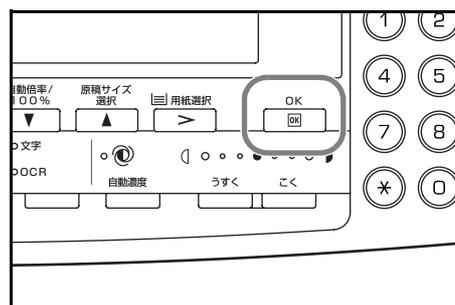
参考

- ・ 「プリンタ優先出力」は、本機に印刷データがある場合に表示されます。
- ・ 「ファクス優先出力」は、本機にファクス受信データがある場合に表示されます。

- 3 [OK] キーを押してください。

「割り込みコピー」を選択した場合は、「割り込みコピーできます」が表示されます。次の手順に進んでください。

「プリンタ優先出力」、「ファクス優先出力」を選択した場合は、出力が開始されます。



- 4 割り込みコピーする原稿をセットして、コピーを行ってください。
- 5 割り込みが終了したら、[割り込み] キーを押してください。元の出力が再開されます。

## 低電力モード

メインスイッチが ON のときでも [節電] キーを押すと、機械は休止状態（低電力モード）になります。操作パネル上の節電表示、電源表示、主電源表示が点灯し、他は消灯します。

コピーを再開するときは、もう一度 [節電] キーを押してください。コピー可能状態までの復帰時間は 10 秒です。



**参考** 低電力モード中に印刷データやファクス受信データを感知すると自動的に復帰し、出力が開始されます。

本機は一定時間（1～240分）操作がないと自動的に低電力モードになる自動低電力機能を備えています。工場出荷時は1分に設定されています。

**参考** 自動低電力機能が働くまでの時間の変更は、使用説明書 応用編の3章、低電力モード移行時間設定を参照してください。

## スリープモード

メインスイッチが ON のときでも【電源】キーを押すと、機械は休止状態（スリープモード）になります。操作パネル上の主電源表示だけが点灯し、他は消灯します。消費する電力は低電力モードよりさらに少なくなります。

コピーを再開するときは、もう一度【電源】キーを押してください。コピー可能状態までの復帰時間は 20 秒です。



**参考** スリープモード中に印刷データやファクス受信データを感知すると自動的に復帰し、出力が開始されます。

本機は一定時間（1～240分）操作がないと自動的にスリープモードになるオートスリープ機能を備えています。工場出荷時は15分に設定されています。

複写機やプリンタは、一般に作業中よりも待機状態が多く、待機時に消費する電力が全体の大きな割合を占めています。本体が自動的に休止状態になることにより、待機中の不要な電力の消費を抑えることができ、電気料金の削減を行うことができます。

**参考** オートスリープ機能が働くまでの時間の変更は、使用説明書 応用編の3章、スリープモード移行時間設定を参照してください。

## 基本的な印刷のしかた

本機をプリンタとして使用する前に、プリンタケーブルやネットワークケーブル、電源ケーブルを正しく接続しているか確認してください。

### プリンタドライバのインストール

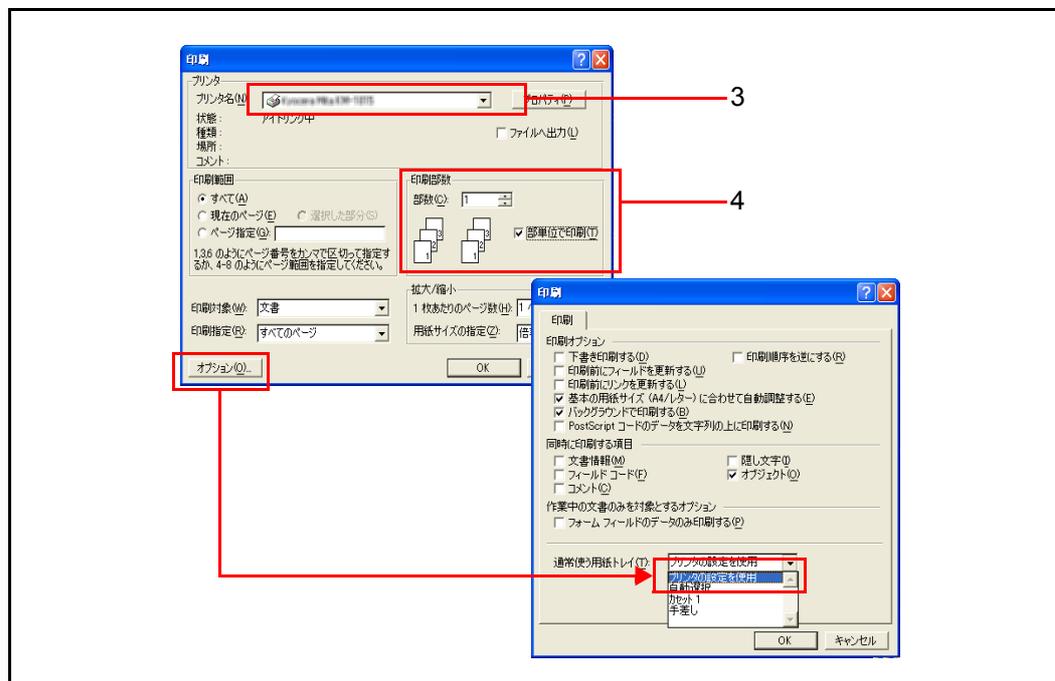
プリンタドライバのインストール方法は KX プリンタドライバ操作手順書を参照してください。

### アプリケーションからの印刷

ここではアプリケーションからの印刷方法を説明します。例として、Microsoft Word からの印刷を行います。

- 1 使用する用紙を、本体のカセットにセットします。
- 2 アプリケーションのメニューバーから [ファイル] をクリックし、[印刷] をクリックしてください。[印刷] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 [プリンタ名] のドロップダウンリストから、使用するプリンタを選択してください。
- 4 [部数] コンボボックスに、印刷部数を入力してください。999 まで指定できます。

Microsoft Word では、[オプション] ボタンをクリックして、[通常使う用紙トレイ] のドロップダウンリストから [プリンタの設定を使用] を選択することをおすすめします。



- 5 [OK] ボタンをクリックすると印刷が開始されます。

参考 プリンタドライバの詳細については、KX プリンタドライバ操作手順書を参照してください。

## 4 オプションについて

本機には次のオプション機器が用意されています。

- 原稿送り装置
- ペーパーフィーダ
- 両面ユニット
- フィニッシャ
- ジョブセパレータ
- キーカウンタ
- キーカード
- ファクスキット
- ネットワークスキャナ
- メモリカード（コンパクトフラッシュ）
- ハードディスク
- 増設メモリ

### 原稿送り装置

多枚数のシート原稿を自動的に1枚ずつ送り、読み込みを行う装置です。両面原稿を自動的に反転させて両面を読み込ませることもできます。

### 使用できる原稿

- シート原稿であること。
- 厚さ  
片面原稿 45 g/m<sup>2</sup> ～ 160 g/m<sup>2</sup> の範囲内であること。  
両面原稿 50 g/m<sup>2</sup> ～ 120 g/m<sup>2</sup> の範囲内であること。
- サイズ：A3 ～ A5R、Folio
- セット枚数：50 枚（50 ～ 80 g/m<sup>2</sup>）  
（ただし原稿サイズ混載モード時は 30 枚）

### 使用上の注意

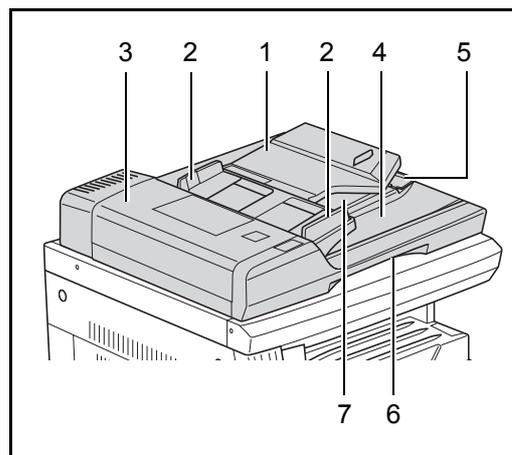
次のような原稿は使用しないでください。また、パンチ穴やミシン目のある原稿を挿入先端側にセットしないでください。

- OHP シートなどの透明フィルム
- カーボン紙やしわ・折れのひどい原稿、またはビニールなどの軟らかい原稿
- 方形でない原稿、濡れた原稿、粘着テープ・糊などが付いた原稿
- クリップやホッチキスで止めてある原稿（やむをえず原稿とするときは、それらを取り外して、しわ・折れを直してからセットしてください。）
- 切り抜きの原稿、表面や裏面のスベリが非常によい原稿
- 修正液が乾いていない状態の原稿
- 折り目のついた原稿（やむをえず原稿とするときは、折れを直してからセットしてください。）
- 反りの大きい原稿（やむをえず原稿とするときは反りを直してからセットしてください。）

**ご注意** 本機を移動する際は、必ず原稿送り装置を閉じてください。

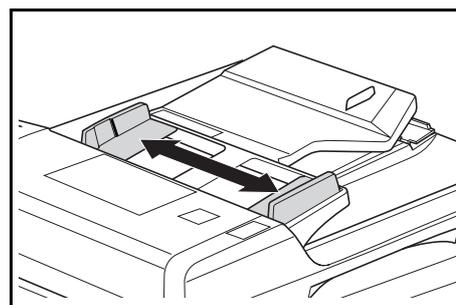
### 各部の名称

- 1 原稿テーブル—原稿をここにセットしてください。
- 2 原稿挿入ガイド—原稿サイズに合わせてください。
- 3 左カバー—原稿が詰まったときに開いてください。
- 4 原稿排出カバー—コピーした原稿がここに収納されます。
- 5 排紙ガイド—A3、B4の原稿をセットするときには開いてください。
- 6 原稿送り装置開閉取手—原稿送り装置を開閉するときはこの取手を持ってください。
- 7 排出トレイ—両面原稿の場合、一時的に原稿が排出されます。

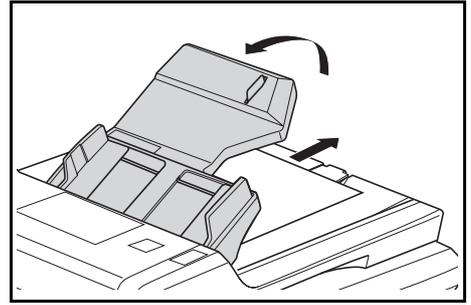


### 原稿送り装置への原稿のセット

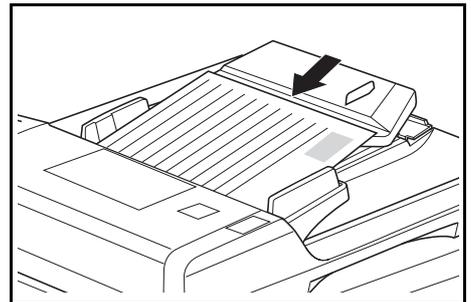
- 1 原稿挿入ガイドを原稿サイズに合わせてください。



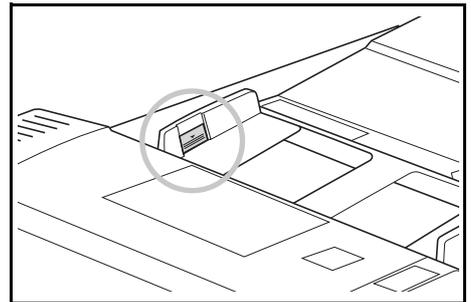
- 参考
- 原稿をセットする前に、原稿排出カバーに排紙された原稿が残っていないか確認してください。原稿排出カバーに原稿が残っていると、原稿詰まりの原因になります。
  - 多枚数の原稿を同時にセットする場合は、必ず同じサイズの原稿を使用してください。ただし、原稿サイズ混載モードを設定したときは、A3とA4など幅の同じ原稿を同時にセットできます。(使用説明書 応用編の1章、原稿サイズ混載コピー参照)



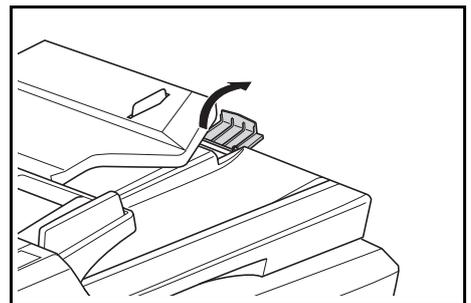
- 2 原稿はコピーする面を上向きにして（両面原稿の場合は表面を上にして）、順序よく重ねて、原稿テーブルにセットしてください。



- ご注意
- 奥の原稿挿入ガイドに貼ってある目盛り以下に原稿をセットしてください。規定枚数以上の原稿をセットすると、原稿詰まりの原因になります。(セットできる枚数は4-1ページ参照)

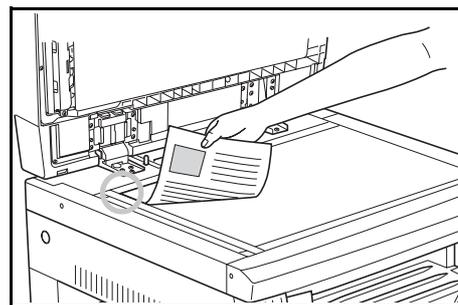


- A3、B4の原稿をセットするときには、原稿が落ちないように排紙ガイドを開いてください。
- 両面原稿の場合は、原稿を反転させるため、排出トレイへ一時的に原稿が排出されますが、さわらないでください。無理に引き出そうとすると、原稿詰まりの原因になります。



### コンタクトガラスへの原稿のセット

原稿送り装置にセットできない原稿の場合は、原稿送り装置本体を開けてコンタクトガラスの上に原稿をセットしてください。



- 参考
- 原稿送り装置を開ける前には、原稿テーブルや原稿排出カバーに原稿がないことを確認してください。原稿が残っていると、開けたときに原稿が落ちることがあります。
  - 本などの見開き原稿をコピーすると、コピーのまわりや中央に黒い陰ができることがあります。
  - 原稿送り装置を閉じるときは、コンタクトガラスに強く押さえつけないでください。ガラスが割れることがあります。

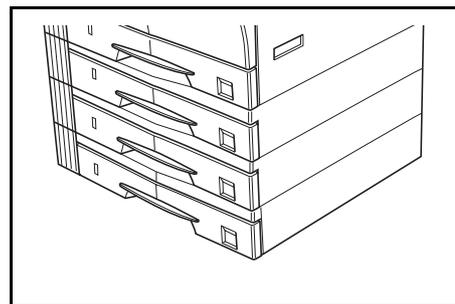


原稿送り装置を開いた状態のまま放置しないでください。けがの原因となることがあります。

## ペーパーフィーダ

本体のカセットに加えて、ペーパーフィーダ（300枚収納カセット）を使用することができます。

- 収容できる用紙枚数：300枚（普通紙、64～105 g/m<sup>2</sup>）
- セットできる用紙サイズ：A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11"×17"、8 1/2"×14"、11"×8 1/2"、8 1/2"×11"、5 1/2"×8 1/2"、8 1/2"×13"、8K、16K



用紙のセットのしかたは本体標準のカセットと同じです。（2-1 ページ参照）

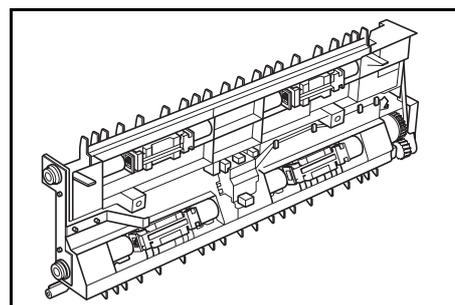
紙づまりが発生したときに用紙を取り除くための左カバーがあります。

**ご注意** 本機を持ち上げて運ぶ際は、必ずペーパーフィーダを外してください。

**参考** 16枚機は3段まで、20枚機/25枚機は2段まで追加できます。

## 両面ユニット

両面ユニットを装着すると、両面コピーをとることができます。A3～A5R、Folio、11"×17"～5 1/2"×8 1/2"、8K、16K（64～90 g/m<sup>2</sup>）の用紙で両面コピーをとることができます。



フィニッシャ

大量のコピーを収納したり、多部数のコピーを1部ずつシフトして仕分けをしたりする装置です。ページ揃えしたコピーにステープルすることもできます。

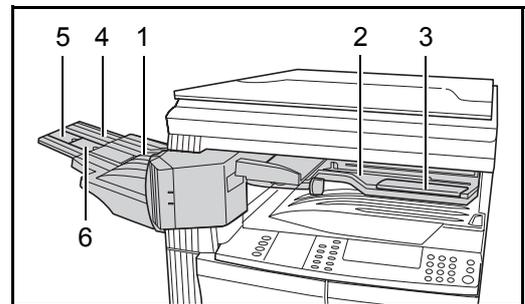
フィニッシャに収納できる枚数とステープルの仕様は次のとおりです。

収納制限枚数とサイズ

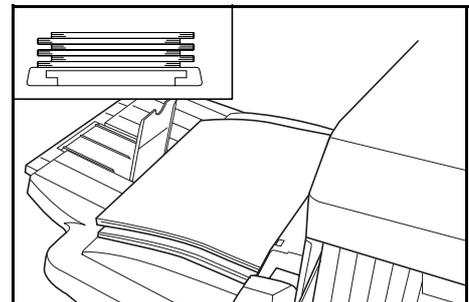
ノンステープル時	500枚 (A4、11" × 8 1/2"、B5) 250枚 (A3、B4、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 13")
ステープル時 (80 g/m <sup>2</sup> 以下)	2～4枚ステープル：130枚 5枚以上ステープル：250枚
ステープル制限枚数	30枚 (A4、11" × 8 1/2"、B5) 20枚 (A3、B4、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 13")

各部の名称

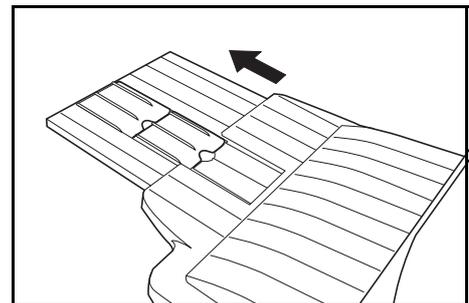
- 1 フィニッシャトレイ
- 2 処理トレイ
- 3 フィニッシャ補助トレイ
- 4 排紙補助トレイ
- 5 排紙ガイド1
- 6 排紙ガイド2



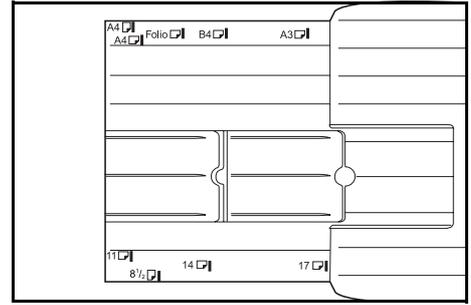
- 参考
- ・ ソートされたコピーは、フィニッシャトレイに排出されます。



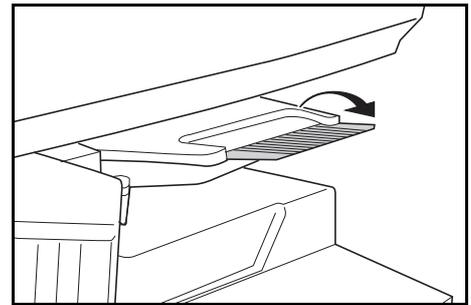
- ・ 用紙サイズに合わせて排紙補助トレイを調節してください。



- 用紙サイズは排紙補助トレイに刻印されています。用紙サイズにあわせて排紙ガイド 1、2 を開いてください。

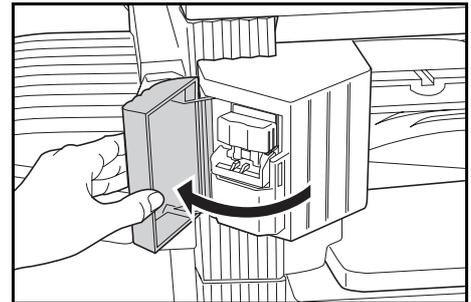


- A3、B4 の用紙にステープルするとき、用紙が落ちないようにフィニッシャ補助トレイを開いてください。

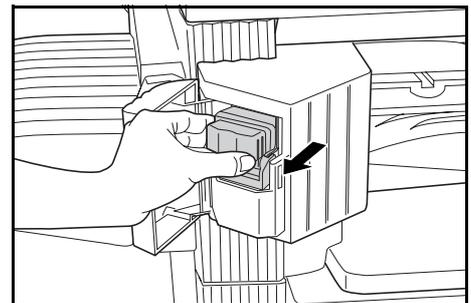


### ステープル針の補給のしかた

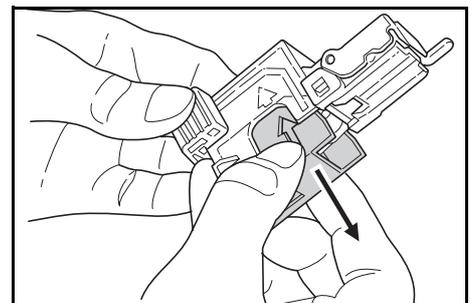
- 1 ステープラ前カバーを手前に開けてください。



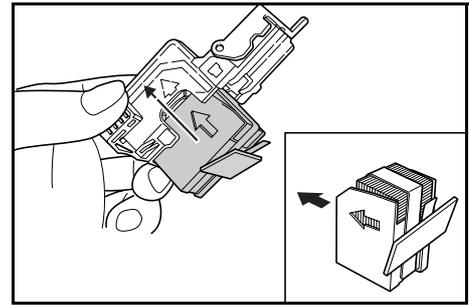
- 2 ステープルホルダを引き出してください。



- 3 ステープルホルダから空の針ケースを取り出してください。

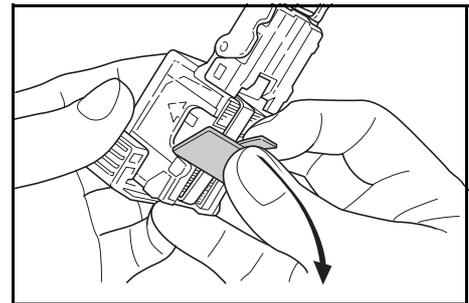


- 4 片手にステープルホルダ、もう片方の手に新しい針ケースを持ち、向きに注意して針ケースをステープルホルダに挿入してください。

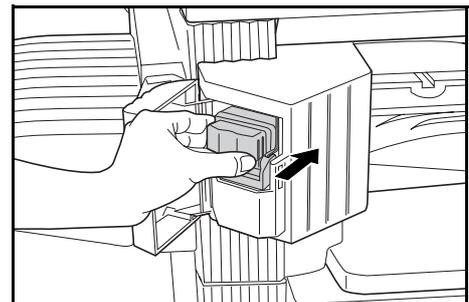


参考 針ケースの矢印は挿入方向を示しています。

- 5 挿入した針ケースを完全に奥まで押し込み、針ケースに巻かれている紙テープを引っばって取り除いてください。



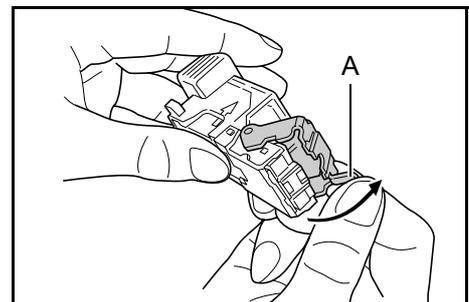
- 6 ステープルホルダを差し込み口に元どおり挿入してください。完全に挿入されると、カチッとロックのかかる音がします。



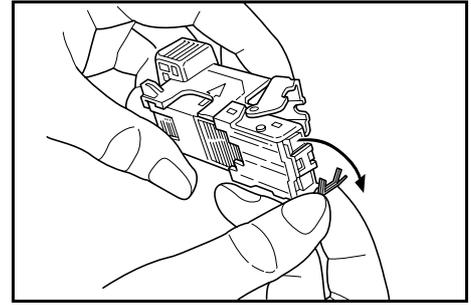
- 7 ステープラ前カバーを閉じてください。

#### 針づまりの解除のしかた

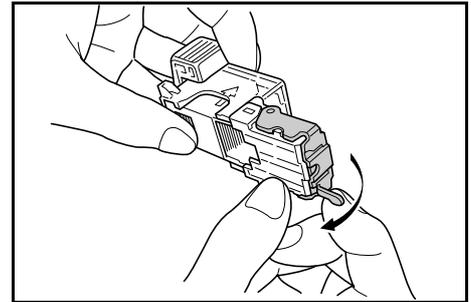
- 1 ステープル針の補給のしかたと同様にしてステープルホルダを取り出してください。  
ステープルホルダのフェースプレートのつまみ A に指をかけて、プレートを上げてください。



- 2 先端（針がセットされている側）でつまんでいる針を取り除いてください。



- 3 ステープルホルダのフェースプレートを元どおりにおろしてください。



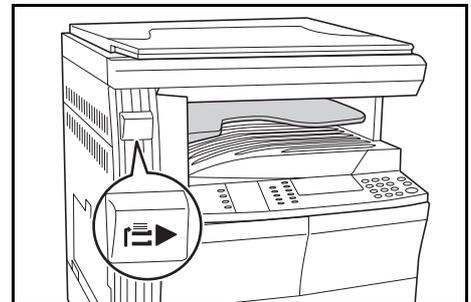
- 4 ステープルホルダを差し込み口に元どおり挿入してください。完全に挿入されると、カチッとロックのかかる音がします。

- 5 ステープラ前カバーを閉めてください。

## ジョブセパレータ

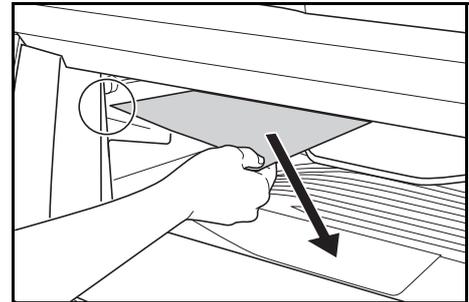
用紙の排出先を区分して、仕分けをやすくする装置です。コピーは排紙トレイに、プリンタの出力はジョブセパレータに排出します。また、排出先を指定することができます。

本体前面に、ジョブセパレータに用紙があることを示す用紙表示があります。



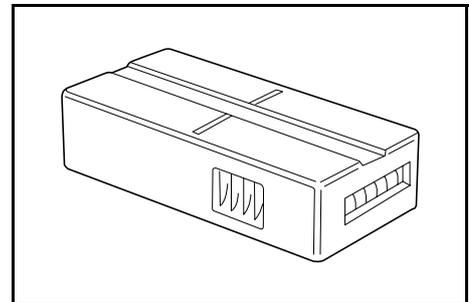
- ご注意
- 使用する用紙の種類によっては、用紙のカールにより排出部で紙づまりが発生する場合がありますのでご注意ください。
  - 排出された用紙がそったり、揃わない時は、カセットの用紙を裏返してセットし直してください。

- 参考
- 用紙をジョブセパレータに排出するためにはマシン初期設定（コピー）または用紙の設定（プリンタ）で変更してください。（詳細は使用説明書 応用編の2章、排紙先の設定、または3章、コピー排出先設定を参照してください。）
  - ジョブセパレータから用紙を取り出すときは、用紙の角が当たらないように、斜めに引いてください。



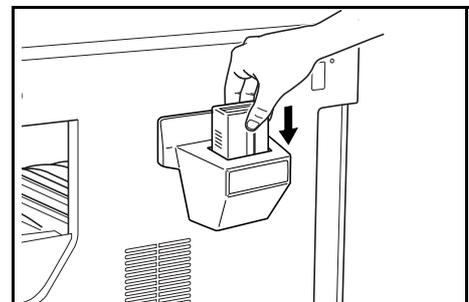
## キーカウンタ

キーカウンタは、コピーの使用量を確認するためのものです。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。



### キーカウンタのセット方法

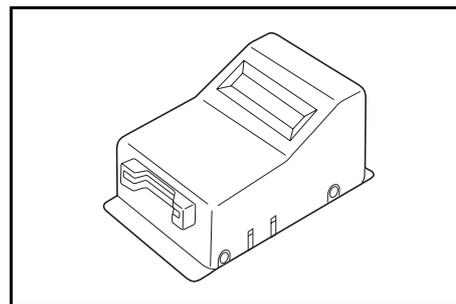
キーカウンタ差し込み口に、キーカウンタを確実にセットしてください。



- 参考
- キーカウンタを使用する場合は、キーカウンタを機械にセットしない限り、コピーがとれませんのでご注意ください。キーカウンタが確実に挿入されていないときは、「キーカウンタをセットして下さい」が表示されます。

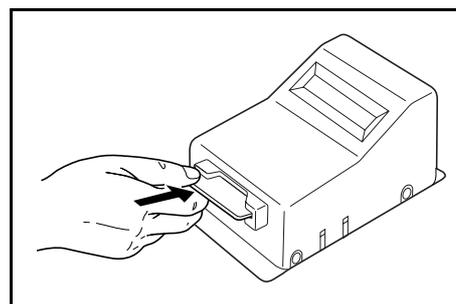
## キーカード

キーカードは専用のカードを使ってコピーの使用量を確認することができます。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。



### キーカードのセット方法

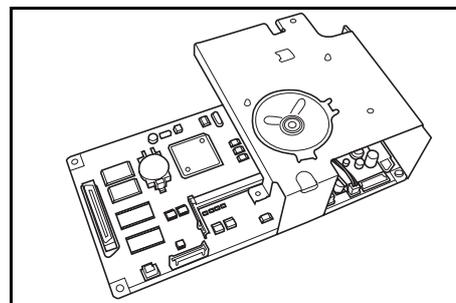
専用の部門カードを本体のカード挿入口にしっかり奥まで挿入してください。



**参考** キーカードを使用する場合は、部門カードを本体に挿入しない限りコピーがとれませんのでご注意ください。部門カードが確実に挿入されていないときは「キーカードをセットして下さい」が表示されます。

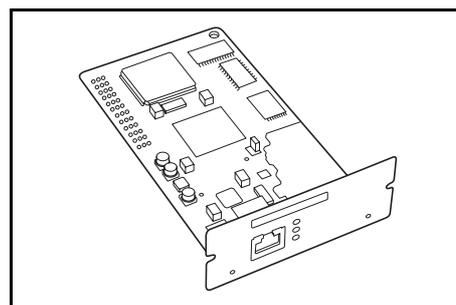
## ファクスキット

ファクスキットを装着すると、本機をファクスとして使用することができます。また、オプションのネットワークスキャナと併用すると、コンピュータで送受信できるネットワークファクスとして使用することができます。詳しくはファクスキットの**使用説明書**を参照してください。



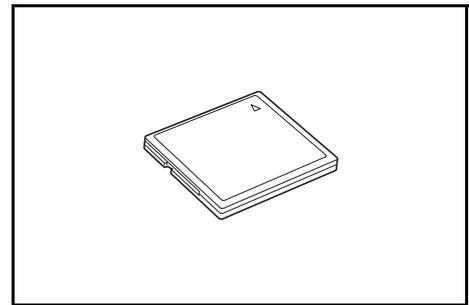
## ネットワークスキャナ

ネットワークスキャナを装着すると、本機をネットワークスキャナとして使用することができます。詳しくはネットワークスキャナの**使用説明書**を参照してください。



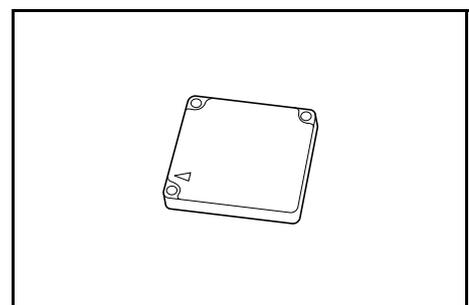
## メモ리카ード (コンパクトフラッシュ)

オプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。本機右側のメモ리카ードスロットに差し込みます。



## ハードディスク

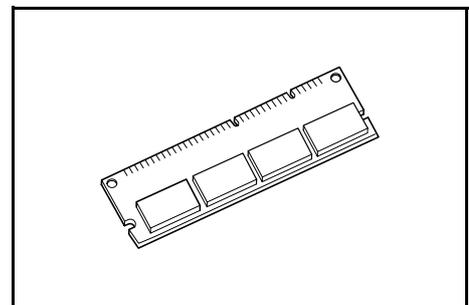
ハードディスクはプリンタの印刷データの保存に使用します。また、すべての e-MPS 機能を使用する場合は、ハードディスクが必要です。  
(e-MPS 機能については、**使用説明書 応用編の 2 章、e-MPS 機能の設定**を参照してください。)



参考 容量 : 340 MB、512 MB、1 GB

## 増設メモリ

コピー用、プリンタ用にそれぞれメモリを増設することができます。メモリを増設すると原稿の最大読み込み枚数が増えます。また、より複雑なデータの印刷も可能になります。64 MB、128 MB は圧縮率の低い写真原稿に対して有効です。



- 参考
- コピー用に増設できるメモリ : 16 MB、32 MB、64 MB、128 MB  
プリンタ用に増設できるメモリ : 32 MB、64 MB、128 MB、256 MB
  - 原稿読み込み枚数 (A4、黒比率 6 % 原稿、文字 + 写真)

16 MB	32 MB	64 MB	128 MB
289 枚 (179 枚)	392 枚 (282 枚)	597 枚 (487 枚)	1006 枚 (896 枚)

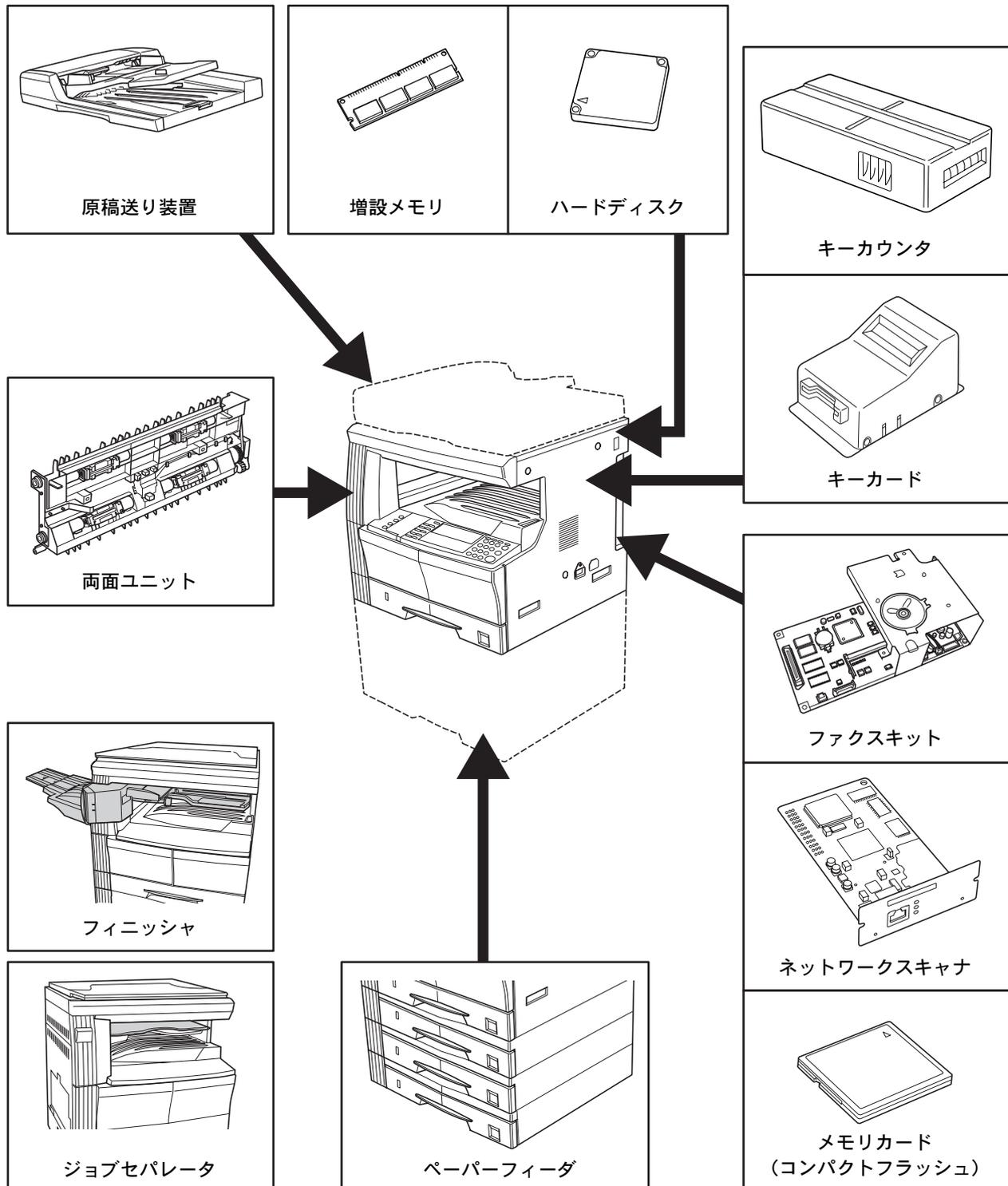
( ) はオプションのネットワークスキャナを装着した場合です。

## オプション

各オプションの設置位置を説明しています。

### 使用できるオプション

本機では、以下のオプションが使用できます。



### 原稿送り装置

多枚数のシート原稿を自動的に1枚ずつ送り、読み込みを行う装置です。原稿を50枚までセットできます。両面原稿を自動的に反転させて両面を読み込ませることもできます。

### ペーパーフィーダ

標準のカセットの下に、本体と同じカセット（300枚収納カセット）を増やすことができます。用紙のセットのしかたは本体標準のカセットと同じです。

### 両面ユニット

両面ユニットを装着すると、両面コピーをとることができます。

### フィニッシャ

大量のコピーを収納したり、多部数のコピーを1部ずつシフトして仕分けをしたりする装置です。ページ揃えしたコピーにステープルすることもできます。

### ジョブセパレータ

用紙の排出先を区分して、仕分けをしやすくする装置です。また、排出先を指定することができます。本体前面に、ジョブセパレータに用紙があることを示す用紙表示があります。

### キーカウンタ

キーカウンタは、コピーの使用量を確認するためのものです。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

### キーカード

キーカードは専用のカードを使ってコピーの使用量を確認する事ができます。各部課別など、全社的にコピーの使用量を集中管理する場合などに役立ちます。

### ファクスキット

ファクスキットを装着すると、本機をファクスとして使用することができます。また、オプションのネットワークスキャナと併用すると、コンピュータで送受信できるネットワークファクスとして使用することができます。

### ネットワークスキャナ

ネットワークスキャナを装着すると、本機をネットワークスキャナとして使用することができます。

### メモ리카ード（コンパクトフラッシュ）

オプションフォント、マクロ、フォームなどを書き込めるマイクロチップカードです。

### ハードディスク

ハードディスクはプリンタの印刷データの保存に使います。また、すべてのe-MPS機能を使用する場合は、ハードディスクが必要です。

### 増設メモリ

原稿の最大読み込み枚数を増やすことができます。また、より複雑なデータの印刷も可能になります。



## 5 日常のメンテナンス

### 機械の清掃のしかた

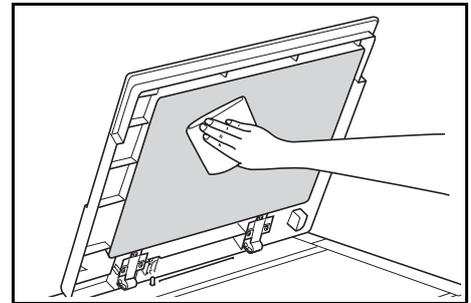


### 注意

本製品の清掃を行うときには安全上、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

#### 原稿押さえの清掃

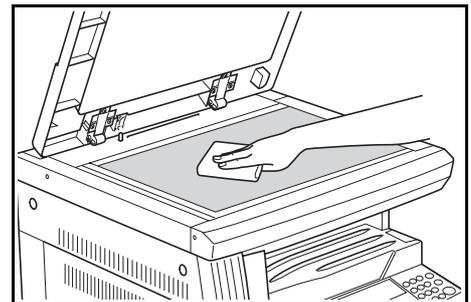
原稿押さえを開き、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、原稿押さえ裏面の清掃を行ってください。



ご注意 シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。

#### コンタクトガラスの清掃

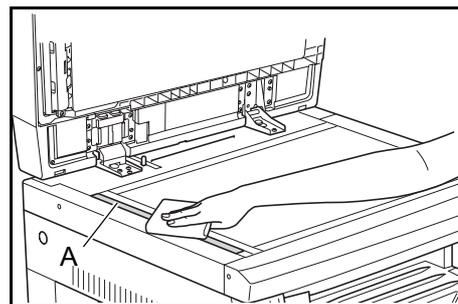
原稿押さえを開き、アルコールまたは薄い中性洗剤をつけた柔らかい布で、コンタクトガラスの清掃を行ってください。



ご注意 シンナー、有機溶剤等は使用しないでください。

### スリットガラスの清掃

オプションの原稿送り装置使用時にコピーに黒ずみなどの汚れが写る場合、スリットガラスAが汚れています。柔らかい布を使い、乾拭（からぶき）で、スリットガラスの清掃を行ってください。

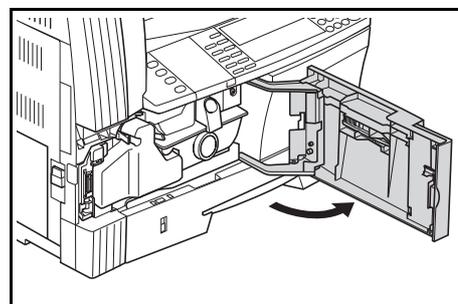


**ご注意** 水、シンナー、有機溶剤、アルコール等は使用しないでください。

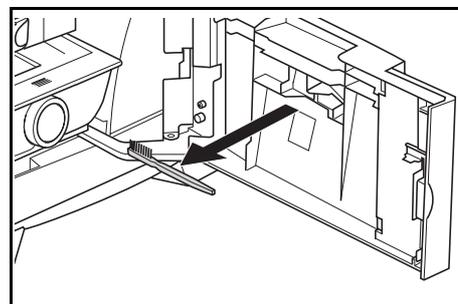
**参考** 本体内部の清掃は、5-5 ページのトナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換を参照してください。

### 剥離爪の清掃

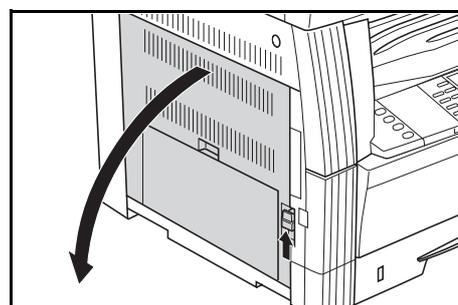
**1** 前カバーを開けてください。



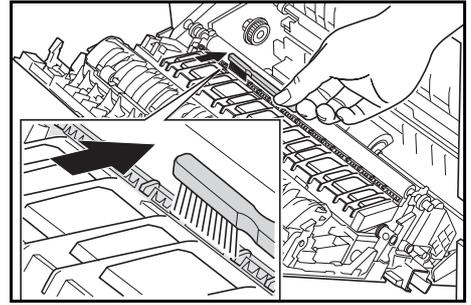
**2** 清掃ブラシを取り外してください。



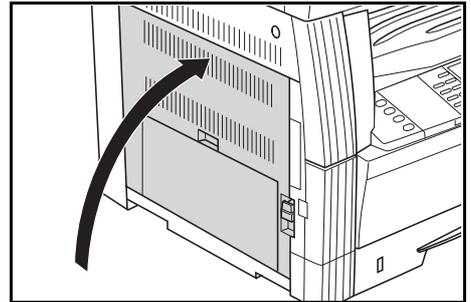
**3** 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。



- 4 図のようにブラシを剥離爪に沿って左側から右側に動かし、剥離爪の汚れを取り除いてください。

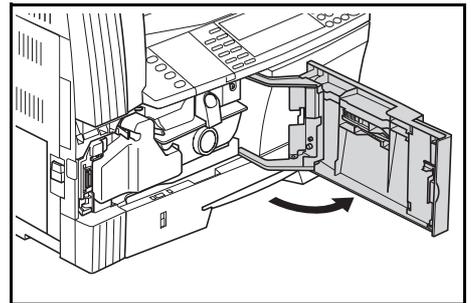


- 5 左カバーを閉じてください。

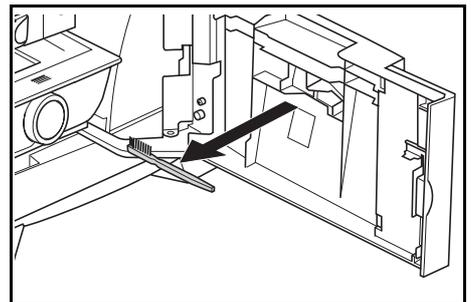


### 転写ローラの清掃

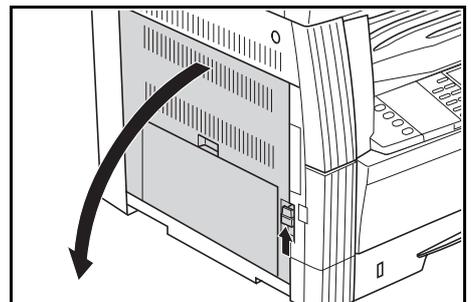
- 1 前カバーを開けてください。



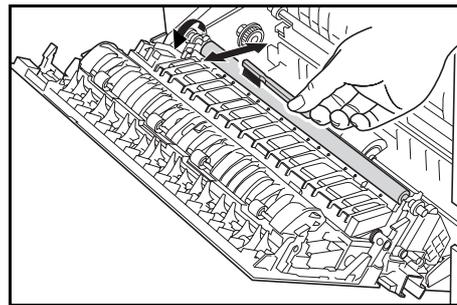
- 2 清掃ブラシを取り外してください。



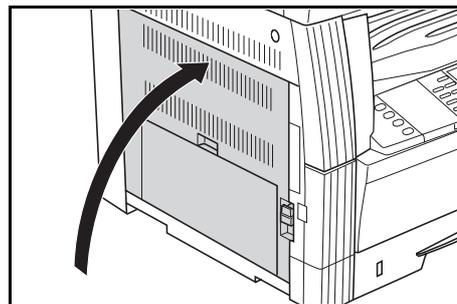
- 3 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。



- 4 図のように左の転写ローラ軸のギアを回して転写ローラを回転させながら、ブラシをローラに沿って左右に動かし、転写ローラの汚れを取り除いてください。

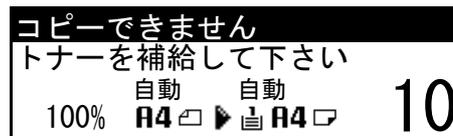


- 5 左カバーを閉じてください。



## トナーコンテナと廃棄トナーボックスの交換

メッセージ表示に「トナーを補給して下さい」が表示され、機械が停止したときは、トナーを補給してください。トナーコンテナの交換と同時に廃棄トナーボックスも交換してください。



- 参考
- トナーの補給は、メッセージ表示に「トナーを補給して下さい」が表示されたときのみ行ってください。
  - トナーコンテナ交換時には 5-7 ページの手順 7 から 5-8 ページの手順 11 までの清掃を必ず行ってください。各部分が汚れると、製品性能が維持できなくなります。

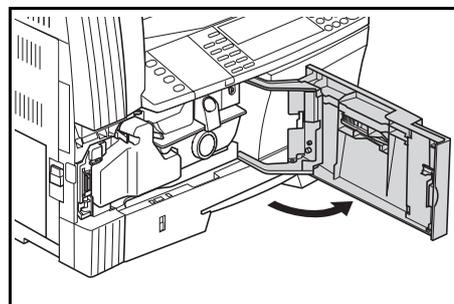
### ! 注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

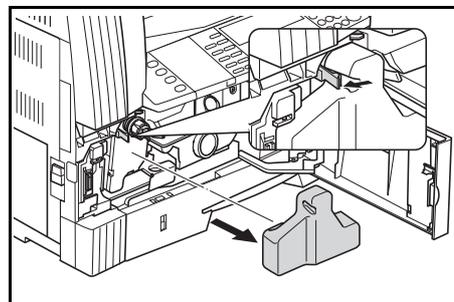
### ! 注意

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

- 1 前カバーを開けてください。



- 2 廃棄トナーボックスの押さえを左に押しながら廃棄トナーボックスを取り出してください。

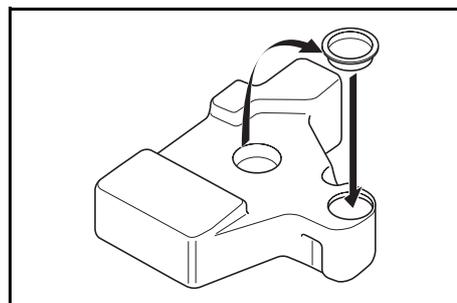


ご注意 取り出した古い廃棄トナーボックスは、逆さまにしないでください。

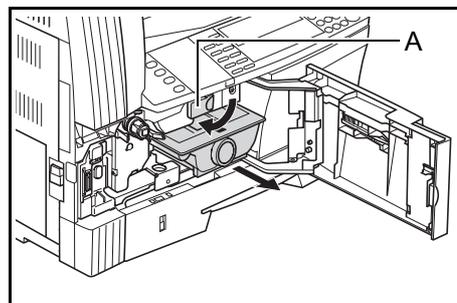
 **警告**

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- 3 古い廃棄トナーボックスの真ん中に付いているキャップで開放口をふさいでください。



- 4 トナーコンテナ解除レバー A を左に回し、トナーコンテナを引き出してください。



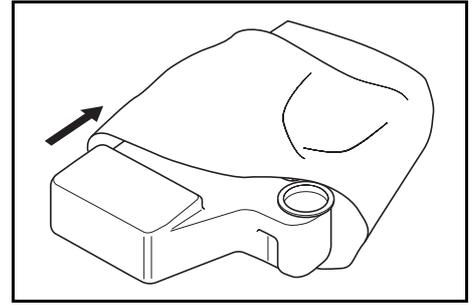
 **注意**

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、火中に投げないでください。火花が飛び散り、火傷の原因となることがあります。

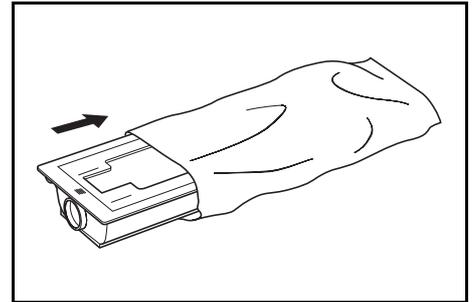
 **注意**

トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、無理に開けたり、壊したりしないでください。

- 5 古い廃棄トナーボックスを付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。

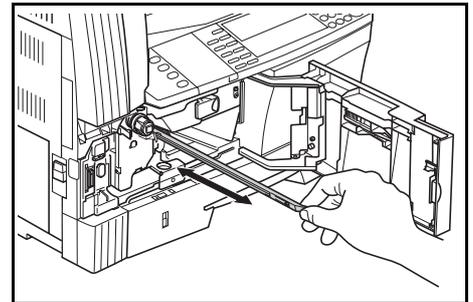


- 6 古いトナーコンテナを付属の廃棄用ポリ袋に入れてください。



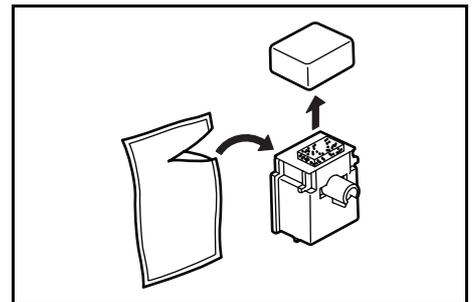
- 7 クリーナー棒を持って、ゆっくり引き出せるところまで引き出し、もう一度押し込んでください。

この操作を2、3回繰り返してください。

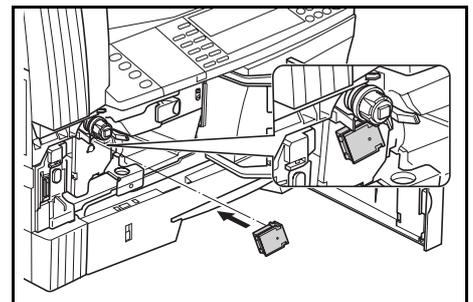


**参考** むりやり引っ張ったり、引き抜いたりしないでください。

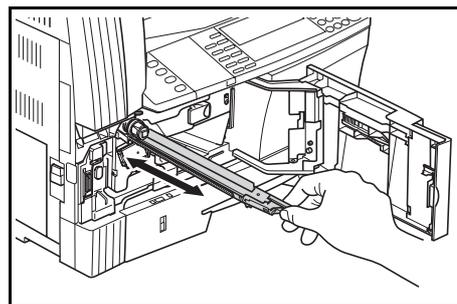
- 8 付属のグリッドクリーナを袋から取り出し、キャップを外してください。



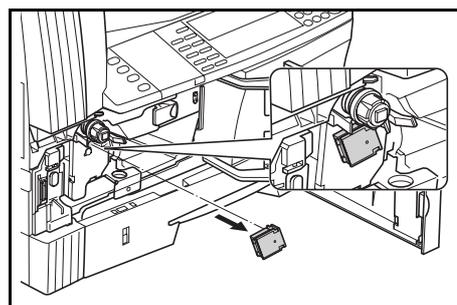
- 9 切り欠きに合わせてグリッドクリーナを本体に取り付けてください。



- 10 帯電部を一杯に引き出し、数回前後させてから押し込んでください。

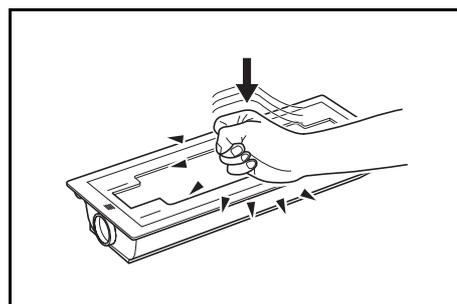


- 11 グリッドクリーナを取り外して、キャップを閉めてください。

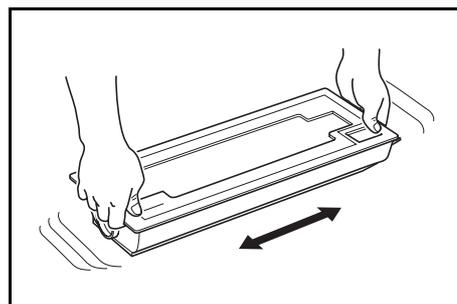


ご注意 グリッドクリーナを使用して帯電部を清掃した後は、5分以上待ってから使用してください。

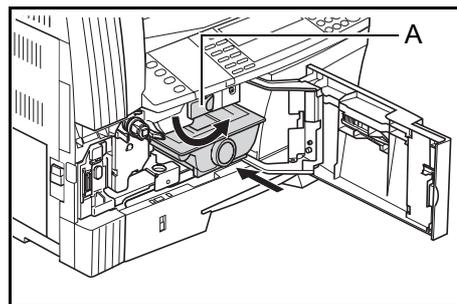
- 12 新しいトナーコンテナの上部を5、6回たたきます。



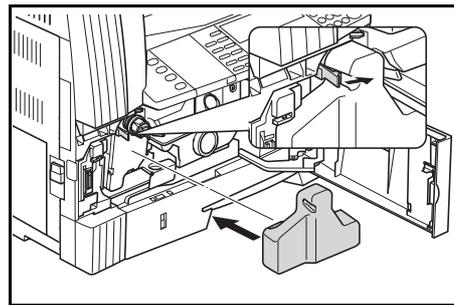
- 13 トナーコンテナを10回程度左右に振り、内部のトナーが均一になるようにします。



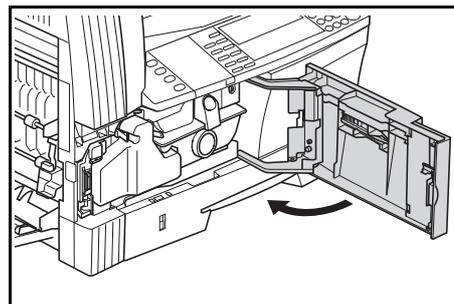
- 14 新しいトナーコンテナをセットし、トナーコンテナ解除レバーAを右に回してください。



- 15 新しい廃棄トナーボックスをセットしてください。



- 16 前カバーを閉めてください。



使用後、不要となりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却ください。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

- 参考 最良の複写品質を保つために、トナーコンテナ交換時以外も定期的（月1回程度）に5-7 ページの手順7 および 5-4 ページの手順4 の清掃を行ってください。



## 6 困ったときは

### トラブルが発生した場合

トラブルが発生した場合は、次のことをお調べください。それでも直らない場合は、サービス担当者までご連絡ください。

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
メインスイッチを ON にしても操作パネルに何も表示されない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	2-13 ページ
[スタート] キーを押してもコピーが出てこない。	操作パネルに表示が出ていませんか。	各表示に対する処理方法を確認して、適切な処理を行ってください。	6-4 ページ
コピーが写らない。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスの上に原稿をセットするときは、原稿を下向きにし、原稿サイズ指示板に合わせてセットしてください。	3-1 ページ
		オプションの原稿送り装置に原稿をセットするときは原稿を上向きにセットしてください。	4-2 ページ
コピーがうすい。	自動濃度モードですか。	全体的に濃度を変更するときは、自動濃度調整を行ってください。	使用説明書 応用編の 3 章 参照
	手動濃度モードですか。	[うすく] キーと [こく] キーで適正な位置にセットしてください。  全体的に濃度を変更するときは、各原稿モードで、手動濃度調整を行ってください。	3-3 ページ  使用説明書 応用編の 3 章 参照
	トナーコンテナ内でトナーが偏っていませんか。	トナーコンテナを 10 回程度左右に振ってください。	5-5 ページ
	エコプリントが設定されていませんか。	エコプリントの設定を「しない」にしてください。	使用説明書 応用編の 1 章 参照
	トナー補給のメッセージが表示されていませんか。	トナーコンテナを交換してください。	5-5 ページ
	用紙が湿っていませんか。	新しい用紙と交換してください。	2-1 ページ
	帯電部が汚れていませんか。	前カバーを開いて、クリーナー棒で帯電部を清掃してください。	5-5 ページ

## 困ったときは

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
コピーがこい。	自動濃度モードですか。	全体的に濃度を変更するときは、自動濃度調整を行ってください。	使用説明書 応用編の3章 参照
	手動濃度モードですか。	[うすく] キーと [こく] キーで適正な位置にセットしてください。  全体的に濃度を変更するときは、各画質モードで、手動濃度調整を行ってください。	3-3 ページ  使用説明書 応用編の3章 参照
モアレ（網点が均等に配列されず斑紋が出る状態）が発生する。	原稿が印刷された写真ですか。	画質モードを写真にしてください。	3-2 ページ
コピーが鮮明でない。	原稿の種類に合った画質モードを選択していますか。	適切な画質モードを選択してください。	3-2 ページ
コピーが汚れている。	コンタクトガラスや原稿押さえが汚れていませんか。	コンタクトガラスや原稿押さえの清掃を行ってください。	5-1 ページ
コピーがずれて写る。	原稿が正しくセットされていますか。	コンタクトガラスに原稿をセットするときは原稿サイズ指示板に原稿を確実に合わせてください。  オプションの原稿送り装置に原稿をセットするときは原稿挿入ガイドを確実に合わせてから原稿をセットしてください。	3-1 ページ  4-2 ページ
	用紙が正しくセットされていますか。	カセットの横ガイドの位置を確認してください。	2-1 ページ
紙づまりがたびたび起こる。	用紙がカセットに正しくセットされていますか。	用紙を正しくセットし直してください。  用紙の種類や保管状態によっては、コピーされた用紙のカールがひどくなり、紙づまりの原因となる場合があります。用紙を一度取り出し、裏返してからセットし直してください。	2-1 ページ  —
	用紙がカールしたり、折れやしわがありませんか。	新しい用紙に交換してください。	2-1 ページ
	つまった用紙や紙片が機械内部に残っていませんか。	適切な方法で取り除いてください。	6-8 ページ
オプションの原稿送り装置使用時にコピーに黒いすじが写る。	手差しに実際にセットされている用紙サイズと、設定されている手差しのサイズが異なっていませんか。	手差しに実際にセットされている用紙サイズと、設定されている手差しのサイズを合わせてください。	2-4 ページ
	スリットガラスが汚れていませんか。	スリットガラスの清掃を行ってください。  黒筋軽減処理を設定すると黒すじが発生した場合には、黒すじをめだたなくすることができません。	5-2 ページ  使用説明書 応用編の3章 参照
コピーにしわがでる。	剥離爪が汚れていませんか。	剥離爪の清掃を行ってください。	5-2 ページ
コピーにたての白すじまたは黒すじがでる。	帯電部が汚れていませんか。	前カバーを開いて、クリーナー棒で清掃してください。	5-5 ページ
コピーに白点がでる。	転写ローラが汚れていませんか。	清掃ブラシで転写ローラを清掃してください。	5-3 ページ

トラブル内容	確認事項	処理方法	参照ページ
(25 枚機のみ) コピーがぼける。	本機を湿度の高い状態で使用していませんか。	ドラムリフレッシュを行ってください。	使用説明書 応用編の3章 参照
印刷できない。	電源プラグがコンセントに接続されていますか。	電源プラグをコンセントに接続してください。	2-13 ページ
	本体側に電源が入っていますか。	メインスイッチを ON (   ) にしてください。	—
	正しいプリンタケーブルが確実に接続されていますか。	プリンタケーブルを確実に接続してください。	2-11 ページ
	本機の電源を入れた後にプリンタケーブルを接続しませんでしたか。	プリンタケーブルを接続してから本機の電源を入れてください。	2-11 ページ
	オフライン状態になっていませんか。 (印刷可表示が消灯していませんか)	1 [プリンタ] キーを押し、プリンタ基本画面を表示させてください。  2 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、[印刷可 / 解除] を選択してください。  3 [OK] キーを押してください。印刷可表示が点灯します。	—
正しい文字がでない。	正しいプリンタケーブルが接続されていますか。	シールドタイプのプリンタケーブルを接続してください。	2-11 ページ
正しく印刷されない。	コンピュータ側での設定は正しいですか。	プリンタドライバまたはアプリケーションソフト側の設定を確認してください。	—

## こんな表示が出たら

メッセージ表示に下表のようなメッセージが出たときは、処理方法にしたがって作業してください。

表示	処理方法	参照ページ
〇〇カバーを閉じて下さい	表示されているカバーが開いています。 確実に閉めてください。	—
用紙を補給して下さい	用紙がなくなりました。 新しい用紙を補充してください。	2-1 ページ
用紙を補給して下さい ○用紙 (〇〇〇)	印刷データとカセットにセットされている用紙サイズまたは用紙種類が一致しません。用紙を入れ替えてください。  <ul style="list-style-type: none"> <li>給紙段を変更するときは、[用紙選択] キーで給紙段を選択し、[OK] キーを押してください。</li> <li>[プリンタ] キーを押すと、次のメッセージが表示されます。 「印刷可 / 解除」: そのままセットされている用紙で印刷します。 「キャンセル」: 印刷をキャンセルします。 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、処理方法を選択し、[OK] キーを押してください。</li> </ul>	—
カセットをセットして下さい	カセットがしっかりセットされていません。 一度引き出してしっかり押し込んでください。	—
適当な用紙がありません	設定されたモードで使用できるサイズの用紙がありません。 用紙を確認してください。	—
原稿と用紙の向きが違います	選択した用紙の方向が原稿の向きと違います。  原稿のセット方向を変えてください。そのまま [スタート] キーを押すと等倍でコピーします。	—
制限枚数終了の為コピーできません	部門管理モードで設定されている制限枚数に達したため、これ以上のコピーができません。  部門管理モードでコピーカウントをクリアしてください。	使用説明書 応用編の 4 章 参照
トナーコンテナをセットして下さい	トナーコンテナが正しくセットされていません。  トナーコンテナを正しくセットしてください。	5-5 ページ
コピーできません トナーを補給して下さい	機内にトナーが不足しています。1 枚ずつのコピーしかできません。  早めにトナーコンテナを交換してください。	5-5 ページ
トナーを補給して下さい コピーできません	トナーがありません。  トナーコンテナを交換してトナーを補給してください。	5-5 ページ
廃棄トナーボックスを交換して下さい	廃棄トナーボックスがいっぱいです。  新しい廃棄トナーボックスに交換してください。	5-5 ページ
原稿カバーを開け、スリット ガラスを清掃して下さい	スリットガラスが汚れています。  オプションの原稿送り装置使用時に、コピーに黒ずじなどの汚れが写る原因になりますので、スリットガラスを清掃してください。	5-2 ページ
サービス担当者に電話して下さい	前カバーを一度開閉してください。再度表示が出たときは「C」と数字を確認してください。メインスイッチを OFF (○) にしてサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—
定期点検の時期です	機械を良好に保つために定期点検が必要です。	—
定期点検間近です	ただちにサービス担当者またはサービス実施店にご連絡ください。	—

表示	処理方法	参照ページ
メモリオーバー	<p>コピーの空きメモリが無くなったか、または原稿制限枚数 999 ページに達したため、現在のコピーを処理できません。</p> <p>読み込みが終了しているページまでを一旦出力する（「コピーする」）か、読み込まれたデータを消去する（「中止する」）か選択してください。どちらかが選択されるまでは、別のコピーや読み込みはできません。</p> <p>コピーの設定条件によって、コピーを複数部設定していても 1 部だけを出力して、このエラーメッセージを表示する場合があります。この場合はコピーを継続することができませんので [OK] キーを押して、再度コピーの操作を行ってください。</p> <p>このエラーが頻繁に発生する場合は、メモリを増設することをお勧めいたします。</p>	—
	<p>プリンタの空きメモリが無くなったため、現在の印刷を処理できません。</p> <p>[プリンタ] キーを押すと次のメッセージが表示されます。  「印刷可 / 解除」：印刷を継続します。処理されているところまでを出力し、残りを次のページに印刷します。  「キャンセル」：印刷をキャンセルします。  「リセット」：プリンタボードを再起動します。この場合はプリンタ機能だけがリセットされます。  [▲] キーまたは [▼] キーを押して、処理方法を選択し、[OK] キーを押してください。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>RAM ディスク機能を使用している場合は RAM ディスクのサイズを下げてください。頻繁に発生する場合は、プリンタのメモリを増設することをお勧めいたします。プリンタのメモリ増設については、サービス担当者またはサービス実施店にご相談ください。詳細は使用説明書 応用編の 2 章、RAM ディスクの設定を参照してください。</li> <li>自動継続を「オン」に設定している場合は、設定時間が経過すると自動的に印刷を継続します。</li> </ul>	—
紙づまりです	<p>紙づまりが発生しています。</p> <p>紙づまり位置がメッセージ表示に表示され、機械が停止します。メインスイッチは ON (   ) のまま手順に従い取り除いてください。</p>	6-8 ページ
原稿をセットし直して下さい	<p>オプションの原稿送り装置の原稿を取り除いて、全ての原稿を原稿テーブルに戻し、コピーを再開してください。</p>	—
原稿送り装置で紙づまりです 原稿を取り除いて下さい	<p>オプションの原稿送り装置で原稿がつまっています。</p> <p>メインスイッチは ON (   ) のまま、手順に従い取り除いてください。</p>	6-15 ページ
本体排出の用紙を取り除き スタートキーを押して下さい	<p>コピー時に、排紙トレイの収納可能枚数を超過しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>排紙トレイに用紙が 250 枚収納されています。</li> <li>オプションのジョブセパレータが装着されているときに、排紙トレイに用紙が 150 枚収納されています。</li> <li>オプションのフィニッシャが装着されているときに、排紙トレイに用紙が 100 枚収納されています。</li> </ul> <p>用紙を取り除いてください。</p>	—

## 困ったときは

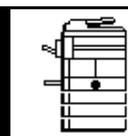
表示	処理方法	参照ページ
本体排出の用紙を取り除き 解除を押して下さい	印刷時に、排紙トレイの収納可能枚数を超過しています。  <ul style="list-style-type: none"> <li>排紙トレイに用紙が 250 枚収納されています。</li> <li>オプションのジョブセパレータが装着されているときに、排紙トレイに用紙が 150 枚収納されています。</li> <li>オプションのフィニッシャが装着されているときに、排紙トレイに用紙が 100 枚収納されています。</li> </ul> 用紙を取り除いてください。  [プリンタ] キーを押してください。[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「印刷可 / 解除」を選択し、[OK] キーを押してください。印刷を継続します。  参考 印刷をキャンセルする場合は、「キャンセル」を選択し、[OK] キーを押してください。	—
フィニッシャの用紙を取り除き スタートキーを押して下さい	コピー時に、オプションのフィニッシャ上に用紙が 250 枚以上収納されています。  用紙を取り除いてください。	—
フィニッシャの用紙を取り除き 解除を押して下さい	印刷時に、オプションのフィニッシャ上に用紙が 250 枚以上収納されています。  用紙を取り除いてください。  [プリンタ] キーを押してください。[▲] キーまたは [▼] キーを押して、「印刷可 / 解除」を選択し、[OK] キーを押してください。印刷を継続します。  参考 印刷をキャンセルする場合は、「キャンセル」を選択し、[OK] キーを押してください。	—
用紙を取り除いて下さい ジョブセパレータ用紙オーバーです	オプションのジョブセパレータ上に用紙が 100 枚収納されています。  用紙を取り除いてください。	—
フィニッシャで紙づまりです 処理トレイを下げ 用紙を取り除いて下さい	オプションのフィニッシャの内部で紙づまりです。  用紙を取り除いてください。	6-16 ページ
ステープルの針がありません 針をセットして下さい	オプションのフィニッシャの針がありません。  針を補給してください。	4-7 ページ
このサイズは ステープルできません	A5R や B5R などの小サイズにはステープルができません。	—
システムエラーです 主電源を OFF/ON して下さい	ノイズなどによる誤動作が起こった場合や、プリンタなどの機能を使用時に通信異常が発生した場合に表示されます。  以下の手順に従って処理してください。  1 メインスイッチを OFF (○) にしてください。プリンタ出力を行っている場合は、コンピュータ側で印刷をキャンセルしてください。  2 5 秒以上待つから再び ON ( ) にしてください。エラーが解除されます。プリンタの出力を行っていた場合は、再度出力を行ってください。	—

表示	処理方法	参照ページ
RAM ディスクエラー 解除を押して下さい	RAM ディスクの書き込みまたは読み込みでエラーが発生しています。  [プリンタ] キーを押してから「印刷可 / 解除」を選択し、[OK] キーを押してください。エラーが解除されます。	—
メモリカードエラー 解除を押して下さい	メモリカードの書き込みまたは読み込みでエラーが発生しています。  [プリンタ] キーを押してから「印刷可 / 解除」を選択し、[OK] キーを押してください。エラーが解除されます。	—
メモリカードエラー カードが抜かれました	プリンタ設定中にメモリカードが抜かれました。  メモリカードを挿入してください。  参考 メモリカードを挿入するときは、メインスイッチを OFF (○) にしてください。	—
同じメモリカードを差して下さい	メモリカードよりデータを読み込む際に、メモリカードを認識できませんでした。  再度メモリカードを挿入してください。  参考 メモリカードを挿入するときは、メインスイッチを OFF (○) にしてください。	—
メモリカードのフォーマットをして 下さい	挿入されたメモリカードは初期化が必要です。  メモリカードを初期化してください。	—
プリントオーバーラン GO を押して下さい	メモリ不足のため、正常に印刷できませんでした。  [プリンタ] キーを押すと次のメッセージが表示されます。 「印刷可 / 解除」：印刷を継続します。 「キャンセル」：印刷をキャンセルします。 「リセット」：プリンタボードを再起動します。この場合はプリンタ機能だけがリセットされます。 [▲] キーまたは [▼] キーを押して、処理方法を選択し、[OK] キーを押してください。  参考 ・ 自動継続を「オン」に設定している場合は、設定時間が経過すると自動的に印刷を継続します。 ・ このエラーメッセージが表示された後、ページ保護モードが自動的に保護になります。	—
インターフェース使用中です	選択したインターフェースは現在使用中です。しばらく待って再度操作を行ってください。	—
チェックサムエラーです	起動時にエラーを検出しました。  メインスイッチを OFF/ON してください。同じメッセージが表示される場合は、サービス担当者またはサービス実施店までご連絡ください。	—

## 紙づまりが発生したら

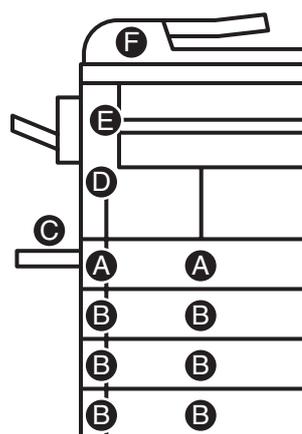
紙づまりが発生した場合は、出力を停止します。この時、メッセージ表示には紙づまりを知らせるエラーメッセージとともに、紙づまり位置表示が表示されます。メインスイッチはON ( | ) のまま、6-9 ページの**処置方法**を参照して用紙を取り除いてください。

カセット1で  
紙づまりです  
用紙を取り除いて下さい  
JAM11



## 紙づまり位置表示

カセット1で  
紙づまりです  
用紙を取り除いて下さい  
JAM11



位置表示	紙づまりの位置	紙づまり番号	参照ページ
A	カセット1での紙づまり	JAM11、JAM21	6-9 ページ
B	カセット2～4での紙づまり†	JAM12、JAM13、JAM14、 JAM15、JAM16、JAM22、 JAM23、JAM24	6-10 ページ
C	手差しでの紙づまり	JAM10、JAM20	6-12 ページ
D	左カバー内部での紙づまり	JAM30、JAM40、JAM41、 JAM42、JAM43、JAM44、 JAM45、JAM60、JAM61	6-12 ページ
E	排出口での紙づまり	JAM50、JAM52、JAM53、 JAM54、JAM55、JAM56	6-14 ページ
	フィニッシャ (オプション) での紙づまり	JAM80、JAM81、JAM83、JAM84	6-16 ページ
	ジョブセパレータ (オプション) での紙づまり	JAM51	6-18 ページ
F	原稿送り装置 (オプション) での紙づまり	JAM70、JAM71、JAM72、 JAM73、JAM74、JAM75	6-15 ページ

† 16 枚機ではカセット2～4が、20 枚機/25 枚機ではカセット3、4がオプションのペーパーフィーダのカセットです。

注意事項



**警告**

本製品本体内部の帯電部は高電圧です。感電のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。



**注意**

本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- つまった用紙は再使用しないでください。
- 用紙を取り除くときに用紙が破れた場合、紙片を機内に残さないように注意してください。紙づまりが再発する原因になります。
- 紙づまり処理が終了すると、ウォームアップが開始されます。エラーメッセージが消え、紙づまり前の状態にセットし直されます。

処置方法

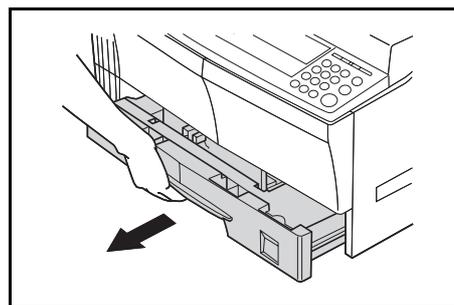
カセット1での紙づまり

「カセット1で 紙づまりです 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、カセットで紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

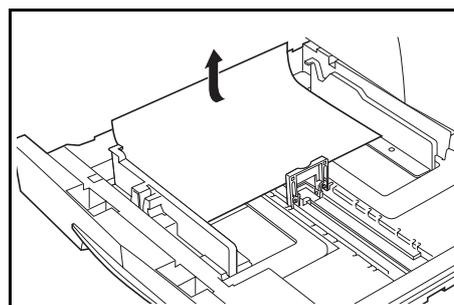
カセット1で  
紙づまりです  
用紙を取り除いて下さい  
JAM11



- 1 カセットを引き出してください。

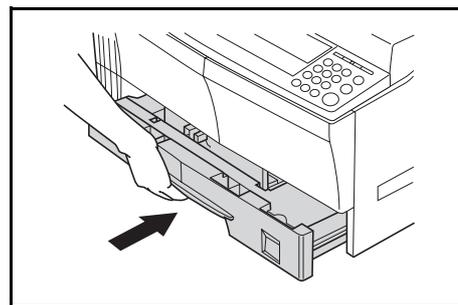


- 2 つまっている用紙があれば破らないように取り出してください。



参考 用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 3 カセットを元どおりしっかり押し込んでください。



- 参考
- カセットの爪から用紙が外れていないか確認してください。外れていたら再度チェックしてください。
  - 「JAM21」が表示された場合は、6-12 ページの左カバー内部での紙づまりを参照して用紙を取り除いてください。

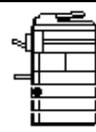
#### カセット2～4での紙づまり

「カセット2（～4）で 紙づまりです 用紙を取り除いて下さい」、「紙づまりです カセット2（～4）左カバーを開けて 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、オプションのペーパーフィーダで紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

カセット2で  
紙づまりです  
用紙を取り除いて下さい  
JAM12

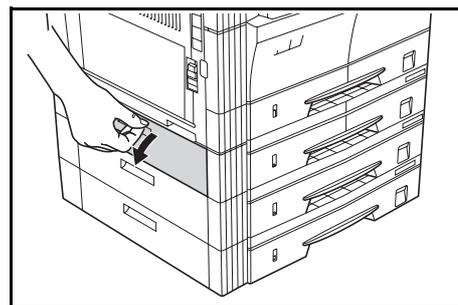


紙づまりです  
カセット2 左カバーを開けて  
用紙を取り除いて下さい  
JAM15

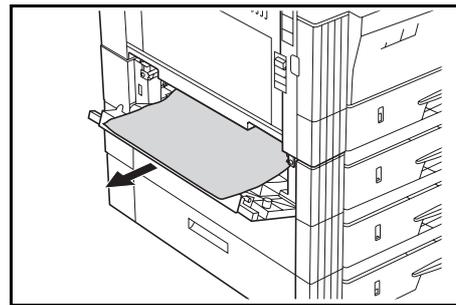


参考 16枚機ではカセット2～4が、20枚機/25枚機ではカセット3、4がオプションのペーパーフィーダのカセットです。

- 1 使用しているカセットの左カバーを開けてください。

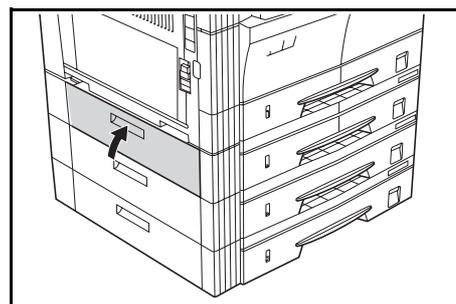


- 2 つまっている用紙があれば破らないように取り出してください。

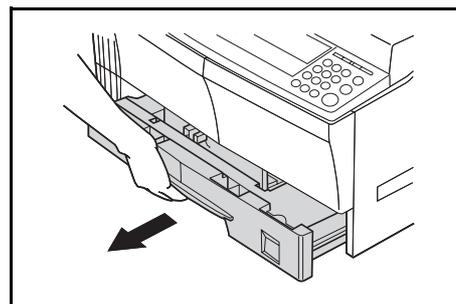


参考 用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

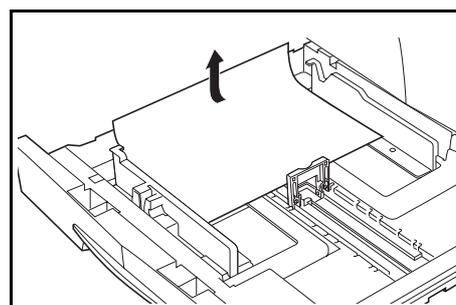
- 3 カセットの左カバーを閉じてください。



- 4 カセットを引き出してください。



- 5 つまっている用紙があれば、破らないように取り出してください。



参考 用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 6 カセットを元どおりゆっくり押し込んでください。

### 手差しでの紙づまり (JAM10)

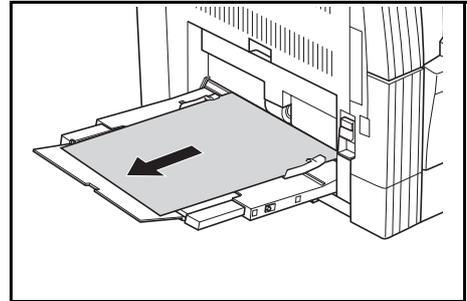
「手差しで紙づまりです 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、手差しで紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

手差しで紙づまりです  
用紙を取り除いて下さい

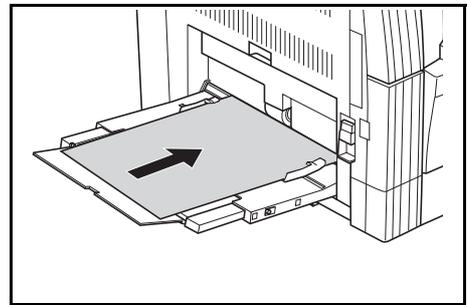
JAM10



- 1 手差しの用紙をすべて取り出してください。



- 2 手差しに用紙をセットし直してください。エラーメッセージが消えます。



### 手差しでの紙づまり (JAM10 以外)

- ご注意
- 「JAM20」が表示された場合は、左カバー内部での紙づまりを参照して用紙を取り除いてください。
  - 「JAM40」が表示された場合は、左カバー内部での紙づまりを参照して用紙を取り除いてください。
  - つまった用紙を取り除く場合は手差し側から引き出さないようにしてください。

### 左カバー内部での紙づまり

「紙づまりです 本体左カバーを開けて 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、左カバー内部で紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

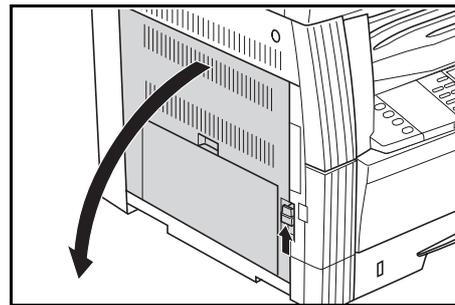
紙づまりです  
本体左カバーを開けて  
用紙を取り除いて下さい

JAM30



- ご注意
- 本体内部のドラム部分は、傷や汚れに敏感です。用紙を取り除く際に、手を触れたり、時計や指輪などを当てないようにご注意ください。

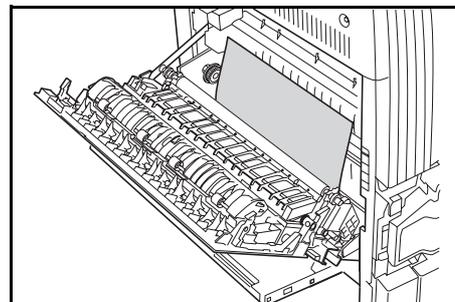
- 1 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。



## ! 注意

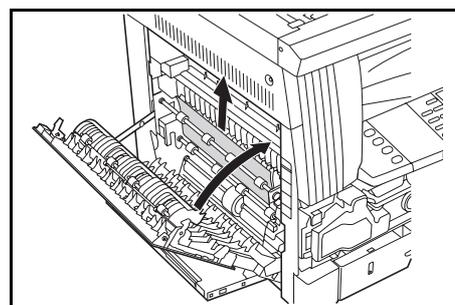
本製品本体内部の定着部は高温です。火傷のおそれがありますので取り扱いにご注意ください。

- 2 つまっている用紙を破らないように取り出してください。



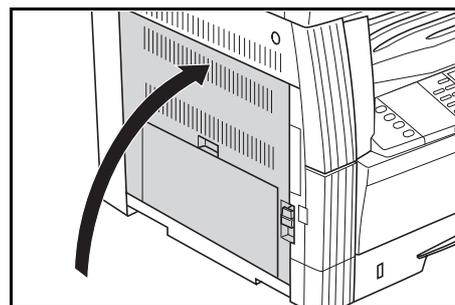
**参考** 用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 3 オプションの両面ユニットを装着している場合は、両面ユニットを上げ、用紙を取り除いてください。



**参考** 用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 4 左カバーを閉じてください。

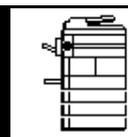


### 排出口での紙づまり

「排出口で紙づまりです 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、排出口で紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

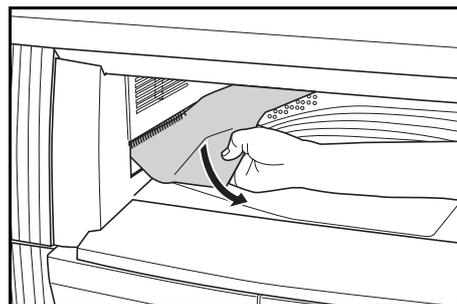
排出口で紙づまりです  
用紙を取り除いて下さい

JAM50



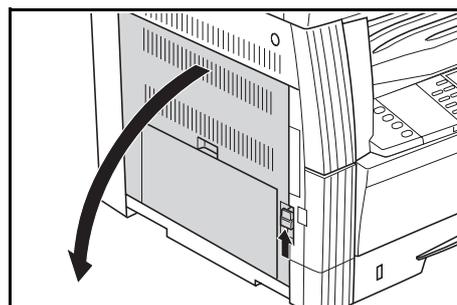
**ご注意** 本体内部のドラム部分は、傷や汚れに敏感です。用紙を取り除く際に、手を触れたり、時計や指輪などを当てないようにご注意ください。

- 1 排出口からつまっている用紙が見える場合は、手前に引いて取り除いてください。

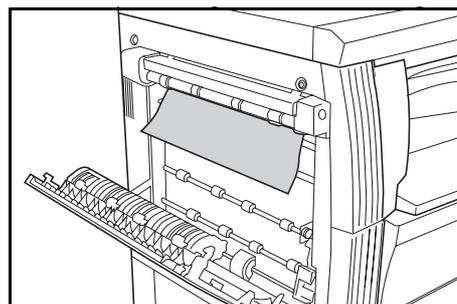


**参考** 用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 2 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。

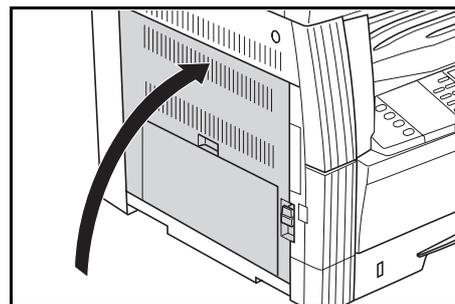


- 3 つままっている用紙を破らないように取り出してください。



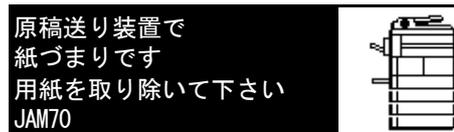
**参考** 用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 4 左カバーを閉じてください。

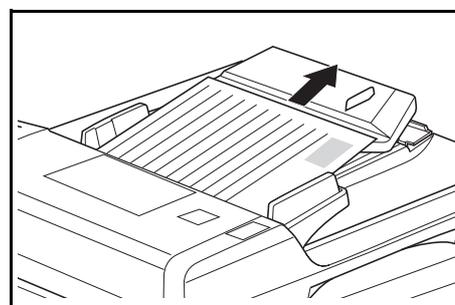


#### 原稿送り装置（オプション）での紙づまり

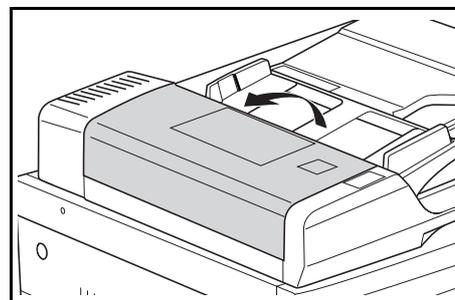
「原稿送り装置で 紙づまりです 原稿を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、オプションの原稿送り装置で紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。



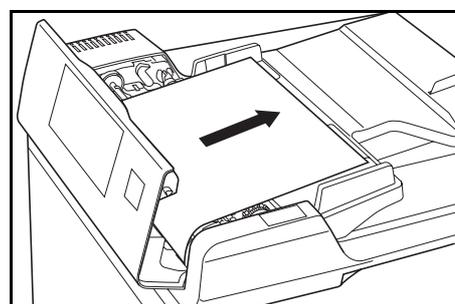
- 1 原稿テーブルに原稿があれば取り除いてください。



- 2 左カバーを開けてください。

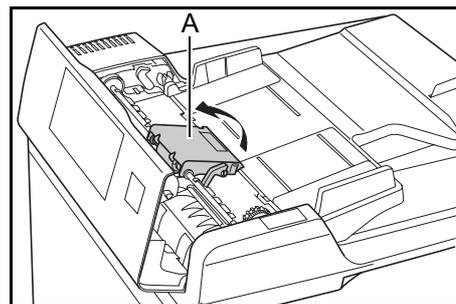


- 3 つまっている原稿があれば、破らないように取り出してください。



**参考** 原稿が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。紙づまりが再発する原因になります。

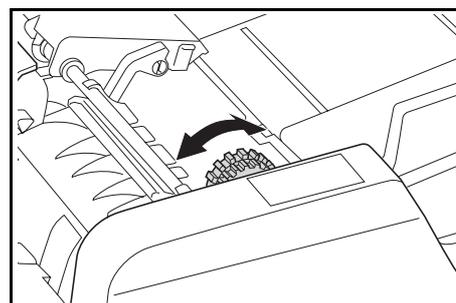
- 4 給紙ユニット A を持ち上げてください。



- 5 つまっている原稿があれば、破らないように取り出してください。

参考 原稿が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 6 図のようにダイヤルを回して原稿を取り除いてください。



- 7 左カバーを元どおりに閉じてください。

すべての原稿を再セットしてコピーを再開してください。

#### フィニッシャ（オプション）での紙づまり

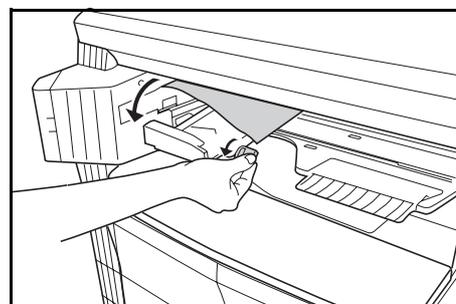
「フィニッシャで紙づまりです 処理トレイを下げ 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、オプションのフィニッシャで紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

フィニッシャで紙づまりです  
処理トレイを下げ  
用紙を取り除いて下さい  
JAM80

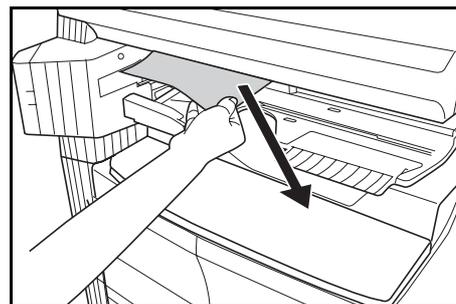


ご注意 本体内部のドラム部分は、傷や汚れに敏感です。用紙を取り除く際に、手を触れたり、時計や指輪などを当てないようにご注意ください。

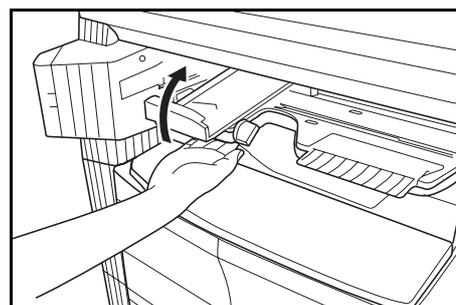
- 1 レバーをまわして、処理トレイを下げてください。



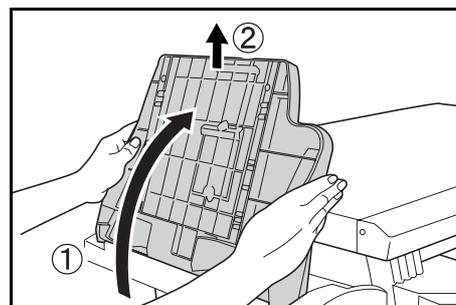
- 2 用紙があれば取り除いてください。



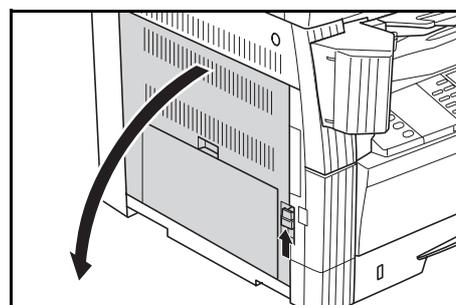
- 3 処理トレイを上げてください。



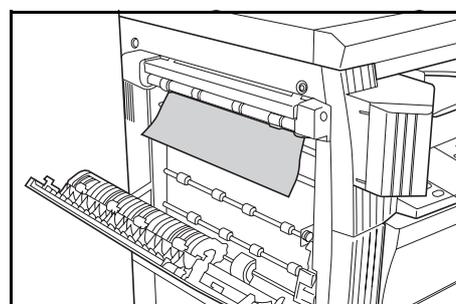
- 4 フィニッシュャトレイを取り外してください。



- 5 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。

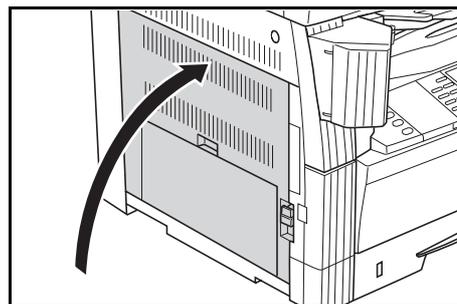


- 6 用紙を取り除いてください。

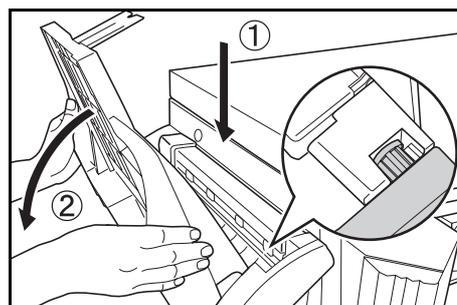


参考 用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 7 左カバーを開けてください。



- 8 フィニッシュトレイを取り付けてください。

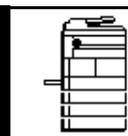


- 9 処理トレイをいったん下げ、元に戻してください。エラーメッセージが消えます。

#### ジョブセパレータ（オプション）での紙づまり

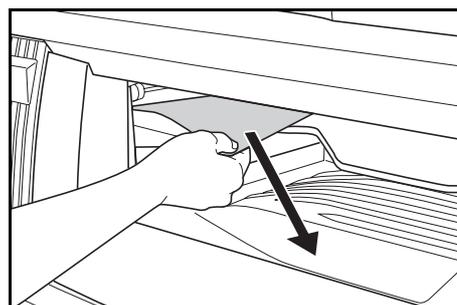
「ジョブセパレータで 紙づまりです 用紙を取り除いて下さい」が表示され、紙づまり位置表示が図の位置で点滅しているときは、オプションのジョブセパレータで紙づまりが発生しています。以下の手順で取り除いてください。

ジョブセパレータで  
紙づまりです  
用紙を取り除いて下さい  
JAM51



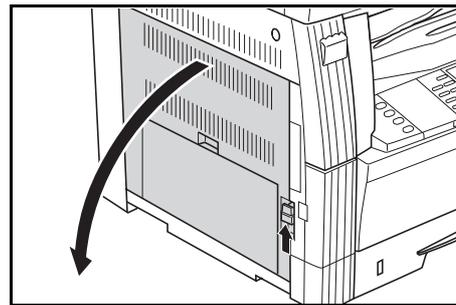
- ご注意** 本体内部のドラム部分は、傷や汚れに敏感です。用紙を取り除く際に、手を触れたり、時計や指輪などを当てないようにご注意ください。

- 1 ジョブセパレータ排出口からつまっている用紙が見える場合は、手前に引いて取り除いてください。

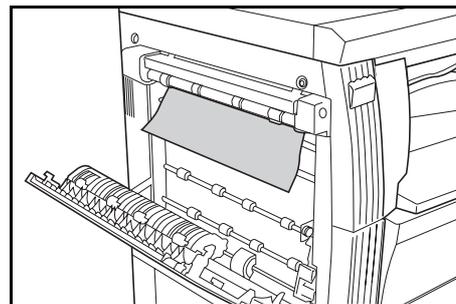


- 参考** 用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 2 左カバー取手を引き上げ、左カバーを開けてください。

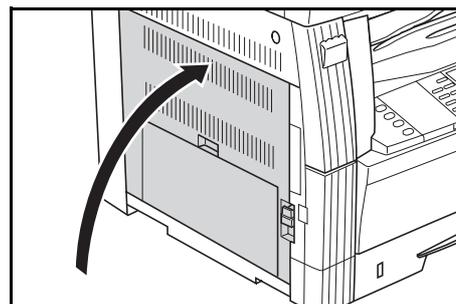


- 3 つまっている用紙を破らないように取り出してください。



参考 用紙が破れた場合は、紙片が機内に残らないように全て取り出してください。

- 4 左カバーを閉じてください。





# 付録

## 仕様

参考 仕様は性能改善のため予告なく変更することがあります。

### 機械本体

名称	16 枚機 KM-1650 20 枚機 KM-2050 25 枚機 KM-2550
複写方式	間接静電方式
原稿の種類	シート、ブック、立体物（最大原稿サイズ：A3）
複写サイズ	
カセット	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11" × 17"、 8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"、8 1/2" × 11"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"、8K、 16K
手差し	A3 ~ A6R、はがき、Folio、11" × 17" ~ 5 1/2" × 8 1/2"、8K、16K
欠け幅	0.5 ~ 5.5 mm
使用用紙	使用説明書 応用編の付録、用紙についてを参照してください。
給紙元容量	
カセット	300 枚 (80 g/m <sup>2</sup> )、100 枚 (90 ~ 105 g/m <sup>2</sup> )
手差し	50 枚 (80 g/m <sup>2</sup> ) (A3、B4、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、8 1/2" × 13"、8K サイズの 用紙では 25 枚)
排紙トレイ容量	250 枚 (80 g/m <sup>2</sup> )
ウォームアップタイム	20 秒以内 低電力モードからの復帰時間：10 秒 スリープモードからの復帰時間：20 秒 (室温 23 °C、湿度 50 %)
メモリ	
コピー用	64 MB
プリンタ用	64 MB
増設メモリ	コピー用：16 MB、32 MB、64 MB、128 MB プリンタ用：32 MB、64 MB、128 MB、256 MB
設置環境	
温度	10 ~ 32.5 °C
湿度	15 ~ 80 %RH
海拔	2,000 m 以下
照度	1,500 lux 以下
電源	AC 100 V 50/60 Hz 11 A

機械寸法 (W) × (D) × (H)	574 mm × 603 mm × 545 mm
質量	約 40.7 kg
機械占有寸法 (W) × (D)	827 mm × 603 mm

## コピー機能

複写速度			
コンタクトガラス (1 : 1)	16 枚機	A3/11" × 17" : 8 枚 / 分 B4/8 1/2" × 14" : 8 枚 / 分 A4/11" × 8 1/2" : 16 枚 / 分 A4R/8 1/2" × 11" : 13 枚 / 分 B5 : 16 枚 / 分 B5R : 13 枚 / 分 A5R : 10 枚 / 分 A6R : 10 枚 / 分	
	20 枚機	A3/11" × 17" : 10 枚 / 分 B4/8 1/2" × 14" : 11 枚 / 分 A4/11" × 8 1/2" : 20 枚 / 分 A4R/8 1/2" × 11" : 13 枚 / 分 B5 : 20 枚 / 分 B5R : 13 枚 / 分 A5R : 10 枚 / 分 A6R : 10 枚 / 分	
	25 枚機	A3/11" × 17" : 13 枚 / 分 B4/8 1/2" × 14" : 13 枚 / 分 A4/11" × 8 1/2" : 25 枚 / 分 A4R/8 1/2" × 11" : 15 枚 / 分 B5 : 25 枚 / 分 B5R : 15 枚 / 分 A5R : 12 枚 / 分 A6R : 11 枚 / 分	
	原稿送り装置 (1 : 1)	16 枚機	A4/11" × 8 1/2" : 16 枚 / 分
		20 枚機	A4/11" × 8 1/2" : 20 枚 / 分
		25 枚機	A4/11" × 8 1/2" : 25 枚 / 分
	ファーストコピータイム	16 枚機 / 20 枚機	5.9 秒以下 (1 : 1、A4)
		25 枚機	5.0 秒以下 (1 : 1、A4)
		解像度	読み取り : 600 × 600 dpi 書き込み : 600 × 600 dpi
連続複写	1 ~ 999 枚		
複写倍率	25 ~ 200 % (1 % 毎) の任意倍率および固定倍率		

## プリンタ機能

印刷速度	複写速度と同じ
ファーストプリントタイム	16枚機 / 約5.5秒 (1:1, A4) 20枚機 25枚機 約4.9秒 (1:1, A4)
解像度	300 dpi、600 dpi、Fast 1200 mode
対応 OS	Microsoft Windows 95/98/Me Microsoft Windows NT4.x/2000/XP Apple Macintosh OS 9.x/OS X 10.x UNIX/Linux
インタフェース	パラレルインタフェース：1 (IEEE1284 準拠) ネットワークインタフェース：1 USB 2.0：1 (USB Hi-Speed) ネットワークインタフェースカード (オプション)：1

## 原稿送り装置 (オプション)

原稿の送り方式	自動給紙方式
原稿の種類	シート原稿
原稿サイズ	最大：A3 最小：A5R
原稿の厚さ	片面原稿：45 ~ 160 g/m <sup>2</sup> 両面原稿：50 ~ 120 g/m <sup>2</sup>
原稿セット枚数	50枚以下 (50 ~ 80 g/m <sup>2</sup> )
機械寸法 (W) × (D) × (H)	552 mm × 483 mm × 120 mm
質量	約 6 kg

## ペーパーフィーダ (オプション)

給紙方式	カセット自動給紙 (収納枚数 300枚 [80 g/m <sup>2</sup> ])
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11" × 17"、 8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"、8 1/2" × 11"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"、8K、 16K
使用ペーパー	紙厚：64 ~ 105 g/m <sup>2</sup> 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー
機械寸法 (W) × (D) × (H)	570 mm × 538 mm × 135 mm
質量	約 7 kg

## 付録

### 両面ユニット（オプション）

形式	内蔵タイプ
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11" × 17"、 8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"、8 1/2" × 11"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"、8K、 16K、16KR
使用ペーパー	紙厚：64～90 g/m <sup>2</sup> 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー
機械寸法 (W) × (D) × (H)	368 mm × 53 mm × 180 mm
質量	約 0.65 kg

### フィニッシャ（オプション）

トレイ数	1トレイ
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、Folio、11" × 17"、8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"、 8 1/2" × 11"、8 1/2" × 13"
使用ペーパー	紙厚：60～105 g/m <sup>2</sup> 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー、薄紙、厚紙、レター ヘッド
機械寸法 (W) × (D) × (H)	325 mm × 450 mm × 165 mm
質量	約 8.0 kg

### ジョブセパレータ（オプション）

トレイ数	1トレイ
収納制限枚数	100枚 (80 g/m <sup>2</sup> )
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、Folio、11" × 17"、 8 1/2" × 14"、11" × 8 1/2"、8 1/2" × 11"、5 1/2" × 8 1/2"、8 1/2" × 13"
使用ペーパー	紙厚：45～160 g/m <sup>2</sup> 用紙種類：普通紙、再生紙、カラーペーパー、薄紙、厚紙、レター ヘッド、第2原図
機械寸法 (W) × (D) × (H)	545 mm × 450 mm × 70 mm
質量	約 1.5 kg

### 環境仕様

低電力モードからの復帰時間	10秒
低電力モード移行時間（出荷時設定）	1分
スリープモード移行時間（出荷時設定）	15分
両面機能	オプション
給紙搬送性	古紙 100% 配合紙使用可能

参考 推奨紙などは販売担当者またはサービス担当者にご相談ください。

## 製品の保守サービスについて

このたびは、本製品をご購入いただき、ありがとうございます。保守サービス方式には次のものがございます。

### コピーセット方式

弊社指定のコピーセットをご購入いただきますと「コピーシステム契約書」にもとづき、製品の点検・調整・修理および感光体の提供・交換を行います。

コピーセット	16 枚機 /20 枚機	CS-410/411	5000/2500 カウント用
	25 枚機	CS-420 (A)	10000 カウント用
		CS-420 (B)	5000 カウント用

### スポット方式

保守サービスとドラムおよび消耗品の供給を、お客様の要請のつど料金を申し受ける方式です。

詳しくは販売担当者もしくは、お買い上げ販売店にお問い合わせください。

## 保守サービス契約書について

保守サービスとしてコピーセット契約を結ばれたお客様は「コピーシステム契約書」を、ご購入の際お買い上げ販売店もしくは弊社ブランチが必要事項を記入し、お渡しいたします。

「コピーシステム契約書」には、お買い上げになった製品の保守サービスの内容などが記載されておりますので、よくお読みになった後、大切に保管願います。もし、「コピーシステム契約書」の発行がなされていない場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社ブランチへご連絡ください。ただちに発行手続きを致します。

**参考** アフターサービスについてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店もしくは、最寄りの弊社ブランチへお問い合わせください。

## 補修用性能部品について

補修用性能部品とは、製品の機能を維持するために必要な部品のことをいいます。

弊社の保守サービスのために必要な補修用性能部品の最低保有期間は、製造中止後、7年間です。

## 廃棄について

### 1 使用済み製品の廃棄

使用済み製品を廃棄される場合は、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご連絡ください。回収された使用済み製品は、それぞれの構成部品毎に分解され、金属部品は金属回収ルートに乗せて回収されます。再利用可能な部品は清掃し再利用し、再利用の不可能なあらゆる部品は環境に考慮して適切に処理されます。

### 2 トナーコンテナおよび廃棄トナーボックスの廃棄

使用后、不要になりましたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、お買い上げの販売店もしくは弊社のサービス担当者にご返却下さい。回収されたトナーコンテナおよび廃棄トナーボックスは、再使用もしくは再資源化のために再利用されるか、法律に従い廃棄処理されます。

## 索引

<b>数字</b>	
2in1 コピー .....	3-17
4in1 (左→下) コピー .....	3-19
4in1 (左→右) コピー .....	3-18
<b>D</b>	
Default Gateway .....	2-18
<b>I</b>	
IP Address .....	2-15
<b>S</b>	
Subnet Mask .....	2-17
<b>U</b>	
USB インタフェースコネクタ .....	1-3, 2-12
USB ケーブル .....	2-11
<b>あ</b>	
アース .....	xii
アプリケーション .....	3-24
<b>い</b>	
印刷のしかた .....	3-24
<b>う</b>	
ウォームアップ .....	2-14, 3-1
<b>お</b>	
オートカセットチェンジ機能 .....	1-7
オートクリア機能 .....	1-7
オートスリープ機能 .....	3-23
オプション .....	4-1, 4-13
<b>か</b>	
解像度 .....	付録-2
各部の名称 .....	1-1
各部の名称 (原稿送り装置) .....	4-2
各部の名称 (フィニッシャ) .....	4-6
画質の選択 .....	3-2
カセット .....	1-1, 2-2
カセット 1 での紙づまり .....	6-9
カセット 2～4 での紙づまり .....	6-10
カセットへの用紙補給 .....	2-2
紙づまり位置表示 .....	6-8
紙づまりが発生したら .....	6-8
環境仕様 .....	付録-4
<b>き</b>	
キーカード .....	4-11

キーカードのセット方法 .....	4-11
キーカウンタ .....	4-10
キーカウンタのセット方法 .....	4-10
機械を設置するときのご注意 .....	xi
<b>く</b>	
クリーナー棒 .....	1-2, 5-7
<b>け</b>	
ケーブルの接続 .....	2-11
原稿送り装置 .....	4-1, 付録-3
原稿送り装置での紙づまり .....	6-15
原稿押さえ .....	1-1
原稿押さへの清掃 .....	5-1
言語設定 .....	2-24
<b>こ</b>	
固定変倍モード .....	3-7
コピー機能 .....	付録-2
コピー基本画面 .....	1-7
コピー禁止事項 .....	xv
コピーのしかた .....	3-1
コンタクトガラス .....	1-2, 3-1
コンタクトガラスの清掃 .....	5-1
こんな表示が出たら .....	6-4
<b>さ</b>	
サマータイム .....	2-21
<b>し</b>	
時刻 .....	2-21
時差 .....	2-21
自動低電力機能 .....	3-22
自動倍率選択モード .....	3-5
写真 .....	3-2
集約コピー .....	3-16
縮小/拡大コピー .....	3-5
仕様 .....	付録-1
初期モード .....	1-6
ジョブセパレータ .....	4-9, 付録-4
ジョブセパレータでの紙づまり .....	6-18
<b>す</b>	
ズームコピーモード .....	3-6
ステープル針 .....	4-7, 4-8
スライダ .....	1-1, 2-5
スリープモード .....	3-23
スリットガラスの清掃 .....	5-2
<b>せ</b>	
清掃 .....	5-1
製品の保守サービスについて .....	付録-5

<b>そ</b>	
操作パネル .....	1-1, 1-4
増設メモリ .....	4-12
ソートコピー .....	3-14
その他の定形サイズ .....	2-7
<b>た</b>	
縦サイズ変更つまみ .....	1-1, 2-3
<b>ち</b>	
注意ラベルについて .....	x
<b>て</b>	
低電力モード .....	3-22
手差し .....	1-1, 2-4
手差し設定 .....	2-6
手差しでの紙づまり .....	6-12
手差しへの用紙補給 .....	2-4
手差し補助トレイ .....	1-1, 2-5
電源ケーブル .....	2-13
電源ケーブルの接続 .....	2-13
電源の入れ方 .....	2-14
転写ローラの清掃 .....	5-3
<b>と</b>	
トナーコンテナ .....	1-2, 5-5
トラブルが発生した場合 .....	6-1
取り扱い上のご注意 .....	xii
<b>に</b>	
日常のメンテナンス .....	5-1
<b>ね</b>	
ネットワークインタフェースコネクタ .....	1-3, 2-11
ネットワークケーブル .....	2-11
ネットワークスキャナ .....	4-11
ネットワーク (TCP/IP) 設定 .....	2-15
<b>の</b>	
濃度 .....	3-3
<b>は</b>	
ハードディスク .....	4-12
廃棄トナーボックス .....	1-2, 5-5
廃棄について .....	付録-6
排紙トレイ .....	1-1, 3-3
排出口での紙づまり .....	6-14
剥離爪の清掃 .....	5-2
パラレルインタフェースコネクタ .....	1-3, 2-12
パラレルケーブル .....	2-11
<b>ひ</b>	
左カバー .....	1-2
左カバー内部での紙づまり .....	6-12

日付 .....	2-22
日付と時刻の設定 .....	2-20
<b>ふ</b>	
ファクスキット .....	4-11
フィニッシャ .....	4-6, 付録-4
フィニッシャでの紙づまり .....	6-16
プリンタ機能 .....	付録-3
プリンタ基本画面 .....	1-8
プリンタケーブル .....	2-11
プリンタドライバ .....	3-24
分割コピー .....	3-12
<b>へ</b>	
ペーパーフィーダ .....	4-5, 付録-3
<b>ほ</b>	
補修用性能部品について .....	付録-5
保守サービス契約書について .....	付録-5
<b>ま</b>	
前カバー .....	1-2
<b>め</b>	
メインスイッチ .....	1-3, 2-14, 3-1
メッセージ表示 .....	1-7
メモリカード (コンパクトフラッシュ) .....	4-12
<b>も</b>	
文字 .....	3-2
文字+写真 .....	3-2
<b>よ</b>	
用紙の補給 .....	2-1
横サイズ変更つまみ .....	1-1, 2-2
<b>り</b>	
両面コピー .....	3-9
両面ユニット .....	4-5, 付録-4
<b>わ</b>	
割り込みモード .....	3-20

# MEMO

# MEMO

# MEMO



**QUALITY  
CERTIFICATE**

この製品はすべての品  
質管理および最終検査  
に合格しました。

## KYOCERA お客様相談窓口のご案内

京セラミタ製品についてのお問い合わせは、下記のナビダイヤルへご連絡ください。全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

# 京セラ ミタ株式会社 京セラ ミタジャパン株式会社

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町1-9-15 TEL 03-3279-2112

お客様  
相談窓口



# 0570-046562

受付時間  
● 9:00~17:00  
(但し、土曜日、日曜日及び祝日は除く)

市内通話料でOK ナビダイヤル 市内通話料金でご利用いただけます。

札幌	011-862-2631	富山	0764-24-3531
仙台	022-232-3225	大阪	06-6764-3210
さいたま	048-666-4515	神戸	078-651-7500
東京	03-3279-2050	高松	087-861-3861
横浜	045-471-0248	広島	082-295-2001
名古屋	052-582-7413	福岡	092-441-2721

京セラミタの情報は、インターネットでご覧いただけます。<http://www.kyoceramita.co.jp/support/>

2002.6